

SHIZUOKA

J • O • U • R • N • A • L

Vol.31 No.3 2022 (通巻213号)

目 次

巻頭言	「新しい生活様式に慣れんのです・・・」 組織理事(東部) 廣澤 賢一	1
告知	2022年度静岡県放射線技師会会費納入について	2
お知らせ	会費未納による除籍者から債務回収の開始について 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた本会主催のセミナーなどの対応方針について 静岡県放射線技師会事務所メールアドレス変更について	3 4 5
会告	第11回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の開催について(5/29) 第26回静岡県放射線技師学術大会開催について(5/29) 第26回 静岡県放射線技師学術大会プログラム(5/29)	6 7 8
報告	第54回アンギオ部会研修会(10/30) 令和3年度原子力緊急時災害対策研修会(10/30) 秋季公開講演会(11/3) 第13回中部放射線医療技術学術大会(石川県)(11/20~26) 第34回乳腺画像部会研修会(11/20) 第13回静岡県MRI技術研究会(12/8) 第15回医療安全セミナー(12/11) 第46回放射線技師のためのセミナー(1/22) 第62回東海四県放射線技師学術大会(三重県)(2/6) 第35回乳腺画像部会研修会・第2回静岡県マンモグラフィ研修会(2/11) 和田健会員 瑞宝及光章受章にあたり祝辞	10 11 12 14 15 16 17 19 20 21 23
学術論文	第34回乳腺画像部会研修会(11/20) 第13回静岡県MRI技術研究会(12/8) 第35回乳腺画像部会研修会(2/11)	25 27 31
連載企画	突撃!!となりの放射線科	36
メッセージボード		42
本会の歩み		47
会員動静		49
本会への寄贈図書		50
議事録	令和3年度 第3回理事会議事録(12/18) 令和3年度 第4回理事会議事録(2/19)	51 66
令和4年度静岡県放射線技師会事業計画(案)		85
行事予定カレンダー		86



『新しい生活様式に慣れんのです・・・』

(公社)静岡県放射線技師会 理事(組織・東部) 廣澤 賢一



拝啓

静岡県放射線技師会会員の皆様、コロナウイルスもますます猛威を振るう今日この頃（令和4年2月現在）、いかがお過ごしでしょうか?ご心労の絶えない日々をお過ごしのことと思います。（私もそうです!）2月5日現在で、「全国で10万人がコロナ感染!」との報道がなされ、医療体制を圧迫しつつあります。静岡県でも新規感染者が2,000人を超え、県技師会では、2月開催予定だった「告示研修（実習）」が中止・延期となりました。コロナ感染が流行し始めてから、2年の歳月が経ち、3回目の春となります。皆様、感染対策をしっかり実施し、この難局を皆で力を合わせて、乗り切っていきましょう!

少し前に、ネットニュースで面白い記事を読みました。「日本企業の多くが、二世帯同居のような感じになってきた」という記事でしたが、内容を簡略にまとめると、ベテランと若手の価値観に対する認識や、知識やスキルも大きく違ってきている、つまりジェネレーションギャップが以前より大きくなっているという記事でした。あーあ・・・わかる。わかります!特に近頃は、やれ自粛だWEB会議だと、直に顔をあわせて話をする機会が極端に減っている気がします。私なんぞは、飲みニケーション第一主義者を自称していますので寂しい限りですが、飲まなくとも対話って大切だなと思います。価値観の擦り合わせ・意識の共有化は、日常業務においても、とっても有効です。だって、皆で同じ方向に向いて頑張ったら、すごく力が出ると思いませんか?もっとも、価値観の違いに対しては、話し合いをすることで解決するので、何とかかなりそうです。（喧嘩はしないでくださいね）問題は、

知識やスキルに偏りがあることです。こればかりは、勉強するしかありません。地道な積み重ねが必要です。しかも最近は、環境変化のスピードが速いです。いや速すぎます。頭の固くなった私では、いくら知識を積み重ねても追いつきません。ついこの間まで、勉強会と言ったら会場型でしたが、いまや自宅でPCやスマホ片手に参加できるし、会議はWEB会議だし、いや移動時間を考えると、WEBは便利で効率的なのは理解しているのですが、何か・・・こう・・・情緒というか・・・寂しいというか・・・決してパソコンの扱いが苦手なわけではありません!・・・脱線しました。記事では「二世帯住宅型組織の解決策は、リスクリング（職業能力の再開発・再教育）である」と結んでいました。

さて、前置きはこのくらいにして（大分長い前置きでしたが・・・）、本題に入りたいと思います。皆さん、告示研修のeラーニングは終了しましたでしょうか?実習のほうは、延期になってしまったため再開待ちですが、準備はしておいたほうが良いと思います。先ほどの話ではないですが、同じ放射線技師でも、資格的に実施できる業務に隔りがあることは、あまり良い傾向ではないと思います。今後入職してくる新人さんはできるのに、ベテランの我々ができないなんてことになったら面目丸潰れ、指導するうえで問題となること間違いなしです。というわけで、皆様の告示研修受講を心よりお待ちしております。

皆様の今後のご活躍とご健康を祈念して、最後の言葉とかえさせていただきます。ありがとうございました。

敬具

告 知

2022年度静岡県放射線技師会会費納入について

公益社団法人静岡県放射線技師会 会員登録規定一部改訂に伴い2022年度の会費納入金額を以下のようにする。

【内 容】

- (1) 会費額は、年間8000円とする。
- (2) 診療放射線技師籍登録初年度内の入会者に限り、初年度会費額5000円とする。
- (3) 本会会員のうち、当該年数に65歳に達する者は、会費額を年間4000円とする。
- (4) 本会会員のうち、当該年数に70歳に達する者で、
本会の35年勤続表彰を受けた者または日本診療放射線技師会に35年以上加入している者は翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

2022年度の該当生年月日は

該当年度に65歳に達する者→生年月日1953年4月1日～1958年3月31日の会員

該当年度に70歳に達する者→生年月日1953年3月31日以前の会員

お知らせ

会費未納による除籍者から 債務回収の開始について

会費未納による除籍者から債務の回収を開始します。

公益社団法人 静岡県放射線技師会

会 長 山本 英雄

令和3年12月18日開催の令和3年度第3回理事会にて日本診療放射線技師会が実施する未収会費の収納代行委託に賛同する議案が可決されました。令和4年4月1日付け会費未納による除籍者（2年間会費未納者）より債権の回収委託を開始します。

会員は定款第7条（会費の負担）および会費納入規定第2条（会費）第3条（会費の納入）において会費を納入することが定められており、同じく第11条3項（資格の喪失）には「第7条の支払い義務を2年以上履行しないとき」と記載されています。また、第3条3項において「退会時には当該年度の会費を納入しなければならない」ことが規定されています。これまで県技師会では資格喪失者において会費債務の回収をおこなって参りませんでした。

そこで本県といたしましては、会費を合算請求している日本診療放射線技師会が債務回収を行う際、県会費も同時に回収業務を行うよう日本診療放射線技師会に委託することにしました。

これまではこの規定について再入会申込の際に、一部でご理解をいただくまでに労力を費やしておりました。今後は明確化できるものと考えております。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた 本会主催のセミナーなどの対応方針について

平素は本会事業にご理解とご協力を頂き感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナー・告示研修・学会大会などの開催のお知らせ（会告）がジャーナルの掲載に間に合わず、皆様にご迷惑をおかけしております。また、感染の状況によって、開催を中止・延期させていただく、あるいは内容を一部変更して開催させていただく場合があります。

セミナー・告示研修・学会大会などの開催や内容に関わる最新情報を、静岡県放射線技師会ホームページに随時掲載いたしますので、適宜ご確認いただきますようお願い申し上げます。

静岡県放射線技師会ホームページ <http://shizuhogi.jp/>

お知らせ

静岡県放射線技師会事務所 メールアドレス変更のお知らせ

令和4年2月1日より、静岡県放射線技師会事務所のメールアドレスを、下記の通り変更いたしましたのでお知らせいたします。なお、静岡県放射線技師会事務所の住所、電話番号、FAX番号に変更はございません。あらかじめご承知おきください。

記

■ メールアドレス

変更前 shizuhogi@ac.auone-net.jp



変更後 info-shizuokahousya@shizuhogi.jp

■ 変更日

令和4年2月1日～

※旧メールアドレスは受信できませんのでご注意くださいようお願い申し上げます。

以上

会 告

第11回 公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会の開催について

令和4年3月1日

公益社団法人 静岡県放射線技師会

会長 山本 英雄

第11回公益社団法人静岡県放射線技師会定時総会を、定款第14条第1項に基づき下記のとおり開催いたします。

記

【日 時】 令和4年5月29日（日） 9：30～10：30

【会 場】 プレスタワー 17階 静岡新聞ホール

〒430-0927

静岡県浜松市中区旭町11-1（浜松駅北口から徒歩約3分）

TEL 053-455-2001 FAX 053-455-2021

【参加費】 無料

*会場参加人数には限りがございますので、入場をご遠慮いただく場合がございます。

*『Web申込』の方は視聴のみとさせていただきます。

【お申込み】 静岡県放射線技師会HPの会告・Webセミナーの参加申込フォームよりお申し込みください。（<http://shizuhogi.jp/i/seminar>）

※参加URL・ミーティングID・パスワードは参加申し込み後登録されたメールアドレスに送信いたします。

【議 事】 第1号議案 令和3年度計算書類等一式承認の件

第2号議案 令和4・5年度理事・監事候補者承認の件

第3号議案 その他（ご意見、ご要望等）

*表決は書面表決で行います。

*第26回静岡県放射線技師学術大会と同時開催です。

*議案集・学術大会予稿集は後日送付いたします。

会 告

第26回 静岡県放射線技師学会の開催について

第26回静岡県放射線技師学会大会を、大会テーマ「県民に伝えよう～放射線技術の現在と未来を～」として、下記の通り開催いたします。令和3年5月に開催された学会大会は、新型コロナウイルス感染症の影響によりWEB配信のみという形式にて開催されましたが、今回はwithコロナ時代を反映しWEB配信と現地開催を組み合わせたHybrid方式による開催を予定します。会員研究発表15演題、ランチョンセミナーおよび公開講演を予定しますので、多くの会員の皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、開催方法やスケジュールを大幅に変更する可能性があります。変更がある場合、静岡県放射線技師学会ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。

記

【日 時】 令和4年(2022年)5月29日(日)

【開催方法】 Hybrid方式(現地開催+Zoom Webinarを用いたWEB配信方式)

*会場収容人員は感染対策として80名迄とされております。そのため現地開催出席者は、大会関係者・講師・座長・演者及びその関係者1名のみとさせていただきます。

【会 場】 浜松プレスタワー 17階 静岡新聞ホール
〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町11-1
JR浜松駅北口より徒歩3分

【内 容】

9:00~	会場受付 Webinar受付開始	
9:30~10:30	第10回公益社団法人 静岡県放射線技師会定時総会	
10:30~	第24回静岡県放射線技師学会大会 Webinar受付開始	
10:50~11:40	会員研究発表 第一部	
	セッションⅠ 核医学・放射線治療・放射線管理	5題
11:50~12:50	ランチョンセミナー 『 動態画像の現在と未来 』	
	① 『面検出器CTを用いた4Dイメージング』	
	キヤノンメディカル(株) 首都圏支社 CT営業推進部 猪川 弘康 先生	
	② 『単純X線撮影技術で実現する動態撮影 ～X線動態画像の臨床応用への期待～』	
	コニカミノルタジャパン(株) ヘルスケアカンパニー 病院戦略部 山口 晃史 先生	
13:00~14:30	公開講演	
	『ラジエーションハウスが教えてくれたこと ～誕生から映画化までのキセキ～』	
	講師：福島県立医科大学 保健科学部診療放射線科学科 准教授 五月女 康作 先生	
14:40~15:30	会員研究発表 第二部	
	セッションⅡ X線撮影	5題
15:40~16:30	会員研究発表 第三部	
	セッションⅢ CT・MRI	5題
16:30~	閉会の辞	
17:00~17:30	叙勲報告会	

【参加費】 正会員：無料、非会員：無料、賛助会員：1人 無料、学生：無料

※ 後日静岡県放射線技師学会ホームページにて参加登録案内をいたします。



第26回 静岡県放射線技師学術大会 プログラム

総会 会場・Webinar受付 9:00～

第11回 公益社団法人 静岡県放射線技師会定時総会

9:30～10:30

学術大会 会場・Webinar受付 10:30～

研究発表 午前の部

0:50～11:40

セッションⅠ 核医学・放射線管理

10:50～11:40

座長 中東達総合医療センター 畑中 貴台 会員

- 1、99mTc心筋血流シンチにおける心外集積に対する画像再構成について
聖隷浜松病院 放射線部 長屋 重幸
- 2、ヨード内用療法における教育訓練の取り組み活動
浜松医療センター 診療放射線技術科 室本 直子
- 3、職員被ばく管理 活動報告（令和3年度版）
静岡市立静岡病院 放射線技術科 星野 明宏
- 4、整形外科手術における術者水晶体被ばく線量と防護眼鏡の効果に関する検討
聖隷三方原病院 画像診断部 栗原 英里
- 5、SHD治療における自作放射線防護具の有用性
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 山下 勝礼

ランチョンセミナー 『動態検査の現在と未来』

11:50～12:50

- 座長 聖隷沼津病院 放射線課 坪内 秀生
共催 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
『面検出器CTを用いた4Dイメージング』
講師 キヤノンメディカルシステムズ(株) 首都圏支社 CT営業推進部 猪川 弘康 先生
共催 コニカミノルタジャパン株式会社
『単純X線撮影技術で実現する動態撮影 ～X線動画の臨床応用への期待～』
講師 コニカミノルタジャパン(株) ヘルスケアカンパニー 病院戦略部 山口 晃史 先生

公開講演

13:00～14:30

- 座長 浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 神谷 正貴
『ラジエーションハウスが教えてくれたこと ～誕生から映画化までのキセキ～』
講師 福島県立医科大学 保健科学部診療放射線科学科 准教授 五月女康作 先生

セッションⅡ X線撮影・放射線治療

14:40~15:30

座長 聖隷浜松病院 原川 雄太 会員

- 6、全脊椎撮影時の撮影方向の違いによる乳腺線量の評価
順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室 星 健斗
- 7、腹部ポータブルにおけるグリッドの検討
浜松医療センター 診療放射線技術科 金本 美優
- 8、Digital breast tomosynthesis撮影における乳房構成と振り角の違いによる被ばく線量の検討
順天堂大学医学部附属静岡病院・放射線室 有坂 英里
- 9、コーンビームCTにおける線量評価法の標準化に向けた検討
静岡県立総合病院 放射線技術室 中山 僚
- 10、小照射野領域のビームデータ測定における透過型電離箱線量計の有用性
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 藤井 真味

セッションⅢ X線CT、MRI

15:40~16:30

座長 市立湖西病院 荒木 拓己 会員

- 11、救急CT撮影での息止め不良患者に対する高速撮影プロトコルの検討
磐田市立総合病院 放射線診断技術科 夏目 沙季
- 12、下肢静脈造影CT検査におけるDual Energy撮影の有用性について
浜松医療センター 診療放射線技術科 北岡 知也
- 13、心臓CT検査における冠動脈ステントサブトラクションに対する再構成法の検討
磐田市立総合病院 放射線診断技術科 齋藤 太壹
- 14、心動態ファントム撮影時におけるMotion Artifact Correction Algorithm による認識Error抑制に関する検討
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 佐々木佑輔
- 15、＜症例報告＞MRSが鑑別診断に有効であった定位放射線治療後の転移性脳腫瘍の再発の1例
藤枝市立総合病院 放射線科 大川 剛史

第54回アンギオ部会研修会 報告

令和3年10月30日(土)
WEB開催

令和3年10月30日に第54回アンギオ部会研修会を、「カテーテル アブレーションについて」をテーマにWEB型で開催致しました。研修会当日は、メーカー講演及び特別講演の演者の皆様に、県技師事務所へ参集していただき、発表を賜りました。

まず、共催メーカーでありますGEヘルスケアファーマの千葉様より、最新の造影剤の情報を紹介していただきました。

メーカー講演では、キヤノンメディカル様に最新のアンギオ技術についてお話をしていただきました。

特別講演の1題目は心電図の基礎について中東遠総合医療センター診療技術部臨床工学室の松浦知美先生にお話をしていただきました。先生は臨床検査技師と臨床工学技士のWライセンスをお持ちで、心電図の基礎の基礎から不整脈の種類や心電図波形の読み方などをわかりやすく解説していただきました。

特別講演の2題目はカテーテル アブレーションについて中東遠総合医療センター診療技術部臨床工学室の村田勝巳先生にお話をしていただきました。近年、件数が著しく増えてきておりますカテーテル アブレーションの基礎から、実際に使用しているデバイスの解説、心筋の焼却部位の解説などをわかりやすく解説していただきました。

今回、アンギオ部会単独では初めてのWEB型での開催となりましたが、会場型で行っていた時よりも多くの方に参加頂きました。今後とも宜しくお願い致します。また、開催にあたり多大なるご協力を賜りましたバイエル薬品の萩原様にはこの場を借りまして心から感謝致します。

アンギオ部会長 畑中 貴台

令和3年度 原子力緊急時災害対策研修会(公開) 報告

令和3年10月30日(土)

令和3年10月30日(土)に、「令和3年度原子力緊急時災害対策研修会」を中部電力浜岡原子力発電所において開催しました。今年度は、前半はスクリーニング実習等を公開ZOOM視聴形式で行い、後半は施設見学ツアーを行いました。参加募集期間中の9月まで緊急事態宣言が続き、開催及び参加者数が心配されましたが、会場参加者31名、ZOOM視聴参加者20名の合計51名(非会員3名)の参加を得て無事開催できました。

開会にあたり山本会長より挨拶を頂き、ZOOM公開で勝浦管理士部会長より「GM管取り扱いとスクリーニング」と題して講義が行われました。講義では、原子力災害医療の体系、GM計数管の取り扱い、スクリーニング検査について説明がありました。スクリーニングは一人を3分間で行うことを目的としたセグメント法について解説を頂きました。講義に引き続き、参加者が2名でペアを組みGM管を使い実際にセグメント法で走査しました。最後に代表者3名が線源を隠した被験者役の方をスクリーニングし見事線源を見付けました。実習の終わりにはタイベックスーツの着脱も体験し、これらの様子はカメラ2台でZOOM共有し視聴参加者も模擬的に体験して貰えました。前半の最後には、浜岡原子力発電所総括・広報グ

ループの生田グループ長から「浜岡原子力発電所の概要と安全性向上対策」と題して、日本のエネルギー政策から原子力発電所の役割、安全管理を中心とした浜岡原発の取り組みなどについてご講義を頂き、ZOOMによる公開研修は終了しました。

会場参加者の見学は、3班に分かれバスで構内を巡り、それぞれ2名の職員の方が説明に付けてくれました。発電所構内では、より嚴重なチェックを受け、原子炉建屋内への浸水を防ぐ取水、開閉弁、原子炉を冷やすための電源、注水、徐熱設備や、5号機原子炉建屋内では、核燃材料が原子炉プールに収まる様子が十分想像できる場所まで案内してもらえました。防波壁は、海拔22mの壁が1.6km続き、その風景は圧巻でした。また、研修センターの「失敗に学ぶ回廊」には、たゆまぬ安全努力の姿勢に、我々にもこんな取り組みが必要ではないかと考えさせられました。



参加者の皆さんお疲れ様でした。そして、浜岡原発の皆様には見学のみならず、GM管やタイベックスーツ、ZOOM資器材など多大なご支援を頂きました。非常に貴重な体験ができました。ありがとうございました。

文責 災害対策委員長 深澤英史

スクリーニング時間

1セグメント	: 頭・顔・頸・肩	20 sec
2セグメント	: 全身前面 上半身(上肢含む)	40 sec
3セグメント	: 全身前面 下半身	30 sec
4セグメント	: 全身後面 頭部・上半身(上肢含む)	30 sec
5セグメント	: 全身後面 下半身(靴底含む)	30 sec
6セグメント	: 上肢・腹部側面とその他	30 sec

頭部・顔部 (前面・側面) 20秒	全身(前面) 70秒	頭部・上半身 (後面) 30秒	全身(後面) 100秒	上肢・その他 30秒
上半身 (前面・側面) 40秒		下半身(後面) (靴底含む) 30秒		
下半身 (後面・側面) 30秒				

県民公開講演会報告

『秋季公開講演会～がん検診率向上を目指して～』

令和3年11月3日(水曜日・祝日) 静岡県放射線技師会事務所 Web開催
主催)公益社団法人静岡県放射線技師会
静岡県 静岡市 静岡新聞・静岡放送

静岡県放射線技師会は、公益事業として県民の皆様が健康で過ごせるよう健康増進を推進するために、がん撲滅、そしてがん検診受診率向上と会員の資質向上を目的とした講演会を毎年企画しています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大を鑑みて講演開催を中止いたしました。今年は、公益事業として一般県民の参加を増員する目的と静岡県放射線技師会の知名度向上のため11月3日(水・祝)に静岡県放射線技師会事務所からWeb開催いたしました。

＜当日のプログラムは以下の通り＞

- 13:30～ 受付開始
- 14:00～14:20 「受診前に知って欲しい胃がん検診情報」
聖隷沼津病院健康診断センター
山崎 洋和 会員
- 14:20～14:40 「肺がん検診について」
聖隷健康サポートセンターShizuoka
上原 晋 会員
- 14:40～15:00 「もっと知ろう、乳がん検診」
中東遠総合医療センター
竹山 有希 会員
- 15:10～16:10 「前立腺がんの検診から診断・治療まで」
国際医療福祉大学医学部 腎泌尿器外科学教授
国際医療福祉大学熱海病院 副院長
石井淳一郎 先生
- 16:30 閉会

今回も、前回に引き続き静岡県放射線技師会の公開講演であるという事を出すため、会員から3演題の講演をしていただき、秋季公開講演会で初めて前立腺がんについて医師の方より講演していただきました。

1演題目は、聖隷沼津病院健康診断センター山崎洋和会員から胃がん検診を受診する前に受診者の方々に知っておいて欲しい情報として、対策型検診と任意型検診やピロリ菌について、胃がん検診の内視鏡検査と胃X線バリウム検査の比較、バリウムの誤嚥についてまで詳しくお話があり、ピロリ菌除去後も定期的に胃がん検診を受診することを推奨するとの言葉がありました。



2演題目は、聖隷健康サポートセンターShizuoka上原晋会員から肺がん検診の流れや必要性について、また肺がん検診時の被ばくについて、検診項目についてなど、画像での説明もくわえて分かり易くお話をしていただき、肺がんは早期発見が重要であり初期の肺がんは高確率で治療できるとのお言葉がありました。

3演題目は、中東遠総合医療センター 竹山有



希会員から乳がんについて、乳がん年齢別罹患率では40歳代後半がピークであり、乳がんは早期に発見・治療をすれば治る病気である。乳がん検診のマンモグラフィとエコーのメリット・デメリットを分かり易く説明していただき、プレストアウェアネス＝自分で自分の乳房の状態を知ることの大切さを教えていただきました。乳がんの早期発見に役立つのではないかと感じました。



最後に、国際医療福祉大学医学部腎泌尿器外科学教授、国際医療福祉大学熱海病院副院長 石井淳一郎先生から前立腺がんの特徴、前立腺がん罹患率は男性で最も高いが死亡率は最も低いこと、早期発見するために血液検査によるPSA（前立腺特異抗原）検査の重要性と診断方法から治療方針・方法まで詳しく説明があり、前立腺がんは早期発見・治療すれば治る病気であること、一般参加者だけでなく会員の知識の向上にも大いに役立つのではないかと思います。



今回の参加者数は、会員28名、非会員6名、一般14名、講師（医師）1名 合計49名でした。

一般参加者も10名を超え、県民に公開講演会の認知が上がって来たと感じることが出来ました。

今後も、本講演会が静岡県放射線技師会の重要な公益事業の一つとして、多くの県民の皆様、また会員の皆様に関心を持って頂けるような企画や広報方法を工夫し、参加者数を増やし診療放射線技師の認知度アップを図りたいと思いますので、会員の皆様のご協力お願い申し上げます。

（報告）広報担当理事 佐野祐二

第13回中部放射線医療技術学術大会 報告

2021年11月20日～11月26日
石川県(WEB)

新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、1年の延期を余儀なくされた第13回中部放射線医療技術学術大会が、完全WEB形式で石川県にて開催されました。開催期間は、2021年11月20日(土)から26日(金)で、ライブ配信とオンデマンド配信の2つの形式での開催となりました。

大会テーマは「見つけよう。新時代に向けたベストプラクティス ～Finding best practice～」と題し、時代や環境の変化に適応していくための貴重な講演が配信されました。まず特別公演は、『AIの医療応用の現状』と題し、岐阜大学工学部の原教授が講演され、AIの信頼性を高めるべく、画像診断を含めた医療機器の開発が進められている現状と、今後に対する期待が高まるような内容を、他分野の研究内容も含め説明してくださいました。その他の教育講演は4講演あり、そのうち、被ばく線量管理の方法、医療従事者に対する白内障調査、核医学治療に関する3講演については、金沢大学の各専門の先生方が講演してくださいました。また、診療放射線技師法の改正について、日本診療放射線技師会の児玉副会長が、告示研修の重要性と今後の展望を含め講演くださいました。どの内容も変化に適応していく必要性を感じるものでした。

一般発表は86演題で、静岡県内からも各セッションで多くの発表がなされ、サイト内のチャットを利用した質疑応答も行っていました。

こちらら後で見返すことができることで、より内容を理解することができました。

発表された会員の皆様、お疲れ様でした。

さて、次年度第14回の開催県は愛知県となります。2022年11月5日、6日の2日間で開催を予定しております。ウインクあいち(愛知県産業労働センター)での完全会場型開催を目指しております。

大会テーマは『実践知の探究～放射線技術のリテラシー～』です。新しい形式での会場型開催となります。新型コロナウイルスの感染状況にも左右されますが、隣県での開催となりますので、是非とも多くの会員発表がなされること、また、会場への参加をされることを心より期待しております。

第34回乳腺画像部会研修会 報告

令和3年11月20日(土)
Web開催

令和3年11月20日にオンラインにて、第34回乳腺画像部会研修会を開催いたしました。参加人数は54名（会員35名、非会員12名、県外会員7名）でした。

第34回乳腺画像部会研修会 報告

【内容】

『講習会的標準ポジショニングをやさしく解説!!』

『背が低い技師さんはどうしてる?? 分かり易くコツを伝授!!』

『背が高い技師さんはどうしてる?? 分かり易くコツを伝授!!』

『画像から解る!! 私のポジショニングの改善点!!』

今回はポジショニングをテーマに、講習会的標準ポジショニングの解説に加え、撮影技師の身長の違いによるポジショニングのコツの解説も行っていただきました。

ポジショニング解説では、撮影者全体を映すカメラと手元を映すカメラがあり、ポジショニングをしている体、手の動きを見ながら説明を聞くことができ、気を付けるべきポイントがよくわかりました。乳腺が欠けないように、また乳腺を広げて撮影する事の大切さ、接遇の大切さも含め、ポジショニングの行為1つ1つに意味があることを改めて実感しました。

撮影技師の体格の違いによるポジショニングのコツとして、身長が低い技師と高い技師で体の使い方を変えて工夫している点について教えていただきました。腕の長さの違いによる使い方、目視で確認できる範囲の違い等、撮影技師の体格に合わせたポ

ジショニング方法として、とても参考になりました。今後の撮影に活かしていきたいと思います。

また今回、参加者同士の交流を図ろうと、初めてブレイクアウトルームも使用されました。聴講のみでなく、日頃の取り組みや悩み等を話したり、聞いたりできる貴重な場になったのではないかと思います。

『画像から解る!! 私のポジショニングの改善点』では、ポジショニングのどの部分を改善することで、マンモグラフィがどのように変わるのかを複数の症例を見ながら解説していただきました。ポジショニングの違いで画像の印象が全く違って見え、それぞれの症例に対して、立ち位置、外側乳房の寄せ、乳腺の伸展等、改善すべき点を詳しく解説していただきました。マンモグラフィはポジショニングの良し悪しそのまま診断の良し悪しにつながると言う事がよくわかりました。撮影後は所見を探すだけでなく、ポジショニングを含めて画像を見直し、次の撮影につなげていくことが大事だと思いました。

近年、新型コロナウイルスの影響で、講習会も開催されず、特にマンモグラフィを始めたばかりの方は、ポジショニングを学ぶ機会が少なかったのではないかと思います。今回の研修会は、普段のポジショニングを見直す良い機会になったのではないかと感じました。

最後に今回の研修会の開催に際してご尽力いただきました役員の皆様、会場を提供していただいた富士病院の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

乳腺画像部会 部会員

JA静岡厚生連 遠州病院 筒井亜季

第13回静岡県MRI技術研究会 報告

令和3年12月8日(水)
Web開催

令和3年12月8日に第13回静岡県MRI技術研究会をWeb開催いたしました。今回の研究会も前回に引き続きWeb開催としました。前回研究会の反省をふまえ、運営上の改善といくつかの新たな試みを実行しました。まず改善点として、配信ツールにZOOM Webinarを採用したことにより、参加定員を500名と大幅に増加させることができました。前回研究会では参加定員が100名に限られており、参加を希望する県内の技師が多くいた中、参加登録開始からわずか10日で定員に達しました。今回は十分な参加枠を確保できたため、定員に達することなく410名の登録をいただきました。またWeb講習会に特化した機能を用いることが可能となり、特に参加管理において運営上の省力化を実現できました。新たな試みとしては、Web配信の利点を生かして平日夜間帯での開催に挑戦しました。運営側が一つの会場に集まることができないため難易度が上がりましたが、事前に入念な打ち合わせやリハーサルを行うことでこれに対処しました。当日は運営スタッフ・演者の日常業務終了後に、それぞれのサイトから配信作業を行う、「完全リモート」での運営を実現することができました。

研究会のテーマは「MRIの造影検査」とし、会員発表2題、教育講演1題の構成で企画しました。

会員発表1では順天堂大学医学部附属静岡病院の清水匡大様に「骨盤部造影MRI検査」についてご発表いただきました。前立腺・膀胱・子宮における造影MRIの目的や重要となる画像(所見)について説明いただいた上で、実際に自施設でどのように撮像されているかをお話いただきました。

会員発表2では磐田市立総合病院の望月健裕様に「肝臓造影検査」についてご発表いただきまし

た。異なる造影剤(EOB・ガドブトロール)を使用した検査に関して、撮像方法の違いやその使い分け方についてお話しいただきました。

教育講演では藤田医科大学医学部先端画像診断共同研究講座准教授の村山和宏先生に「頭部造影MRIの読み方：明日の診療で役立つ読影のポイントとピットフォール」と題してご講演いただきました。MRIの造影効果には「Vascularity(血管性)」「Permeability(血管透過性)」の2つの要素があり、それぞれを分けて考えることで「染まる病変」の特徴を捉えることができる。PerfusionのDSC撮像ではCBVやCBFなどのVascularityを、DCE撮像によりKtraなどのPermeabilityをみているということ、多くの症例画像とともにご講義いただきました。また、腫瘍に類似した非腫瘍性病変の造影所見や、造影で血管壁を評価するVessel Wall Imagingについてもご講義いただきました。

会員発表・教育講演ともに、多くの質問をいただきましたが、配信中に全ての質問に対応することができず申し訳ございませんでした。今後の課題とさせていただきます。

参加登録410名に対し、研究会当日の参加者は計323名(実参加率：79%)であり、地域別で見ると県内93名、県外230名(44都道府県)という内訳でした。Web形式での研究会の普及に伴い、他県から多くの参加者が増える傾向にある中、県内技師の参加が制限されないような枠組みを考えていかなければならないと考えております。

最後に当研究会の開催に際してご尽力いただきました皆様、講師を引き受けて下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

MRI部会長 大石恵一

第15回医療安全セミナー 報告

令和3年12月11日(土) 15:00~17:00
WEB開催

令和3年12月11日(土)に、第15回医療安全セミナーを行いました。昨年に続きまして、今年もWEB(ZOOM)による開催とさせていただきます。

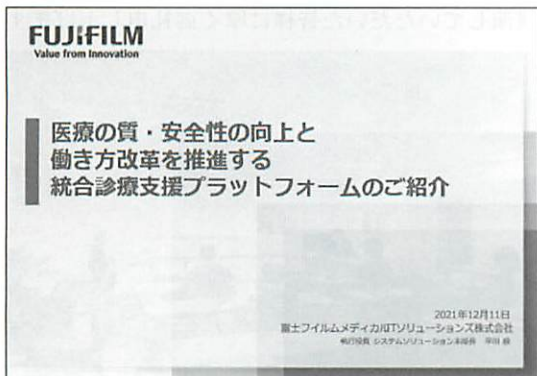
今回のセミナーのテーマは、『画像診断レポート未読影対策』です。画像診断レポートの記載を見落とししたことにより、患者が死亡する事例が後を絶たない昨今、緊急度の高い所見や重要所見に対して必要な対応を取るために、組織的な伝達や確認体制の構築が必要となります。

本セミナーでは重要所見見落としの現状、最新のインフラシステムの紹介、各施設での取り組みを共有することによって、未読影対策の向上を目指していくことを目的に開催されました。講演(1題)、会員発表(3題)を行いました。

きるようになります。2つ目は統合診療支援プラットフォームの『CITA』であり、既読管理機能を有しています。CITAは既読管理のみではなく、その後の対応状況も簡易に把握でき、非常に有用と思いました。



会員発表では、『各施設における画像診断レポート未読影対策の現状』をテーマに、島田市立総合医療センター(中部)宿島久志会員、国際医療福祉大学熱海病院(東部)杉村俊樹会員、聖隷三方原病院の中野仁会員の3施設の方に、ご報告いただきました。



講演では、富士フイルムメディカルITソリューションズ株式会社の平川毅氏に、『医療の質・安全性の向上と働き方改革を推進する統合診療支援プラットフォームについて』で、ご講演いただきました。2種類の統合診療支援システムのご説明がありました。1つ目は、診療文書管理・診療支援ソリューションの『Yahgee』で、働き方改革に向けた診療文書作成および管理の効率化がで



既読システム導入の 経緯と課題

国際医療福祉大学 熱海病院 放射線室
杉村俊樹

画像診断報告書の確認不足防止に向けた取り組み ～富士フィルム社製「CITA」既読管理機能～

国際医療福祉大学 熱海病院 放射線室
中野 七

レポート既読管理システムが導入されている施設、導入がない施設からの報告がありました。既読システムの導入は費用の面から、簡単ではないと思われれます。しかし、既読システムがないから、何もしないでよいわけではありません。宿島会員の施設では、既読システムはないが、診療放射線技師が毎朝、前日の検査報告書を印刷し、各診療科の看護師が医師と既読の確認を実施していました。技師と看護師の連携により、重要所見の見落としを防いでいました。

次に既読システムが導入されている、2施設からの報告です。杉村会員の施設は、『J-MAC社製のLUCID』が、2019年7月に導入されました。未読影の抽出が容易に行え、医事課が病院に報告している運用であり、既読率が明らかに上昇していました。

中野会員の施設では、『富士フィルム社製のCITA』が、今年度5月に導入されました。既読率99%を達成していました。また、既読後の対応（治療への対応・経過観察・他科へのコンサルト

など）もCITAと電子カルテの記事入力で確認されており、対応がとられていない場合には、依頼医に連絡するなど、対策がなされていました。レポートの既読を確認しても、担当医が適切な対応に進んでいなかったら、既読を確認しても意味がないこととなります。既読だけではなく、その後の対応の確認も含め、病院全体で検討していくことが重要と感じました。

本セミナーにより、画像診断レポート見落としの現状、既読システム、対策方法、今後の課題などが、理解できたのではないのでしょうか。われわれが検査を行い、異常所見がレポートに記載されているのに放置されて、手遅れになって亡くなるということは絶対になくさなければならないと考えます。また、本セミナーが、未読影対策を各施設で考える機会になっていただければと思います。

今回は静岡県放射線技師会会員28名、非会員0名、他県の放射線技師会会員から6名、一般参加5名の参加があり、合計39名の参加をいただきました。

最後に、本セミナーに参加していただいた皆様、講演していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



医療安全推進委員長 中村文俊

第46回放射線技師のためのセミナー 報告

令和4年1月22日
Web開催

令和4年1月22日（土）に「第46回放射線技師のためのセミナー」をWeb開催いたしました。令和2年4月からの医療法施行規則一部改正やDRLs2020が策定されたことにより、診療用放射線の安全管理体制や撮影条件の整備が強く求められてきました。そこで、一般撮影の再撮影についても、医療安全・被ばく等の観点からどのように対応していくのか、管理システムの紹介と各施設での再撮影に対する取り組みの共有を目的に、「一般撮影における再撮影」をセミナーテーマとして最新技術講演、会員発表を行いました。

FPDの普及により撮影線量低減が進みましたが、簡単に再撮影が可能になったことで再撮影率増加の問題もあります。そこで最新技術講演では「再撮影管理システム」について2社に講演していただきました。富士フィルムメディカルのシステムは、X線撮影の線量指標であるS値、EI値を撮影部位ごとに管理して線量最適化のサポート、再撮影による写損画像の発生状況を見える化して撮影手技の標準化や教育支援への活用、検査数や稼働率を管理することで効率的な検査体制の構築といった特徴を挙げられていました。コニカミノルタジャパンのシステムは、NG画像の一括管理や再撮影基準画像の作成支援、「NG画像」「OK画像」「基準画像」を同一画面で表示する再撮影カンファレンス機能などの再撮影管理とコニカミノルタコンソールCS-7から収集された情報を活用してデータに基づく改善を支援する業務分析の2つの機能で構成されている特徴を挙げられていました。

会員発表では「一般撮影における再撮影の取り組み」をテーマに3施設の会員に発表していただきました。聖隷浜松病院の原川雄太会員からは、Webマニュアルや補助具を利用して統一性をもたせることや、勉強会や日々の振り返りにより知識・理解度を高める取り組みの内容でした。静岡県立総合病院の杉浦靖幸会員からは、写損を減ら

す取り組みとして医師と協議して作成したマニュアルから、腰椎、膝の撮影目的・技術について分かりやすく話していただきました。沼津市立病院の村瀬渉会員からは、写損カンファが技師間のコミュニケーションにも繋がり、一般撮影の画像が向上したことで写損率が減少したという報告がありました。3名の発表からもまずは自施設の撮影体制や写損原因・部位などを把握することが再撮影を減らす第一歩であることを感じました。

今回もWeb開催ということで音声の乱れ等の不手際がありましたが、土曜日の午後という貴重な時間にも関わらず62名（静放技会員51名、その他11名）の方にご参加いただけました。今後も多くの会員の皆様にご参加いただけるような内容を企画して参りたいと思います。最後に、参加していただいた会員の皆様、ならびにご講演していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

管理士部会 勝浦拓也



第62回東海四県放射線技師学術大会 報告

2022年2月6日(日)

三重県 Medinar (WEB形式)

2022年2月6日(日)、三重県診療放射線技師会の主催で、第62回東海四県放射線技師学術大会が開催されました。昨年は、新型コロナウイルスの蔓延により開催が延期されましたが、本年は東海四県として初のMedinarを使用したWEB形式での開催となりました。事前の登録は300名を超え、当日は多くの方が視聴されました。

大会のテーマは、「循環器領域の疾患に画像診断で迫る」と題し、特別講演とシンポジウムの2本立てで、最新の知見、今後の動向を会員の皆様にお伝えする目的で企画されました。

まず特別公演では、三重大学医学研究科 循環器内科・腎臓内科教授の土肥薫先生が、「循環器内科医が画像診断に求めるもの」と題し、心臓疾患の現状とそれに対する評価方法や治療について、1時間にわたりご講演くださいました。放射線科領域の画像診断の重要性を、あらためて知ることが出来ました。

その後のシンポジウムでは、「循環器の疾患に各モダリティで提供できる画像情報について」と題し、当会四県の会員で、各モダリティのスペシャリストによる発表がありました。モダリティは、X線CT・MRI・RI・超音波の4検査で、静岡県からは、静岡市立静岡病院の千葉和宏会員が、「X線CT検査の役割と実践」と題して、冠動脈・大血管に関し、救急医療におけるCTの重要性も含めて、詳しく解説してくださいました。循環器領域に詳しくない私にも分かり易い内容となっており、とても勉強になりました。その後の討論会でも活発な意見交換がなされ、非常に盛り上がったパネルディスカッションとなりました。千葉会員におかれましては、昨年暮れの急なお声掛けに

もかわらず、限られた時間の中で素晴らしい発表をしてくださいましたこと、この場をお借りし、あらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。今後益々のご活躍をお祈りいたします。

最後に、今大会の当番として運営されました(一社)三重県診療放射線技師会の皆様に、心から感謝申し上げます。

さて、次回は静岡県が開催当番となっており、会場型での開催を目指しております。会場は、アクトシティ浜松コンgresセンターとし、2023年2月11日(祝)の開催を予定しております。内容は未定ではありますが、当日は、是非とも多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

第35回乳腺画像部会研修会 第2回静岡県マンモグラフィ研修会（撮影技術） 報告

令和4年2月11日（金）

令和4年2月11日にオンラインにて、第35回乳腺画像部会研修会、第2回静岡県マンモグラフィ研修会（撮影技術）を開催いたしました。参加人数は95名（会員48名、非会員21名、県外会員26名）でした。

【第35回乳腺画像部会研修会 報告】

『症例検討およびディスカッション』

今回は、前回開催した研修会でのアンケートで要望の多かった症例検討をテーマに取り上げ、3症例について検討およびディスカッションを行いました。事前にクラウドPACSにて画像を確認し、当日は投票機能を用いてマンモグラフィのカテゴリーを参加者の方につけて頂きました。

1症例目は、マンモグラフィでカテゴリー3、エコーではカテゴリー2の判定であったが、MRIや生検の結果、乳がんと診断された症例でした。MLOで、胸壁近くにFADがあり、もっと良く描出させようと追加撮影も行われていました。追加撮影が撮影技師の判断に任されている施設も多くあると思いますので、所見を見つける読影力が必要だと改めて感じました。エコーの解説では、カテゴリー分類に沿って説明して頂きました。縦横比、エラストグラフィのことなども丁寧にお話してくれたので、エコーに携わっていない方にもとてもわかりやすかったと思います。

2症例目は、極めて高濃度乳房の症例で、検診エコーにて指摘されている病変が、2Dマンモグラフィではわからず、トモシンセシスで構築の乱

れがわかる症例でした。極めて高濃度や不均一高濃度の乳房はマンモグラフィが苦手な乳房構成ですが、トモシンセシスを上手に組み合わせることで病変を見つけられるとのことでした。MRIの解説では、カテゴリー表や、Time Intensity Curveを提示してわかりやすく解説して頂き、マンモグラフィを振り返った際の説明では、2Dの画像でもリトラクションの存在が認識でき、左右対称に撮影すること、乳腺を伸展させることの大切さを教えて頂きました。

3症例目は、検診エコーでカテゴリー4がついた症例でした。精査のマンモグラフィでは胸壁付近に石灰化があり、最初はカテゴリー3と判断されたものの、もっと奥まで写るように撮影した結果、さらにたくさんの石灰化が見え、カテゴリー4の判定になりました。ポジショニングによって描出範囲が違うことが判定に影響があると痛感させられた症例でした。石灰化病変は、エコーとの総合判定でマンモグラフィが優先される事が多いので、ブラインドの少ない画像提供が必要だと実感しました。

今回の研修会は、症例検討ということで、3症例を供覧して解説していただきました。マンモグラフィだけでなく、エコー、MRI、病理とさまざまな画像を見る良い機会になったと思います。今回の症例を通して、前回の研修会でもお話があった、『マンモグラフィはポジショニングの良し悪しがそのまま診断の良し悪しにつながる』と言う事も再認識しました。また、追加撮影を行う際の基準や、トモシンセシスを用いる基準についての

質問があり、他施設の貴重な意見が開けたのではないかと思います。今回の研修会で得た事を業務に活かしていきたいと思いました。

最後に今回の研修会の開催に際してご尽力いただきました役員の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

乳腺画像部会 部会員

JA静岡厚生連 遠州病院 筒井亜季

【第2回静岡県マンモグラフィ研修会（撮影技術）報告】

『県内の再撮影率と傾向、改善方法について』

『再撮影の被ばくについて』

今回、県内11施設の再撮影率と傾向について調査報告が行われました。

検診施設での再撮影理由の多くは、対側乳房等の写り込みやnippleの側面性が占めていました。改善方法として、この2点は撮影前に目視で確認できる部分であるため、対側乳房を除けたあとの戻りや圧迫時のnippleの巻き込みに気をつけることで再撮影が減るのではとの見解が示されました。スピードも求められる検診ですが、この2点に気をつけ撮影していきたいと思いました。

また、経験年数別での再撮影率では、3年未満が最も多く、次いで10~15年という結果でした。経験年数が多い技師の再撮影理由では、技師ごとの傾向があったとの報告があり、その傾向を知って、乳腺全体を伸展させて欠像なく描出する撮影技術を身につけることが必要とお話がありました。これを機に、自分のポジショニングにおけるクセを見直してみようと思いました。

精査施設での再撮影理由で最も多かったものは、乳腺の欠像で、病変の描出不足や追加撮影の位置不良等が主な理由でした。また部分切除後や男性等、通常のポジショニングが難しい場合が多い事も再撮影となる要因ではないかとの結果が示されました。ポジショニングの改善が再撮影減少につながり、そのためには、精密検査という不安と緊

張を持っている患者への接遇も重要であるとお話があり、接遇の大切さも改めて感じました。ポジショニングのポイントについてのお話もあり、欠像をなくすためには、乳房を引っ張るのではなく、乳房を入れたいところまで動いてもらうという説明がありました。乳房全体を写すためには立ち位置が重要であることがよくわかりました。また、ポジショニングを振り返る事や、記録に残して次回に生かすことも大切で、今後実践していきたいと思いました。

再撮影の被ばくについては、再撮影した分だけ被ばくが増えること、マンモグラフィでは、痛い時間も増えるというお話がありました。つい、画像の方に気をとられてしまうので、痛い時間も増えるということにハッとしました。また、被ばくの低減を考えた、プレ照射が撮影線量に及ぼす影響についての検討は、とても興味深かったです。

今回、1人で撮影することの多いマンモグラフィにおいて、どのような時に再撮影を行っているのか、またその改善方法について、大変貴重なお話を聞くことができました。今回学んだ改善方法を参考に、また被ばくのこと考えた撮影をしなければならないと感じました。

最後に、今回の研修会の開催に際してご尽力いただきました役員の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

乳腺画像部会 部会員

JA静岡厚生連 遠州病院 筒井亜季

和田 健 会員 瑞宝双光章受章 おめでとうございます

公益社団法人 静岡県放射線技師会
会長 山本 英雄

本会の前会長（現顧問）の和田 健会員が令和3年11月3日付で瑞宝双光章を受章されました。このことは静岡県放射線技師会といたしましても大変喜ばしいことであり、名誉なことでもありません。

この瑞宝双光章は保健衛生功労者として公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、職務をはたし成績をあげた人に対して、与えられます。

和田会員は、昭和43年10月1日診療エックス線技師として浜松市医師会中央病院に入職し、昭和44年1月25日診療エックス線技師免許取得、昭和46年7月10日診療放射線技師免許取得して昭和48年4月1日から県西部浜松医療センター開設に尽力し、昭和52年には国内初、高速VTRによる血管撮影法を確立するなど先進的な高度医療の推進に携わりました。平成9年には高遮蔽能力のアクリル製水晶体防護メガネを考案して医療被ばくの低減に努め、医療界初の社団法人 静岡県産業技術協会より奨励賞を受賞し高い評価を受けました。平成10年4月1日より放射線技術科長として画像のネットワーク化に務め平成12年には県内初の一般撮影系にフラットパネルディテクタによるデジタル撮影システムを導入し画像のファイリングや高画質な画像情報を提供しました。平成12年度より2年間、浜松市医師会肺がん検診精度管理委員として胸部X線写真の画像評価や撮影機器等の線管理について診療所等の医療機関に対し助言を行い、平成15年度から開始した診療所等による肺がん検診個別事業に大きく貢献しました。平成15年

4月から診療支援部長としてコメディカルを統括し、デジタル画像の院内WEB配信を積極的に推進して画像の一元管理に貢献しました。

定年退職後、平成18年4月1日から令和元年7月まで浜松南病院 放射線科技師長として当該科をまとめると共に消化管の難治性疾患の画像検査等にも取り組むなど浜松市南部地区の地域医療の発展にも貢献している。また、これらが評価されて平成19年5月25日厚生労働大臣表彰を授与されました。

令和元年10月からは、高橋整形リハビリクリニックに勤務し、急性期病院で知識技術を發揮し、整形領域の検査に携わり、地域住民の健康維持管理に尽力しています。

静岡県放射線技師会役員としての功績は、平成12年4月1日から平成16年3月31日まで社団法人静岡県放射線技師会 副会長（学術担当）として、学術研究活動の推進と診療放射線技師の資質の向上に務めました。その後、平成16年4月1日より、会長として新たに技師会事務所の購入に向けて会員各位の協力により購入資金の積立を開始し、購入のための手続きを経て平成23年6月より新技師会事務所での業務を開始して技師会活動の更なる発展の基礎を築きました。

平成22年4月より法人化検討委員会を発足し、9月より拡大法人化検討委員会を立ち上げ、法人法改正内容について学習と検討、公益法人移行へ対応する新定款、諸規程案の検討など幾多の議論を積み重ね、理事会そして臨時総会等を経て、平成24年4月1日公益社団法人への移行を達成し、

晴れて新しい歴史を刻む一步を踏み出しました。

公益事業の推進に向けて主に3つの柱を事業内容として1.セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業 2.体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業 3.研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業などの公益目的事業を積極的に開催するために各種専門部会（超音波部会・MRI部会・アンギオ部会・乳腺画像部会・管理士部会）でも活発な情報交換を行い、その技術を臨床現場に反映するように周知徹底を図りました。県内各地区では、「ふれあい広場」を利用しての放射線被ばく相談や、腹部超音波検査無料体験、そして骨密度測定無料体験など多くの県民が参加して、自己の健康管理の重要性を再認識する機会を計り、県民の健康寿命増進に寄与するように務めました。

平成23年3月11日の東日本大震災時には県医務課の要請を受け、いち早く県庁危機管理センターに専用電話を開設して頂き、診療放射線技師3名を常駐して、延10日間450件に及ぶ県内外の住民からの放射線被ばくに対する健康相談を実施して、不安解消に努めました。また被災者に対する超音波による甲状腺検査や、遺体検案前スクリーニング検査等についても一部の会員を被災地に派遣して、甲状腺がんの早期発見に務めました。

放射線技術の向上のため、静岡県放射線技師学術大会や第5回中部放射線医療技術学術大会、東海四県放射線技師学術大会などの大会長としての重責を担い、中部地区7県の診療放射線技師や関連企業の技術者や学生も参加する大規模な学術大会を企画運営するなど、強いリーダーシップを発揮してチーム医療の推進と放射線技術学の研鑽に尽力しました。

これらの功績が認められ今回の叙勲受章となりました。

50年余りの永きにわたり診療放射線技師として

高度先端医療の第一線の中で活躍し、地域医療に貢献している傍らで、私たち後進へのご指導を頂きありがとうございました。

今後も、和田会員が健康に留意され、ますますご活躍されることを祈念いたします。

会員の皆様へ授章の報告会として、5月学術大会（浜松）終了後に予定しております。本来ならば盛大に行いたいのですが、現在のコロナウイルス感染拡大状況を鑑みて開催いたします。

画像から見るポジショニングの改善点

磐田市立総合病院 安澤 千奈

◎初めに◎

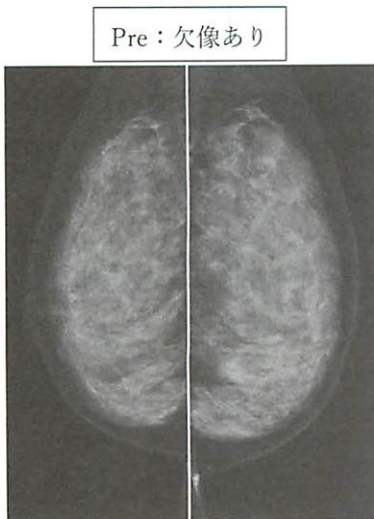
マンモグラフィに求められる画像とは

1. できるだけ広い範囲が写し出されていること
乳がんは乳腺に発生します。その乳腺が欠けていない、欠像のないポジショニングがマンモグラフィに求められます。
2. 写し出された乳腺ができるだけ広がっていること

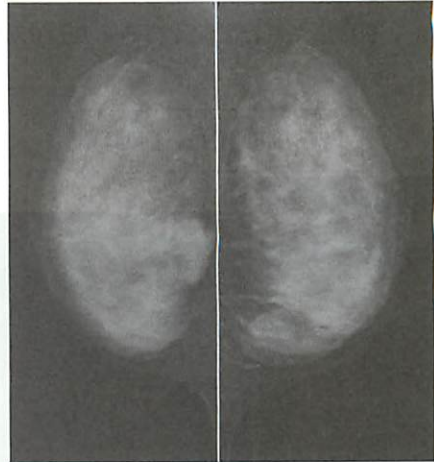
乳腺のかたまりの中に病変が埋もれて判別できないことがあります。そのため、乳腺をできるだけ伸展させたポジショニングがマンモグラフィに求められます。

画像から上記2点が満足できる、よりレベルの高い画像を提供するためのポジショニング改善ポイントを解説しました。

症例1 できるだけ広い範囲を写し出す



Post : 広い範囲が写し出されている



◆Pre画像からわかること

他施設から右乳房に腫瘤を自覚するとのことで紹介された画像で、指摘された腫瘤は判別が困難です。極めて高濃度乳房のため、乳腺に埋もれて判別できなくなっているのでしょうか？

まずは欠像があるのかどうか、その点を考えます。乳腺後隙が不足していることに気づくかと思えます。左右比べて特に右の後隙は、大胸筋やインフラマンマリーフォールドの描出も少なく、極めて高濃度乳房のため確かに胸壁ギリギリまで乳腺があり、描出が難しかったのかもしれませんが、精密検査で受診され自分だったらどうアプローチするのか？そこを考えましょう。

◆Post画像からわかる改善ポイント！

精査施設で再度撮影された画像です。全く印象が違いますが同一患者です。乳腺後隙がしっかり描出され、右乳房ML領域に自覚されていた腫瘤らしき存在が確認できます。

何がポジショニングで違ったのか？どこが改善

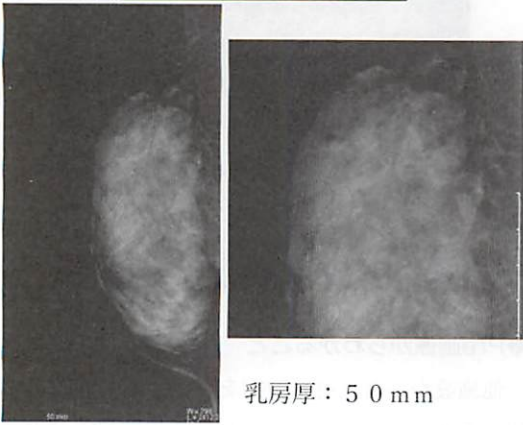
されたのかを考えていきます。

この症例の乳腺後隙を入れるための改善点

- ✧立ち位置をもう少し前にする
- ✧腋窩深部の位置を的確に確認し支持台角にのせる
- ✧乳腺を背中の方から肋骨に沿って引き寄せる

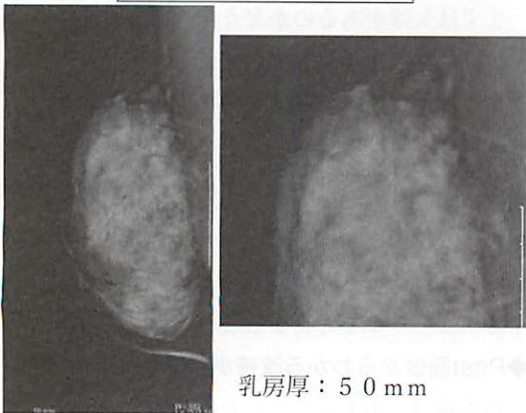
症例2 写し出された乳腺ができるだけ広がっている

Pre : 伸展不足 (前回)



乳房厚 : 50 mm

Post : 伸展良好 (直近)



乳房厚 : 50 mm

同一患者の画像です。右U領域に、C-4の中心低濃度の構築の乱れが存在します。

極めて高濃度乳房であり、ポジショニングが本

当に大変ではありますが、Pre画像に比べてPost画像は、右U領域の構築の乱れがはっきり確認できます。

大胸筋や乳腺の入り方はそれほど変わりません。また、共に乳房厚は50mmと同じで乳房圧迫に大きな違いはありません。

この症例の乳腺をより伸展させるための改善点

- ✧手のひら全体で、指先まで含めて乳腺をしっかり伸展させる

圧倒的に乳腺の伸展の仕方が大きく違うのです。乳腺をしっかり伸展する事で、脂肪と乳腺の分離がよりはっきりして、乳腺内コントラストが向上し、異常所見の描出が容易に確認できます。

乳腺の伸展の違いが病変の見え方に大きく寄与していることを再確認できる症例です。

◎まとめ◎

再撮影は極力避けるべきであり、過去画像があれば撮影前に確認することでポジショニングの傾向をつかみ、回避できることも少なくありません。また撮影後は過去画像と比較して、自分が撮影した画像を振り返ることもしましょう。そうすることで自分のポジショニングの弱点を知り、克服するきっかけになります。

前回の乳腺画像部会で接遇の大切さもやらせて頂いていますが、接遇も撮影技術の中の重要な1コマです。

接遇とポジショニングを制することで、上質なマンモグラフィを提供する事の近道になります。明日からの業務に活かして、より技術の腕を上げていきましょう。

肝臓造影検査

磐田市立総合病院 放射線診断技術科 望月 健裕

昨年度、当院での肝臓を対象とした検査383件のうち286件(74.7%)がGd-EOB-DTPA、41件(10.7%)が細胞外液性造影剤であるガドブトロールを用いた造影検査であった。当院におけるこれらの造影検査についてポイントとなる点を紹介する。

【Gd-EOB-DTPAの検査について】

肝特異性造影剤であるGd-EOB-DTPA（以下EOB）は、投与直後では血管内腔から細胞外液腔への分布を示し、血流評価が可能である。また、徐々に正常肝細胞への取り込みが進むことで、肝細胞機能評価も可能である。一度の検査で血流評価と肝細胞機能評価を同時に行うことができる点が大きなメリットとされている。

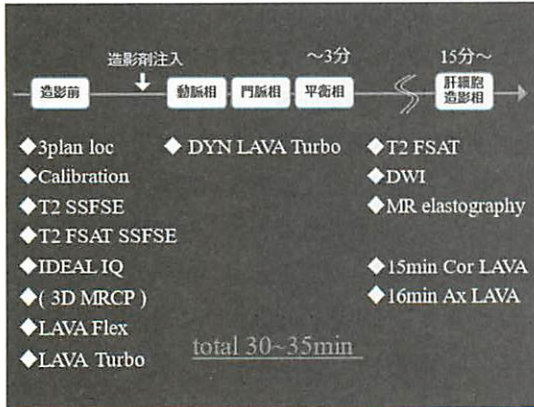


図1 EOB造影ルーチン

当院におけるEOBを用いた造影検査プロトコルを図1に示した。造影剤注入前の撮像シーケンスは基本的にすべて息止めで撮像し、造影剤注入から約15分後以降を目安に肝細胞造影相を撮像している。

<SSFSE>

SSFSE (Single Shot Fast Spin Echo) 法は、FSE法においてecho spaceを短くし、ハーフフーリエ再構成を用いることで強いT2強調画像を取得する。当院では1スライス1秒の息止めとなるよう設定している。嚢胞性病変と充実性病変とのコントラストが良好で、主に嚢胞と血管腫の鑑別に有用である。(図2)肝血管腫ガイドラインにおいて推奨グレードAに位置付けられている。

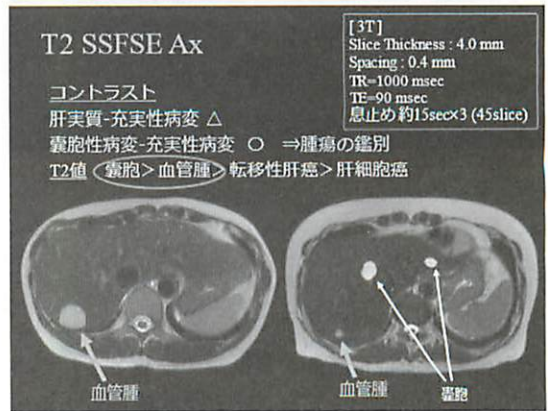


図2 SSFSE

また、脂肪抑制を併用したSSFSEでの撮像もしている。こちらはLong TE (150msec) に設定することで腫瘍鑑別のグレーゾーンが狭まることや、脂肪抑制により水成分の視認性が高まることを目的としている。

<IDEAL-IQ>

IDEAL-IQは6 point DIXON法を使用し、水画像、脂肪画像、In Phase、Out of phase、Fat fraction map、R2* mapを再構成することができる。Fat fraction mapからは脂肪含有率 (PDFF)、R2* mapから

は肝臓への鉄沈着の程度を定量的に評価することが可能である。3D高速GRE法による撮像を行い、一回の息止め（15～20秒）ではほぼ全肝を撮像することができる。脂肪肝症例におけるFat fraction mapでは、肝実質信号は正常肝に比べ明らかに高信号を呈していることがわかる。実測を行うと肝右葉においてPDFFは31.3%と顕著な脂肪沈着がみられる。正常肝におけるPDFFは5%以下であるとされている。（図3）

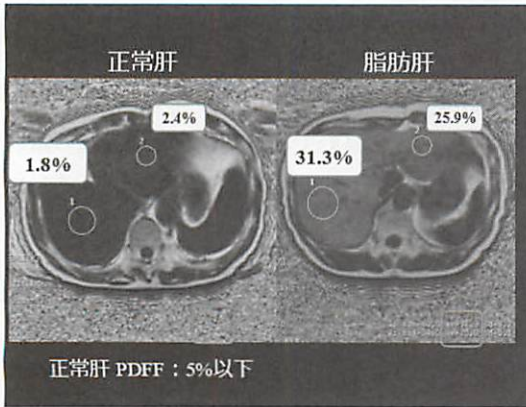


図3 正常肝と脂肪肝症例のFat fraction map

<DYN LAVA Turbo>

肝臓における血流評価では、動脈相、門脈相、平衡相での多時相評価が最低限の推奨とされている。当院では、ダブルアーテリアル撮像をすることで動脈相を2相撮像し、計4相撮像している。

撮像にはLAVA (Liver Acquisition with Volume Acceleration) 法を用い、Smart prepを使用している。ダブルアーテリアル撮像のメリットとして、複数時相で動脈相を撮像することで腫瘍などの血流評価がしやすい点がある。また、EOBには投与直後に一過性の呼吸困難様症状が発現することがあると報告がされており、造影剤投与直後の息止めがうまくいかなる方がしばしば見受けられる。そういった際には2相目の撮像タイミングに合わせ、マニュアルボイスにて息止めの合図を出しなおすことも可能である。

<呼吸同期撮像>

T2 FSAT Ax (2D FSE)、DWI Ax (2D EPI) はともに呼吸同期による撮像を行う。当院では呼吸同期撮像において、横隔膜同期法と腹壁同期法の使い分けを行っている。

・横隔膜同期法 (Navigator Triggering法)

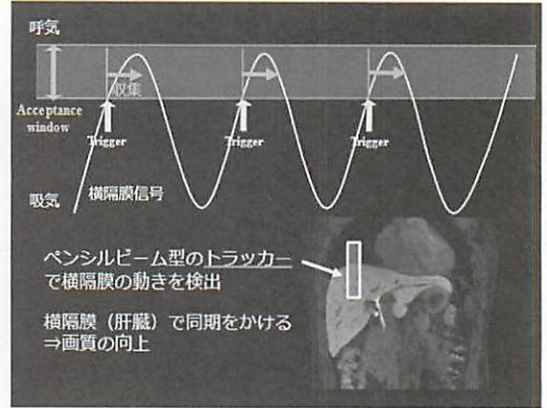


図4 横隔膜同期法

ペンシルビーム型のトラッカーを肝臓ドーム部に設定することで横隔膜の動きを検出し、任意に設定したAcceptance window内に横隔膜信号が差し掛かった時点でデータ収集を開始する方法である。撮像対象である肝臓で同期をかけることで腹壁同期法に比べ画質の向上がみこまれるため、当院では第一選択として横隔膜同期法を使用している。しかし、患者状態などにより横隔膜同期がうまくいかない場合がある。

1つ目として患者の呼吸状態に起因する場合である。呼気時にデータ収集を行うが、呼気量が不安定な場合、撮像途中でのAcceptance Window変更が余儀なくされる。その場合トリガー位置が変わってしまうため同期が不十分となることがある。

2つ目としてナビゲーター信号の取得が困難な場合である。主に肝臓ドーム上に胸水や脂肪などの障害物が存在する場合はこれにあたる。また、肝臓への強い鉄沈着が生じている場合には、肝臓

の信号が低下することで肺とのコントラストがつかず信号が取得できない場合がある。

3つ目として、ナビゲーターエコーによるアーチファクトを紹介する。図5に示すように息止め(BH)シーケンスではみられないが、ナビゲーターを使用したシーケンスにおいて、Axial画像では点状、3D MRCPなどのCoronal画像では帯状に低信号を呈するアーチファクトがみられることがある。そのため、トラッカーの延長線上に腫瘍などがある場合には信号低下に注意が必要である。

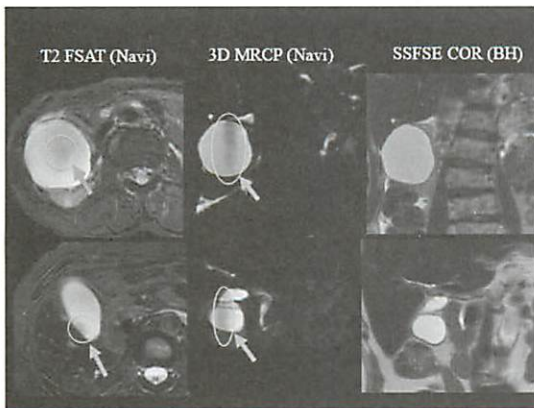


図5 ナビゲーターエコーによるアーチファクト

(ゴムのチューブ)の伸縮から、呼吸による腹壁の動きを検出し撮像する方法である。

<MR elastography>

MR elastographyでは、肝臓の硬さ(弾性率)の測定を行うことができる。線維化(肝硬変)の診断や慢性肝疾患症例の予後予測、肝癌発がんリスク評価が可能とされる。これらの評価を非侵襲的に繰り返し行うことができることがMR elastographyにおける大きなメリットである。

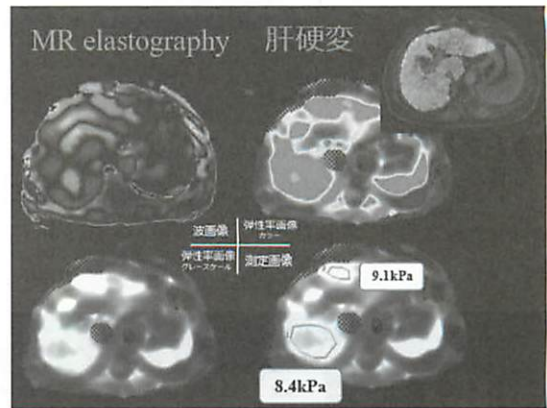


図7 肝硬変症例 MR elastography画像

・腹壁同期法 (Respiratory Triggering法)

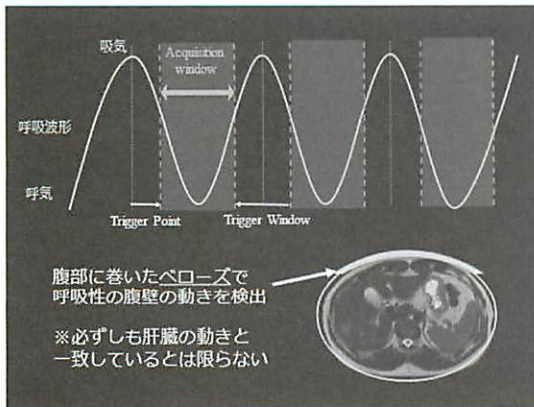


図6 腹壁膜同期法

横隔膜同期法でうまく撮像できない、またうまく撮像できないと予想される場合には腹壁での同期により撮像を考慮する。腹部に巻いたベローズ

測定はグレースケールの弾性率画像で行い、肝実質中において波画像にて比較的均一に波が伝播している領域で測定を行う。肝左葉では心拍動などの影響が考えられるため、肝右葉での測定値の信頼度がより高いとされている。正常肝における弾性率は約2kPaとされているのに対し、図7の症例では肝右葉において弾性率8.4kPaと高度な線維化が生じていることが考えられる。

<肝細胞造影相>

肝細胞造影相では、造影剤が正常肝細胞に取り込まれ、T1強調画像において高信号に描出される。腫瘍性病変とのコントラストがつくことで肝内腫瘍の検出、鑑別に利用されている。通常、造影剤投与後15~20分程度で正常肝細胞へ造影剤が十分取り込まれるとされている。当院では、造影

剤投与から15分以降を目安に肝細胞造影相を撮像している。LAVA法にてCoronal、Axialの2断面で撮像し、撮像時間はともに15~20秒程度となるように設定を行う。

息止めが困難な患者の場合には横隔膜同期法(Navigator gating法)を用いて撮像を行う。Navigator gating法は横隔膜同期による連続したデータ収集を行うなかで、画像作成の際にAcceptance window外のデータを排除する方法である。ただし、横隔膜同期での撮影のため、前述したナビゲーターエコーによるアーチファクトがみられることがある。

【ガドブトロールの検査について】

当院では肝臓造影検査において、細胞外液性造影剤であるガドブトロールを用いた造影検査も行っている。

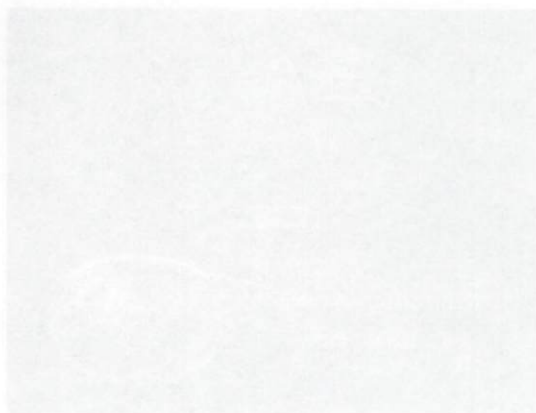


図8 ガドブトロール造影ルーチン

撮像プロトコルは図8に示した通りである。ガドブトロールを用いる検査のほとんどは、肝血管腫の診断を目的とした場合である。肝血管腫は幅広い年齢層に発症することから、被ばくを伴わないMRIで検査を行うことは一つのメリットであると考えられる。ガイドラインにおいて肝血管腫における確定診断の信頼性は、造影検査を含むMRIが最も高いとされている。

細胞外液性造影剤であるガドブトロールは、造

影剤による正常肝細胞の信号変化がないため、投与から数分後でも肝実質と濃染した血管腫とのコントラストが保たれる点がメリットとなる。そのため微小な濃染や、造影剤投与直後では明らかでない遅延性の濃染が存在する場合にも検出が可能である。



第35回乳腺画像部会研修会

症例検討 1

島田市立総合医療センター 前島 由佳

【症例 1】

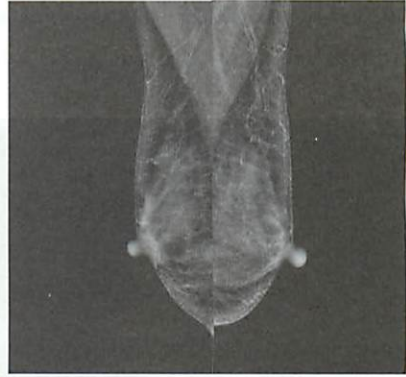
症例 1 は71歳の女性の方です。

右乳房のしこりが気になり近医を受診し、マンモグラフィーと乳房超音波検査が行われました。マンモグラフィーでは右乳房に局所的非対称性陰影を認め、超音波検査ではほぼ境界明瞭な腫瘤が見つかり、FNAでクラス3bであったため、当院に紹介となり、精査目的で受診されました。

乳癌検診歴はなく、乳腺症歴もないですが、授乳中の23歳頃に乳腺炎歴があります。乳癌の家族歴はありません。

当院で行われた触診では、皮膚所見がなく、境界はわかりにくく、可動性も悪く感じる程度で悪性だと確信できるような所見はありませんでした。

当院ではまずマンモグラフィーと乳房超音波検査が行われました。マンモグラフィーでは右乳房のL領域とI領域に局所的非対称性陰影を認め、カテゴリ-3でした。乳房超音波検査では右乳房のA領域2時半方向に低エコー腫瘤を認めました。サイズは9×7×6mm。縦横比は0.68。形状は楕円形、境界明瞭平滑、内部エコーは均質、後方エコーは増強し、腫瘤内部には明らかな血流信号は見られませんでした。エラストグラフィーではスコア2程度でした。乳房超音波検査で右乳房腫瘤はカテゴリ-2でした。



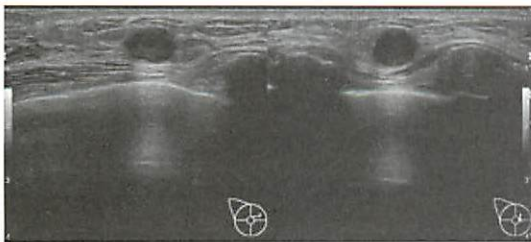
マンモグラフィーや超音波検査ではカテゴリ-1分類は良性よりと考えられましたが、精査目的で来院されたことや、腫瘤の縦横比がやや大きいためMRIと針生検が追加されました。

MRIのレポートでは「右乳房4時方向に1.2cm大の腫瘤を認める。拡散強調像で高信号を示し、Dynamic studyでは早期濃染している。Time intensity curveは rapid persistent patternである。乳癌の可能性が高いと思われる。」という結果でした。

また生検では「篩状腺管を形成し、2相性の保たれた核異型度中等度のDCISの像を認める」という結果で、乳房腫瘍切除の方針となりました。

病理では「境界明瞭で線維性被膜に被包された乳管内病変で、大部分は細い結合組織芯を有するCK5/6陰性のDCISの像だが、一部（病変の10%程度）アポクリン化生を伴うp63陽性CK5/6陽性の乳頭腫成分が認められる。DCISを伴う乳頭腫の所見。断端陰性。」という結果でした。

今回の症例はマンモグラフィーや超音波所見では良性を思わせるものでしたが、実際には乳がんでした。生検をしていなければ経過観察されていたと思われます。



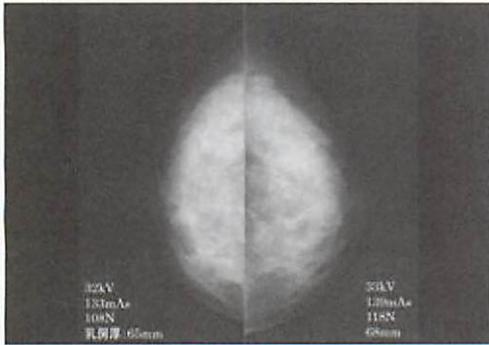
症例検討 2

磐田市立総合病院 宮木 涼香

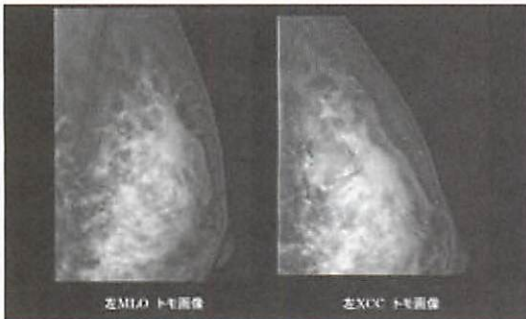
45歳女性。他施設の検診エコーにて左C領域に低エコー病変を指摘され当院紹介受診された。

はトモシンセシスのみで構築の乱れが指摘できたので構築の乱れ疑いで、C-3とした。

<マンモグラフィ画像>

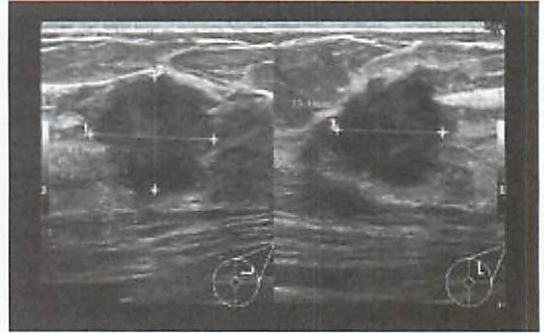


マンモグラフィ2D画像では左右差はなく、エコーにて指摘された箇所にも所見は指摘できなかった。

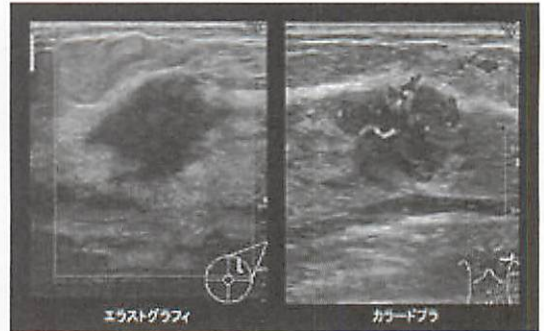


しかしトモシンセシス画像では左M/O領域に構築の乱れが指摘できた。右乳房はC-1、左乳房

<エコー画像>



左乳房2時方向に17.9×15.4×16.5mmの不整形の腫瘍を認める。D/Wは0.9。境界は明瞭粗ざう。エコーレベルは低レベル。積極的に前方境界線断裂を疑う所見は指摘できない。

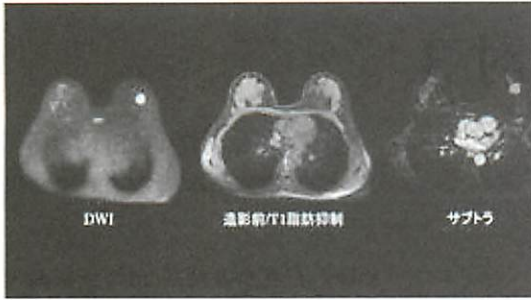


エラストグラフィでは低エコー部に一致した部分が青く、硬い腫瘍である。

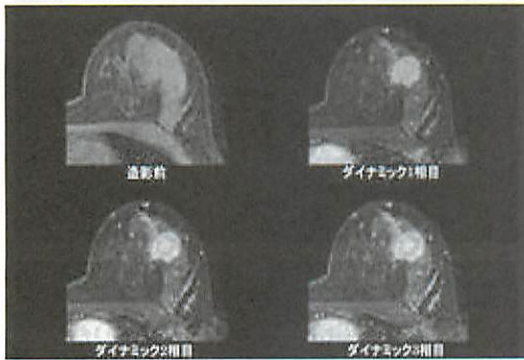
また、カラードプラでは、バスキュラリティの増加が認められ血流が豊富である。

以上の所見から、乳房超音波診断ガイドラインの 카테고리判定より、右乳房はC-1、左乳房はC-4とした。

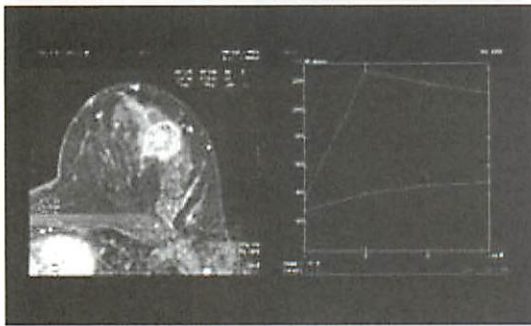
<MRI画像>



拡散強調画像では、マンモグラフィ・エコーでの指摘と同一部位のC領域に高信号を認め、T1脂肪抑制画像では出血成分は無く、サブトラ画像で腫瘍部分が濃染されている。



ダイナミックでは辺縁は不整、内部は不均一に染まっている。

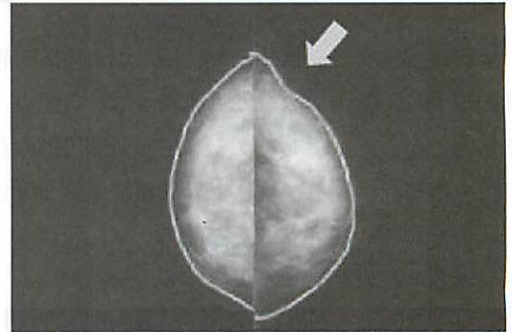
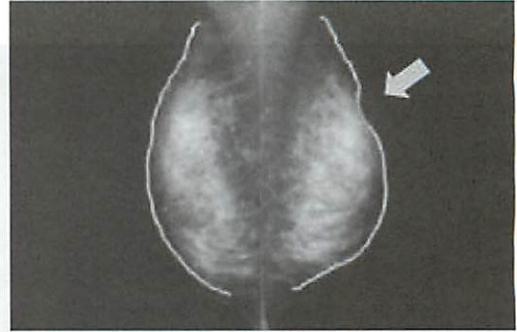


ダイナミックカーブより造影パターンはfast-washoutである。

以上の所見からBI-RADS MRIの判定より、辺縁は不整、Washout (+)、リング状に染まっていることから、左乳房はC-5。右乳房は所見がなかったためC-1とした。

以上の画像診断より悪性腫瘍が疑われたので病理診断を行われた結果、硬癌という診断となった。

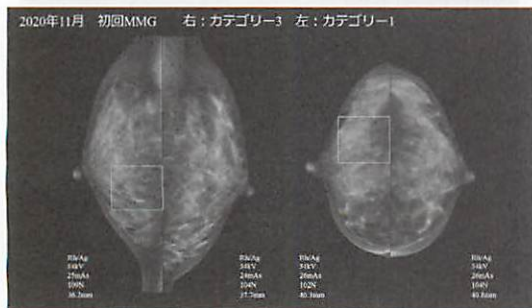
今回の症例はマンモグラフィ2D画像では、はっきりとした所見がなく、トモシンセシス画像で構築の乱れが存在した症例を報告した。



しかし、Second-lookとしてマンモグラフィ画像を再確認してみると、乳腺辺縁にretractionが認識できる。2D画像で僅かな異常を落とさない為には、左右対称に撮影すること、乳腺の伸展を心掛けて撮影することがとても重要であると痛感した。今回は精密検査のためトモセットで撮影したので病変を見落とすことはなかったが、検診では2Dのみの撮影が多い。デンスブレストと呼ばれる不均一高濃度、極めて高濃度乳房はマンモグラフィのみでは感度特異度ともに低下するので、エコーとの併用をおすすめしたくなる症例でもあった。

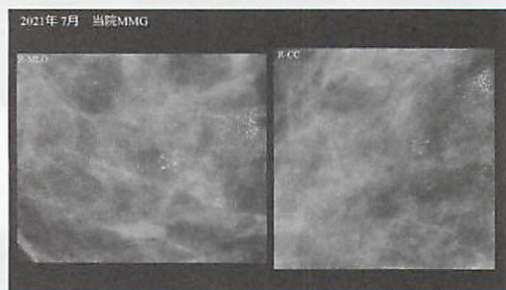
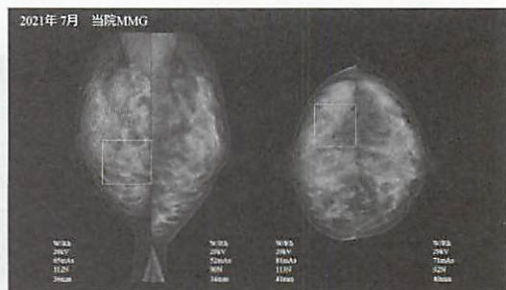
症例検討 3

聖隷三方原病院 篠田 奈美



症例は40歳女性。他施設で行ったがん検診の超音波検査にて低エコー域と点状高エコーを認め、要精密となった。マンモグラフィで微細円形の石灰化を指摘。マンモグラフィでは悪性を疑う所見は認められず、半年後再検査となった。(右カテゴリ-3、左カテゴリ-1)

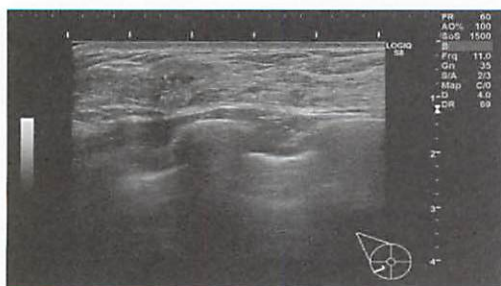
当院エコーでは、右乳房8時6cmに点状高エコーを伴う低エコー域を認めた。前方境界線の断裂はなし、後方エコーは不変。エラストスコア4。超音波カテゴリーは4。



半年後撮影されたマンモグラフィで、すでに指摘されていた石灰化の奥に、区域性に広がる多角形の石灰化を認め、当院へ紹介となった(右カテゴリ-5)

当院でもう一度マンモグラフィを施行、さらに奥まで多形成の石灰化の部分が描出された。

マンモグラフィと超音波検査の総合判定マニュアルより、マンモグラフィでカテゴリ-3以上の石灰化が認められた場合は、原則としてマンモグラフィ所見を優先。ただし、超音波検査で点状エコーを複数伴う腫瘍や低エコー域が認められた場合は、最終カテゴリがマンモグラフィより高くなることもある、とある。

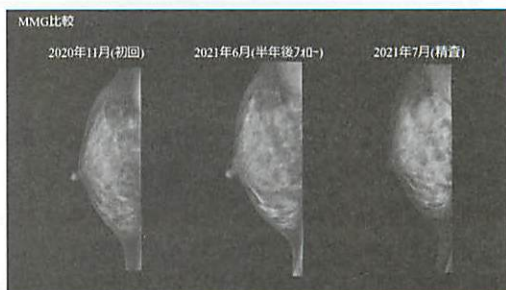




受診者の体型はやせ形、高濃度乳腺で、すべての乳腺を描出するのが難しいかもしれないが、ポジショニングによって描出範囲にかなりの差が見られた。

病理では、拡張した乳管の集ぞくが見られ、壊死型石灰化も認められた。標本上、浸潤は認められなかった。病理結果より、非浸潤性乳管癌。

Ly0 V0 n0 切除断端陰性 ER(+)
95% PgR(+)
95% Ki67 10% HER 1+ TisN0 M0 stage 0。

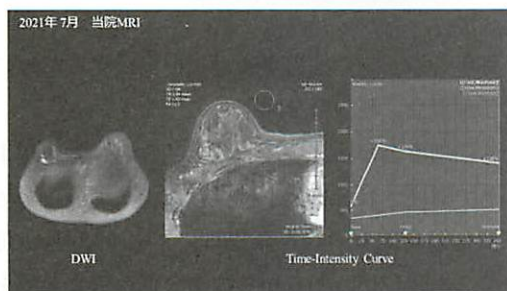


初回のマンモグラフィ（左）は、大胸筋の入り方が今一つな印象はあるが、このMLOだけ見て、再撮影をするか、と言われると悩ましく感じた。ただ実際は、外側のブラインドエリアが多く発生していた。

乳房には、可動性組織と固定組織があり、外側乳房には、乳腺がたくさん存在している。MLOのポジショニングをするときには、これ以上乳腺が無いと思われる身体の外まで手を入れ、しっかり外側乳房を寄せ、寄せたところへしっかり乳房支持台を当てることが重要。

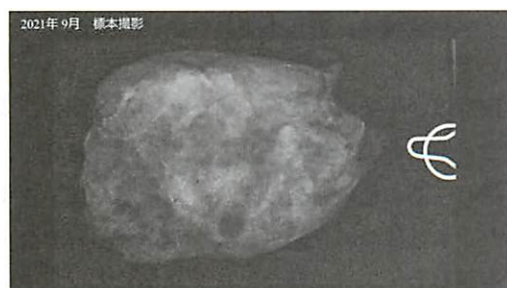
マンモグラフィは、どうしても物理的なブラインドエリアが発生してしまうが、そのブラインドエリアを可能な限り少なくするように注意深くポジショニングをしていく必要がある。

マンモグラフィのブラインドエリアをしっかり理解し、エコーの判定も含め、総合判定することの重要性を学んだ症例であった。



造影MRIでは、axi像でO領域、sag像でL領域に高信号を認め、clumped enhancementを呈する。

同部位のTime Intensity Curveでは、Fast-Washoutを示した。MRIでの診断は、右乳腺に非腫瘍性病変を認め、カテゴリー5。



右乳房D区域の乳房部分切除術が施行された。

突撃!! となりの放射線科

ワークライフバランス検討委員会
疋野 奈央子

皆さん、こんにちは！今回は、今まであまりお話を聞く事がなかった『技師会役員の仕事』にスポットライトを当て、会長、編集理事、そしてワークライフバランス検討委員長の私が執筆いたしました！未知なる役員の仕事、覗いてみましょう！

会長のしごと

静岡県放射線技師会 会長

山本 英雄

ワークライフバランス検討委員会の委員長より「技師会の役員はどんな事しているかわからないので紹介してください」という依頼を受けたのでこの原稿を書いています。

ご存じのように技師会は、公益社団法人として公益目的事業を通して県民の皆様のお役に立てるよう事業を推進している団体です。

会長は、その団体の代表理事。副会長、常任理事は業務執行理事、会員の皆さんは社員と呼ばれています。

公益目的事業には

1. セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業
学術大会・研修会・専門部会・情報提供（会誌発行・HPの活用）など
2. 体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業
ふれあい広場での活動・一般公開講演会・HPでの検査説明、被ばく相談など
3. 研修、訓練等による放射線管理及び安全推進

事業

原子力災害緊急時対策研修・静岡県原子力防災訓練参加など

4. 相互扶助事業

永年勤続表彰、アール祭など

毎年この4つの柱の事業計画を実践するために常任理事会、理事会を開催しています。

常任理事会とは、会長・副会長3名・常任理事7名で構成され、事業を適正に運営していくために開催は年間24回（対面12回、メール12回）、毎月第2木曜日18時30分から技師会事務所で会議を行い、現在は会議前に食事（事務所下の弁当屋）をとりエネルギーを補充して会議に臨んでいます（コロナ前は出前でした）、終了時間は、21時頃になります。

メール会議は、第4木曜日はメール会議で行っています。

内容は、事業計画沿った事業企画が各部会、委員会、地区会より提案されてきますので精査し、昇進し、その結果報告の正当性を確認しています。また、執行部での企画（総会・秋季公開講演会・新春講演会・アール祭など）を立案し実行しています。

事務所の備品も老朽化していますので更新をしたりしています。

日本診療放射線技師会からの報告事項の周知、要望事項の検討をしています。

この常任理事会が、運営の肝となりますので会長も含め1週間前ぐらいから報告事項、協議事項の資料作りを行っています。

この常任理事会の決定事項の報告を受け、事業の執行の決定をするのが理事会です。

理事会は、会長・副会長3名・常任理事7名・理事5名・監事2名・事務で構成され、開催は4回（4, 8, 12, 2月）土曜日14時～17時に行われています。

東中西組織理事、学術理事、企画調査理事も加わり熱のこもった議論が展開され事業が開催されています。

以上の2つの会議には頭も使いますがそれ以外には体を張って役員の方々の労をねぎらうつもりで技師会主催である5部会研修会・委員会セミナー・原子力災害・など役員が一生懸命企画してくれた事業には時間が許す限り参加しようと思っています。参加率は80%ではないかと自負しています。

- ・ 県内の団体への参加しているのは医療事故協議会（静岡県医師会）・マンモグラフィ講習会事務局（静岡県疾病対策課）
- ・ 県外と交流 中日本地域（中日本会長会議・学術大会参加）、東海4県（東海4県会長会議・学術大会参加）、Brilliant7（中日本業務改善推進委員会）、日本診療放射線技師会（総会・会長会議・学術大会参加）など

コロナの影響で今までは年1回でしたがオンライン会議が可能となり会議回数が増えました。

そして日本診療放射線技師会（日放技）の中日

本地域理事を拝任しており、県と同じように理事会（5回）や付随する会議があります。全国から理事が集まりますので会場は東京の事務所で土日開催されます。昼の会議より夜のミーティングが長く疲れます（笑い）。最近は、オンライン会議なので楽になりました。唯一コロナに感謝できることです。

もう一つ、日放技の仕事として医療安全対策委員会の委員長をやっています。

委員会会議3回・シンポジウム・他団体との会議などありますが「安全の質チェックリスト」や「感染症対策ガイドライン」など多くの人の協力により作成しました。コロナ前なのでメールで意見交換となり資料を作成する苦しみを味わいました。

最近は消化管分科会担当理事になりましたのでセミナーで挨拶をさせてもらっているだけです。

静岡県は東西長く交流も難しいですが、技師会での活動により色々な人と知り合い情報を得ることができることは楽しいことかなと思っています。

そして日放技などで最新の情報を得ることができ、それを他県よりはやく県内会員に伝えることは重要なことだと思っています。

技師会の役員が、どんなことをやっているかこれを読んでもわかりませんよね。

わかる方法が一つあります。それは、実際に中に入って、経験してみることです。経験に勝るのはありません。そして経験が人を成長させてくれます。是非、次の役員改選時には立候補してみましょう。

楽しみにしています。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

常任理事・編集 遠藤 基生

『〇月△日に開催される「〇〇研修会」について、会誌「しずおかジャーナル」に、研修会報告と発表者学術論文を掲載したいと企画しています。ご多忙のところ恐縮ですが、既刊誌を参考の上、ジャーナル原稿の寄稿をよろしくお願いたします。』

これが常任理事・編集でよく使うメールのテンプレートです。編集としての主な仕事は、会誌「しずおかジャーナル」の発行と発送です。しかし、実際に編集を担当して一番大事な仕事だと感じたのは、メールのやりとりです。昨年1年間で私が送受信したメールは約2000件、これまでの人生でこれほどメールのやり取りをしたことは、一度もありませんでした。今回、知られざる常任理事・編集の仕事について、皆様にご紹介させていただきます。

「常任理事は大変だよ、その中でも編集が一番大変らしいよ。」という噂を聞いたことはありませんか？私の勤務する静岡赤十字病院は、代々？たまたま？なのか編集を歴任しています。本来、常任理事の順番が各病院に回ってきた時点では、なにを担当するかは決まっています。新しく常任理事になる技師が協議し、担当を決めているそうです。しかし約2年前、新型コロナウイルス感染症の影響で集まることが出来なくなり、【私が常任理事をやる＝編集！！】となってしまいました。ここだけの話、「あまり忙しくない常任理事はどれですか？」と、当院の元常任理事・編集に聞いていたことを思い出します。

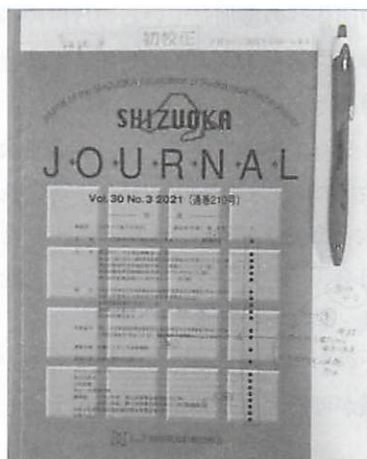
編集になって最初に発行したジャーナルは、ほぼ前任者が担当していて、私が担当したのは「新役員名簿」「新役員挨拶」「委員会・部会名簿」の

原稿の作成だけでした。それなのに、最初からミスを起こしてしまいました。編集作業で起こしてはいけないミスのひとつが「名前」の間違いです。発行後に山本会長から指摘され、すぐに間違えてしまった方へ謝罪をしました。また、次に発行するジャーナルに「おわび」を掲載しました。

次のジャーナルからはすべて自分で担当しなければなりません。全体の流れを確認するために、前任者がやり取りしていたメールを確認しました。

発行に向けて最初にするのは「目次（ジャーナルの表紙）」の作成です。目次を作成後、原稿依頼のメールを原稿担当者へ送って原稿を待ちます。

寄稿していただいた原稿を、私を含めて6名の編集委員で手分けして校正・校閲をします。石原さとみさん主演の『地味にスゴイ！校閲ガール・河野悦子』というドラマで、「校閲」という職業を知った人が多いのではないのでしょうか。校正・校閲とは、簡単に言えば誤字・脱字等を修正することです。校正・校閲が終了したら印刷会社へ原稿を渡し、印刷会社でも校正・校閲をします。この作業をもう一度繰り返し、最終確認を私と印刷会社の担当者で行ったら、あとは製本・納品されるのを待つだけです。もう修正することはできません。



初校正後のジャーナル表紙



第4回西部地区会幹事会

日時：令和2年12月15日(金) 18:50~19:35

方法：WEB会議(Teams)

参加人数：10名

内容：レクリエーションについて
西部TIPS発行について
会費納入状況について
会員動向について

校正・校閲中のジャーナル
(令和2年12月15日(金) → (火) を修正)

最後になりますが、私が常任理事・編集として担当するジャーナルは、今号で最後になります。本誌をお読みくださった皆様、また、本誌の発行にあたりご協力いただいたすべての皆様に、心よりお礼を申し上げます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

WLB検討委員会って何してんの？

ワークライフバランス検討委員会

疋野奈央子

ジャーナルの発行作業は年3回：7月末、11月末、3月末です。編集委員と中部地区在住の常任理事の約10名で行っています。過去に発送作業に参加したことがある方もいるかもしれませんが、これが意外と大変です。静岡県の実業家数は約1000名です。その他に、関連団体や都道府県技師会、賛助会員などにも発送しています。またジャーナルだけでなく、ポスターや抄録集などを同封することもあります。

発送作業を開始し、終わりがけたところに「なんか思ったよりジャーナルが余っているな」などと感じたら最悪です。封をした封筒をもう一度開けて確認することもありました。まさに「魔の発送作業」です。もし、封が開けられた形跡があったら「発送作業時に何かあったのだな」と思って大目に見てください。ジャーナルが皆様に無事に届けば良しとしてください。

これが常任理事・編集としての主な仕事です。「編集が一番大変でしょ？」と、いまだに言われることがあります。しかも他の常任理事から言われたことも……。確かに編集としての仕事は大変ですが、それだけ大きなやりがいを感じるすることができます。初めて自分が手がけたジャーナルが出来上がった時の達成感は、忘れられません。

皆さんはワークライフバランス検討委員会ってご存じですか？この記事を読んでくださっている方は『存在は知っている』のだと思います。そうです。この連載を投稿しているのが私たちWLBです。

『ワークライフバランス』って長いので私は勝手にWLBと表記しています。以後お見知りおきを。

この委員会は、2016年4月より日本放射線技師会女性活躍推進班の県支部という側面を持ちながら静岡県放射線技師会の委員会として発足しました。ベテランの方はご存知かと思いますが、静岡県放射線技師会には30年ほど前に「女性部会」がありました。当時は女性技師が少なく、職場は違えども女性の情報交換の場として存在しました。

時代は流れ、性別や年齢に依らず、誰もが働きやすい職場づくりに対する情報発信を担う委員会として、静岡県では「ワークライフバランス検討委員会」という名称で改めて委員会を発足しました。ちなみに日放技の『女性活躍推進班』は昨年より『業務改善委員会』と名称を変え、時代の流れに合わせて活動を進めています。

そんな背景で発足したワークバランス検討委員

会（WLB）の主な活動方針は、ざっくり言って「みんなが働きやすくなるための情報提供」です。『働きやすく』というと非常に抽象的ではありません。診療放射線技師の免許を持つ皆さんが、労働環境や健康状態による影響が最小限となり、末永く働き続けられることを目標に自職場以外の状況を知ってほしい。ということがWLBの願いです。

実際になにをやっているかといえば…

- ◆広報活動：ジャーナル連載「突撃！隣の放射線科」
- ◆勉強会開催：年1～2回
- ◆JART業務改善委員会からの情報収集協力
- ◆イベント運営 を行っています。

WEB会議の現状

委員会のメンバーは西部、中部、東部から各2名プラス委員長の計7名で構成されています。

メンバーは育児中のパパママが大半です。この委員会の活動自体がメンバーの負担にならない様、会議の日程調整をしています。

WEBで会議ができるようになった今、メンバーの意向で、会議するときは『日曜21時から1時間以内』となっています。ですので、お子さんたちを寝かせてから集合します。参加者は風呂あがりパジャマだったり… みんな自由です。お子さんが映りこんでいることも多々。気にしません。むしろ微笑ましい。自宅で会議にちょっと出られるWEB会議は技師会の仕事をしている役員にとって本当にありがたいツールです。翌日は仕事ですので極力時短で進めるように心がけています。

今年度は2回の勉強会を行いました。残念ながら集合して行くこともできず、どちらもWEBでの開催となってしまいました。7月末に行った「トランスファー」の基礎を学ぶ勉強会は、実技ができてナンボだと考えていたのですが……。こんな状態では集合での会場を貸していただく事も難しく、やむなくZOOMということで方向転換しての開催となりました。

でもそのおかげで、「WEBいいじゃん！」と思ったことが3つあります。①実際の撮影室を使用して見せることができる ②県外の方にも気軽に参加していただける ③動画のオンデマンド配信ができる という当初考えていなかったメリットがありました。オンデマンドに関しては、静岡県放射線技師会では経験が無い事で右往左往したものの、理事の皆さんのご協力で実現できました。本当にありがたいことだと思っています。

また委員長の私と副委員長は、WLBの上部組織業務改善委員会中日本地域（通称Briliant 7）のWEB会議に出席しています。

この会議は中日本地域7県の代表者が参加し、日放技での取り組みや方針を受け、中日本地域での活動（主にCCRTでのセッション）や情報収集を行うものです。中日本7県の代表が一同に会します。各県の動向を参考に、静岡県でも何かできないか情報交換をしてきます。各県のベテラン女性技師が集結する会です。かつては、持ち寄り各地名産茶菓子で机を山にすることから始まり、それはそれは“かしましい”会議でした。このご時世WEB会議となっていますので、茶菓子はなくても、相変わらずみんなパワフルで圧倒されます。

ちなみにこの会には山本会長が地域理事を務めていらっしゃるため、大きな体を小さくして同席されています。

CCRTin金沢もやはりWEBでの開催となってしまいましたね。本当だったら、金沢でおいしいモノ食べて…と思っていたのに！Briliant 7のセッションがオンデマンド配信となってしまいました。

WEBもお手軽ですが、早くまた全国で行われる学会に行ける日が来ますようにと強く願っています。

WLB検討委員会について、ほんの少しでも知っていただけたでしょうか？

学術的な部会とも違い、とても曖昧なだけに存

在意義について賛否あるかと思いますが、でも、職能団体である放射線技師会だからこそできる、情報提供を担う使命があると思っています。

私が働き始めて20数年、その間に撮影技術も、働き方も、教育も、時代とともに激しく変化しています。直近のトピックスとしては、「タスクシフト」がありますね。私たちの業務において話題となってくると思います。ワークライフバランス検討委員会も名称や形を変えながら、横のつながりを大切にしたい委員会として継続していきたいと思っています。



↑最近すべてがWEBなので、いいカンジの写真が何もなくて。さみしいので『バウムクーヘンを焼くことにハマっていた時』の写真を。4時間ほど掛かるので、相当暇でないと焼けません。そして固い。まだまだ修行が足りないですね。

山本会長、遠藤さん、ありがとうございました。

静岡県放射線技師会の仕事が少し見えましたでしょうか。このジャーナルがお手元に届くころには次期メンバーでの活動準備が始まると思います。

これからも会員の皆さんの身近な団体として活動していただきたいと願っています。

メッセージボード

令和4年2月現在

東部地区

◎経過報告

2021.10.21(木) 18:30~WEB会議

第3回幹+会(WEB会議)開催

事務局「静岡県立静岡がんセンター」発信

参加者加14名(ZOOM使用)

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②技師長等会議の報告
- ③第1回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影
従事者講習会の報告及び参加依頼
- ④第2回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影
従事者講習会について
- ⑤地区会たよりvol.3の発行について
- ⑥次年度東部地区会幹事施設、役員の報告
- ⑦第60回東部地区会通常総会について

2021.11.06(土) 14:00 ~ 17:00

令和3年度 第1回放射線セミナー・胃がん検診
X線撮影従事者講習会

開催方法: ZOOMによるWEB開催
(静岡がんセンター発信)

参加人数: 会員45名、非会員5名、
講師1名 計51名

内容:

胃がん検診X線撮影従事者講習会

講演「胃癌の外科治療~CTや上部消化管造影
検査は治療選択にどう影響するか~」

講師 静岡県立静岡がんセンター

胃外科 副医長 古川健一朗 先生

座長 JCHO三島総合病院 放射線科

中村洋介 会員

放射線セミナー

会員発表「DRLs測定の実際」

座長 静岡県立静岡がんセンター

画像診断科 瓜倉厚志 会員

「透視・CT・血管撮影のDRLs測定」

発表者 聖隷沼津病院 放射線課

和藤基樹 会員

静岡県立静岡がんセンター

画像診断科 井下裕也 様

国際医療福祉大学熱海病院

放射線科 小林慧 会員

2021.12.11(土)

東部地区会たよりvol.3 発行・発送

2022.1.23(日) 14:00 ~ 17:00

令和3年度 第2回放射線セミナー・胃がん検診
X線撮影従事者講習会

開催方法: ZOOMによるWEB開催
(静岡がんセンター発信)

参加人数: 会員49名、非会員7名 計56名

内容:

放射線セミナー

会員発表「DRLs測定の実際」

座長 静岡県立静岡がんセンター

画像診断科 瓜倉厚志 会員

「パノラマ撮影・一般撮影・乳房撮影のDRLs測定」

発表者 静岡県立静岡がんセンター

画像診断科 植平彩人 様

富士市立中央病院 中央放射線科

岡田和教 会員

静岡県立静岡がんセンター

画像診断科 森川真衣 会員

胃がん検診X線撮影従事者講習会

講演「胃癌の外科治療～CTや上部消化管造影
検査は治療選択にどう影響するか～」

講師 JCHO三島総合病院 放射線科

中村洋介 会員

座長 共立蒲原総合病院 放射線科

佐野吉彦 会員



2022.02.10(木) 19:00～

第4回幹事会 開催

開催場所「三島商工会議所 4階会議室C」

参加者 14名

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②第1・2回放射線セミナー・胃がん検診X線
撮影従事者講習会の報告
- ③第60回東部地区会通常総会について
- ④来年度東部地区会事業計画について
- ⑤来年度東部地区会役員(当番施設・交代地区
幹事等)について

2022.02.14(月)

東部地区会たよりvol.4 発行・発送

◎行事予定

2022.03.上旬

第60回東部地区会通常総会

はがきによる疑似決議承認を予定

2022.05.中旬

第1回幹事会 開催

2022.06.上旬

東部地区会たよりvol.1 発行

中部地区

〈経過報告〉

令和4年1月26日

第3回幹事会 Zoomを使用してリモート開催

出席者9名

1. 地区会長挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 協議事項
 - ・令和3年度第2回放射線セミナー&胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について
 - ・地区会ニュースの発行
 - ・地区会総会について ～書面表決とする
 - ・その他

令和4年2月3日

地区会NEWS新春号発行・議案書を郵送

〈行事予定〉

令和4年2月

第4回幹事会

令和4年3月5日

第2回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

- ・第2回放射線セミナーをZoomにて開催予定
「Philips社MRI (Ambition、Elition)の使用経験について」

島田市立総合医療センター

山中 一仁 会員

- ・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会
「当院の運用状況と症例報告」

静岡市立清水病院

今林 教子 会員

「当院の胃がん検診運用と経験症例」

JA静岡厚生連静岡厚生病院

市川 慎也 会員

西部地区

◎経過報告

社会活動 秋の体験プログラム2021

日時：令和3年10月24日(日)

10:00～15:00

場所：可美総合公園総合センター

方法：診療放射線技師のお仕事紹介コーナー
にて掲示物による参加

『診療放射線技師の仕事紹介』

資料掲示

『コロナ禍でがんばる診療放射線技師』

写真掲示

『診療放射線技師への応援メッセージの募集』

参加人数：約100名

応援メッセージ寄稿2名



第3回西部地区会幹事会

日時：令和3年11月22日(月)

18:00～19:10

場所：聖隷浜松病院放射線技師室

参加人数：9名

内容：第44回地区会総会開催について
会費未納者の対応について
その他

第2回西部地区会勉強会シミュレーション

日時：令和3年12月1日(水) 18:00～

場所：アクトシティコンgresセンター
2階21会議室

参加人数：3名

内容：勉強会当日の配置確認
ワークステーション動作確認
ネットワーク動作確認

第2回西部地区会勉強会

日時：令和3年12月18日(土) 14:00～

方法：WEBによるライブ配信
(Zoom Webinar)

場所：アクトシティコンgresセンター
2階21会議室

参加人数：91名(WEB 86名、会場5名)

演題名

『大腸CT検査を極めるために』

松愛会 松田病院 放射線部技師長

岩月 建磨 会員

『変形胃(横胃)を工夫しながら撮影してみよう』

労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院

中央放射線部 佐藤 慎祐 会員

第2回西部地区会誌「西部TIPS」1月発行

第4回西部地区会幹事会

日時：令和4年2月15日(火) 18:15～

方法：Teamsによるオンライン会議

参加人数：10名

内容：第44回地区会総会について
令和4年度事業計画について
新旧幹事引き継ぎについて
その他

◎行事予定

第3回西部地区会勉強会

日時：令和4年3月5日(土) 14:00～

方法：WEBによるライブ配信

場所：アクトシティコンgresセンター 2階
22、23会議室

演題名

『バリウム検査における安全性情報』

伏見製薬株式会社 名古屋営業所

平松 周 先生

『脳血管障害における放射線技師の役割の重要性』

浜松医科大学医学部附属病院

脳神経外科 病院講師

根木 宏明 先生

『何が起きているか分れば心カテはもっと
楽しくなる』

浜松医科大学医学部附属病院

内科学第三講座 循環器内科

診療助教 茂木 聡 先生

西部地区会臨時幹事会

日時：令和4年3月5日(土) 16:50～

場所：アクトシティコンgresセンター 2階
22、23会議室

内容：第44回静岡県放射線技師西部地区会
総会採決

新旧役員引き継ぎ

日時：令4年3月5日(土) 17:30～

場所：アクトシティコンgresセンター 2階
22、23会議室

第3回西部地区会誌 「西部TIPS」

3月発行予定

本会の歩み

(令和3年9月24日～令和4年1月27日)

R 3 / 10 / 2

中部地区 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会及び放射線セミナー

(島田市民総合医療センター：WEB参加者34名)

①放射線セミナー

・メーカー講演

「最新型X線TVシステムSONIALVISION G4 LX editionのご紹介」

島津製作所 金谷 彰秀 様

・会員発表

「TVシステムSONIALVISION G4 の使用経験」

島田市民総合医療センター

加藤 和幸 会員

②胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

・「当院の胃がん検診の運用と課題」

静岡済生会総合病院 樋口 翔也 会員

・「当院の胃がん検診についてと症例報告」

清水厚生病院 石原 太一 会員

R 3 / 10 / 14

第13回常任理事会

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

・新春講演会、アール祭の開催について

・MRI部会、管理士部会からの依頼事項

・企画申請書、報告書

・その他

R 3 / 10 / 28

第14回常任理事会：WEB

R 3 / 10 / 30

原子力緊急時災害対策研修会

(浜岡原子力発電所およびWEB)

参加者：会場31名、ZOOM21名

①GGM管取り扱いとスクリーニング

②浜岡原子力発電所の概要と安全性向上対策

浜岡原子力発電所内の見学ツアー

③質疑応答

R 3 / 11 / 3

(公社)静岡県放射線技師会

令和3年度秋季公開講演会：WEB

参加者 49名

(会員28名・非会員6名・一般14名・講師1名)

①会員発表

・「受診前に知ってほしい胃がん検診情報」

聖隷沼津病院健康診断センター

山崎 洋和 会員

・「肺がん検診について」

聖隷検診サポートセンターShizuoka

上原 晋 会員

・「もっと知ろう、乳がん検診」

中東速総合医療センター

竹山 有希 会員

②公開講演

・「前立腺がんの検診から診断・治療まで」

国際医療福祉大学熱海病院

副院長 石井 淳一郎 先生

R 3 / 11 / 6

東部地区 第1回胃がん検診エックス線撮影

従事者講習会：WEB

参加者 51名

(会員45名・非会員5名・講師1名)

講演

・最新の胃がん手術

「胃癌の外科治療～CTや上部消化管造影検査は治療計画にどう影響するか～」

講師 静岡県立静岡がんセンター 胃外科

副院長 古川 健一郎 先生

座長 JCHO三島総合病院 放射線科

中村 洋介 会員

R 3 / 11 / 11

第15回常任理事会

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

・新春講演会、アール祭の開催について

神谷さんからの質問

申し込み方法、締め切りなど

・総会、学術大会について

・上半期決算報告

・次回理事会での協議事項の確認

役員選出公示

WEB講習会の会費徴収方法について

報告事項の確認

・企画申請書、報告書

・その他

R3/11/20

第34回乳腺画像部会研修会：WEB

参加者 54名

(会員35名 非会員12名 県外会員7名)

①基本のポジショニング方法の解説、実際に行われているポジショニング方法を紹介

②画像からポジショニングの改善点を解説

R3/11/25

第16回常任理事会：WEB

R3/11/26

ジャーナルVol.31 No.2 2021(通巻212号) 発行

R3/12/9

第17回常任理事会

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

・理事会議題確認

選挙管理委員会(役員改選について)

上半期決算報告

・厚生労働大臣表彰1名

JART75周年記念式典で表彰

・債権回収事業

・企画申請書、報告書

・その他

R3/12/11

医療安全セミナー

参加者 39名

R3/12/18

第3回理事会

山本 深澤 高橋 畑 後藤 堀 鈴木 大

杉 遠藤 佐野 森田 廣澤 宿島 小林

神谷 廣瀬 栗田 松本

報告事項

・会長報告

・副会長報告

・常任理事報告

・地区選出理事報告

・常設委員会理事報告

・監事報告

協議事項

・役員改選公示について

・上半期決算報告

・特定資金積み立てについて

・講習会等会費積み立てについて

・債権回収事業について

・厚生労働大臣表彰推薦者について

・令和4年度学術大会テーマ

・新春公開講演役割分担

・学術大会開催方法

R3/12/23

第18回常任理事会：WEB

R4/1/13

第19回常任理事会

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 鈴木

大杉 遠藤 佐野

協議事項

・次年度事業計画案、予算案、会議予定

・慶弔規定見直しの是非

・企画申請書、報告書

・その他

R4/1/15

2022新春公開講演会

静岡第一ホテル・WEB

参加者 158名(会場 17名 WEB 141名)

公開講演

「乳がん検診の現在」—無痛MRI乳がん検診

とは—

講師 東海大学工学部医用生体工学科
教授 高原 太朗 先生

R 4 / 1 / 27

第20回常任理事会：WEB

会 員 動 静 (敬称略)
(令和3年9月8日～令和4年1月22日)

【入 会】 17名

中部：吉田陽菜乃 甲賀病院
山下 広輔 甲賀病院
伊藤 綾香 甲賀病院
前田 多映 聖隷健康サポートセンター
Shizuoka
増田 一洋 静岡市立清水病院
平川 哲也 静岡市立清水病院
新聞 将史 静岡市立静岡病院
中込 楓南 藤枝市立総合病院
岡崎 竜二 藤枝平成記念病院
西部：玉木 潤耶 浜松医科大学付属病院
福岡 通大 浜松医科大学付属病院
森下 冬香 浜松医科大学付属病院
山田 恵李 すずかけセントラル病院
玉井 洋子 磐田市立総合病院
赤堀 令一 磐田市立総合病院
林 英輝 JA静岡厚生連遠州病院
渡辺恵太郎 浜松医療センター

【再入会】 2名

中部：高 慎治 静岡県立総合病院
西部：鈴木 政則 浜松医科大学付属病院

【転入】 3名

東部：中澤 淳 桑名眼科脳神経クリニック
← 福岡県
中部：齋藤 道宏 自宅
← 宮崎県

西部：角田 文哉 HMT画像診断クリニック
← 栃木県

【転 出】 2名

東部：初田 一稀 栃木県
西部：鎌田 晃平 神奈川県

【勤務先移動】 16名

東部：松井 隆之 聖隷富士病院
← 総合病院聖隷浜松病院
坪内 秀生 聖隷沼津病院
← 聖隷富士病院
武川 彰宏 自宅
← 桑名眼科脳神経クリニック
勝俣 勇丞 富士小山病院
← 東部病院
仲亀 智也 西島病院
← 国際医療福祉大学熱海病院
鈴木 悦郎 慈広会記念病院
← 三島中央病院
石川 忠徳 南あたま第一病院
← 百葉の会湖山病院
中部：川口 彩子 島田市立総合医療センター
← 静岡県立総合病院
大河原 章兵 草薙整形外科リウマチクリニック
← 自宅
服部 剛士 静岡済生会総合病院
← 甲賀病院
柴田 奈美 静岡県予防医学協会 西部検査所
← 浜松医療センター
西部：松嶋 真弓 聖隷予防検診センター
← 総合病院聖隷浜松病院
大場 繁雄 自宅
← 国府台整形外科
遠藤 嘉泰 聖隷浜松病院
← 袋井市立聖隷袋井市民病院
疋野 奈央子 袋井市立聖隷袋井市民病院
← 聖隷予防検診センター
竹田 圭祐 総合病院聖隷三方原病院
← 聖隷予防検診センター

【退会】7名

東部：森 明子

原 保和

和藤 理沙

中部：大河原 章兵

竹内 圭純

磯垣 薫

西部：柴田 奈美

【姓変更】1名

中部：佐藤 恵理子

← 岡田

会員総数	990名
東部	282名
中部	302名
西部	402名
県外	4名
(令和4年1月22日現在)	



9/29 かながわ放射線だより Vol.74 No.3
Sep.2021

10/4 宮崎県放射線技師会会誌 2021.09
vol.109

10/4 放射線 やまぐち 2021 Vol.287

10/6 東京放射線 2021年10月号 Vol.68
No.798

10/7 京放技ニュース (京都府放射線技師会)
10/2021 (737号)

10/7 大放技会報 (大阪府診療放射線技師会)
No.340 (9月30日発行)

10/14 岐阜県診療放射線技師会 第96巻 通号132号

10/29 埼玉放射線 2021 No.4

11/3 東京放射線 2021年11月号 Vol.68
No.799

11/3 兵庫県放射線技師会 会誌 2021.11.1
Vol.81-②

11/15 大分放射線 第125号 October 2021

11/29 放射野 2021.No.132 長崎県診療放射線技
師会

12/2 かながわ放射線だより Vol.74 No.4
Nov.2021

12/3 東京放射線 2021年12月号 Vol.68
No.800

12/3 大放技会報 (大阪府診療放射線技師会)
No.341 (11月30日発行)

12/7 広島県診療放射線技師会 会誌 2021.12
No.56

12/9 放射線やまぐち 2021 Vol.288

12/13 新潟県診療放射線技師会々報
第95号 2021.12.10

12/23 福岡県診療放射線技師会誌 第348号

12/27 愛知県診療放射線技師会誌
Vol.33 No.2 (通巻168号)

12/30 東京放射線 2022年1月号 Vol.69
No.801

1/4 北海道放射線技師会 会報 2022年1月

1/11 富山県診療放射線技師会 会報 Vol.98
2022

1/11 栃木県診療放射線技師会会誌 2022
No.113

1/18 AART会誌 秋田県診療放射線技師会
令和4年 第59号

令和3年度 第3回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和3年12月18日(土) 14時
2. 場 所 技師会事務所+WEB会議
3. 出席者 (敬称略)
山本 英雄・深澤 英史・高橋 真
畑 利浩・後藤 修司・堀 吉孝
鈴木 紀晶・大杉 正典・遠藤 基生
佐野 祐二・森田 光博・廣澤 賢一
宿島 久志・小林 秀行・神谷 正貴
栗田 仁一 (監事)・大倉 善郎 (選管)

欠席者

廣瀬 和秀・松本 恭徳 (監事)
和田 健 (顧問)

(1) 山本会長挨拶

令和3年度、第3回理事会を開催します。
コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたと
思っていたところで、静岡県内でクラスターが発
生。日本国内でもオミクロン株の感染が確認され
ています。

ワクチン3回目の接種が医療従事者から始まり、
既に接種されたかたもいると思います。

感染状況を見ながら、色々な工夫をして事業展
開をしています。今年度はもとより来年度も事業
計画を立てていかななくてはなりません。

来年度は役員改選もあるため、本日の理事会に
は選挙管理委員の大倉委員長がみえています。後
ほど協議事項で役員選出について協議をしていき
ます。

定款34条に基づき、理事会の議長は会長が務め
るという事になっていますので、私が務めさせて
いただきます。

議事録は、36条で議長が指名となっています。
総務庶務・森田理事お願いします。

(2) 報告事項

I. 会長

JARTから報告事項です。

会員数報告です。毎回提示していますが、全国
の会員数31,822人。静岡県957人となっています。
1,000人まで約50人となりました。できれば今年
度中に会員1,000人を達成したいと思います。未
加入の技師に加入の推進をお願いします。

年間の加入者数推移です。昨年度は新型コロナ
ウイルス感染症の影響で加入が低迷していました。
感染状況が落ち着き、現在は順調に加入者数が増
加しています。

続いて組織率になります。静岡県は63.9%で
約500名、未入会技師がいるという事になります。

2015年業務拡大に伴う統一講習会についてです。

静岡県では約68%の受講率になっています。
JARTとしては会員の受講率100%を目指してい
ます。その為に、あと何回の講習会を開催しな
ければいけないのか検討しました。1回につき30名
程の受講者で考えると、あと33回の開催で達成可
能と試算しています。

性腺防護ワーキンググループより報告です。

先日の学術大会において技術学会と合同でシン
ポジウムをおこないました。その中で、性腺防護
について取り上げられました。従来であれば、小
児股関節撮影の際は性腺防護をして撮影をしてい
ましたが、最近では機器性能が良くなり、被ばく
線量も最小限に抑える事ができるようになったた
め、防護の位置不良による再撮の事を考えると防
護の必要はないのではないかと議論されています。

性腺防護について今後どのように対応していく
か、放射線技師関連4団体構成される放射線4団
体連絡協議会へ内容を報告・相談しAll Japanで
検討していく事になりました。

学術大会についてです。現在、放射線技師会は
秋に学術大会、技術学会も秋に秋季学会として開
催されています。これを合同で開催しようという
事で協議してきました。現在、2024年度大会を合
同開催する事で合意し、計画を進めています。

第1回の会場は『沖縄県』が予定されています。

当初、愛知県名古屋市の国際会議場を予定していましたが、改修工事のため使用できないため、協議の結果決定されたそうです。

学術大会も毎回合同開催するか隔年開催にしていくのか協議の対象になっています。

大会長については交互にやる事になっています。告示研修についてです。

告示研修の修了証としてラジエーションハウスとコラボレーションしたバッジを作成中です。修了者には証としてバッジが送付されます。楽しみにしててください。

告示研修の実技研修を開催するためのファシリテーター研修ですが、各地域で順次開催されています。中日本地域が全国に先駆けて開催されています。研修開催にあたり、JARTスタッフだけでは足りないため、修了したファシリテーターは各地域の研修にも応援に行っています。静岡県からも九州地域に派遣が予定されています。本日も、北海道、南関東地域で開催されており、これから九州、中四国地域で開催されていきます。

告示研修（実技）は、ファシリテーター研修が終了した地域から開催が予定されています。

11月30日現在、基礎講習申込者15,926名。基礎講習終了者が8,056名となっています。基礎講習を修了しなければ実技講習の申し込みはできません。

静岡県で2月12・13日に実技講習が開催されます。

申し込み案内で皆様にはご迷惑をお掛けしております。研修申し込みは1日で予約枠が埋まってしまいました。

実技研修はこれからも開催をしていきます。是非、受講をしていただきたいと思います。

案内が遅れてしまったのは、実技研修予約の際に、統一講習会受講者は予約開始日の1週間前から申し込みが可能という仕組みになっていますが、JARTのシステムに不具合が発生しました。

静岡県では12月18日より受付開始としたことで、先行申し込みが12月11日からという事になりました。期日が迫っていた事もあり、技師会として会員の皆様いち早くお知らせするため、各地区組織理事に各施設への告示研修案内をFAX依頼し

ました。

各県でも先行予約システムがスムーズに稼働しておらず、最初に開催を決めた富山県では先行予約期間でも統一講習会未受講者が申込み可能という事態が発生しました。大きな問題にはなっていませんが、今後このような事が無いようJARTでシステムの調整をしています。

講習会は開催日をできるだけ早い時期に決定し、申し込み期日に余裕ができるよう調整し案内を出していきたいと思います。

中日本放射線技師会からの報告です。

11月、CCRT学術大会が開催されました。登録者数402名。内訳は会員307名、非会員9名、学生16名。静岡県から39名の登録がありました。WEB開催という事で、中部地域外から13名の登録がありました。

令和4年度CCRT学術大会は、愛知県で11月5・6日、『ウインク愛知』。WEBとハイブリッド開催にすると経費が1.5倍ほど上がるため会場開催のみで計画。

中村JART業務執行理事より報告がありました。

学術大会は今回、受付を設置しなかったため正確な人数は把握できませんが、来場者は一日あたり約500名。4日間延べ来場者数は約2,000名。大会で行われた国際学会はWEBで開催しました。

会費未納者に対して業者に依頼して回収する方法を考えていくと報告がありました。

この件については後ほど協議事項で説明します。

CCRT共催ポスター掲載名称についてですが、今まで、CCRT学術大会ポスターには各県技師会の名称を掲載していますが、技術学会より7技師会の名称を掲載するスペースを有効活用するために「中日本地域診療放射線技師会」として掲載を提案されました。

JARTとして中日本地域という区分での活動はありますが、地域技師会としては存在していません。現在、地域技師会として組織し、活動しているのは、東北地域、九州地域があります。

中日本地域でも将来的には地域技師会として活動をしていきたいと考えている事から、準備段階

として『中日本地域診療放射線技師会』の名称を使用していく事になりました。

これから、会則（規約）を作成していきます。従来開催されていた会長会議等を中日本地域診療放射線技師会の活動として組織を整備していく事になります。

今回のポスターには『中日本地域診療放射線技師会』の名称が掲載されます。

静岡県は診療放射線技師会という名称ではないのですが、特に問題にはならないと思います。

今後、静岡県放射線技師会の名称変更も検討していく事になるかと思えます。定款の改定が必要なため、定款の改定が必要な時に合わせて検討していく事になると思えます。

情報交換の中で、ファシリテーター研修開催時の問題点について議論されました。

一番大きな問題として、ごみ問題があります。注射針や清潔区域トレーニングによるごみなどかなり大量のゴミが排出されるようです。ごみの廃棄については各県で対応するようにJARTから要請されています。

会場となる施設で処理をお願いしたい。不可能であれば、JARTで費用を負担して対応するそうです。

研修に際して、事前に必要なファントムや消耗品が段ボールに20箱ほど送られてきます。それを会場まで用意する作業もあります。教育委員の曾我委員長と相談して準備を進めていきます。

女性活躍推進委員会が業務改善推進委員会と改称され、来年度から組織が変更されると報告がありました。

中日本地域教育委員会からです。

各月の基礎講習および告示研修、統一講習会の実績と予定の報告がありました。

静岡県では今年度、乳房撮影の基礎講習が開催できなかった為、来年度も乳房撮影について基礎講習が開催される予定となっています。

曾我委員長より告示研修は6回の開催を希望すると報告を受けています。

6回というのは土日で開催して2回という事に

なります。年間で土日を3回利用しての開催という事になります。

委員長の考えでは東部・中部・西部地区で1開催ずつを予定し、年間600名弱の受講者が可能と想定しています。

私としては土日を5回利用して10回開催できるように希望を伝えています。

開催日程・会場の確保の問題もあるので、曾我委員長と検討していきます。

共同事業として来年度、東海4県放射線技師学術大会が静岡県担当になります。2月頃の開催になりますので、会場の確保を進めていきます。

II. 副会長報告

東部 深澤副会長

12月11日、医療安全セミナーが開催されました。参加者は39名。一般参加者が5名でした。

次回常任理事会に企画報告書を提出予定です。静岡県原子力災害時防災訓練及び原子力緊急時災害連絡網を利用した緊急時災害情報連絡訓練が1月28日に実施されます。

12月6日、第1回調整会議が開催されました。防災訓練に必要な協力員派遣依頼文を施設長・職場長宛で、連絡訓練協力の依頼文を職場長・管理士部会宛てに作成しました。

公文書として発番・発行をお願いします。

中部 知副会長

報告事項はありません。

西部 高橋副会長

部会から報告があります。

10月30日アンギオ部会、11月20日乳腺画像部会、12月8日MRI部会で研修会が開催されました。

MRI部会ではWEB開催で300名程と多数の参加者がいました。

11月20日乳腺画像部会の報告書が提出されています。後ほど決議をお願いします。

昨日、東海4県会長会議に出席しました。三重県で開催される学術大会について簡単ですが説明

します。

令和4年2月6日(日)13時から16時。アミン株式会社のWEBシステムを利用して開催する事が決まっています。会費は会員無料。非会員2,000円となっています。

循環器領域画像診断に迫るという内容で各県からの発表になります。静岡県はCT領域を依頼されました。15分程の発表。これをもとに4県で各モダリティごとの強み、弱みを討論していく形式をとります。

来年度は先ほど会長報告にもあったように静岡県が担当になります。学術大会開催に向けて検討していきます。

Ⅲ. 常任理事報告

総務 後藤理事

11月末より賛助会員会費、会誌広告料、抄録集広告料の未納団体に再請求をおこないました。

1社連絡が取れていない企業があります。年末までに確認し再請求を行います。

12月17日、年賀状を135通投函しました。

9月から新春公開講演会の準備を進めています。12月19日会場において12時より運営リハーサルを行います。関係理事・役員の皆様よろしく申し上げます。

1月より、県のみ会員会費未納者のリストを会員管理・鈴木理事と情報共有し、会費請求を行います。

総務庶務 森田理事

報告事項ありません。

庶務一般 堀理事

胃がん検診X線撮影従事者講習会が西部地区で本日開催されています。各地区でも開催をお願いします。

会員動静です。令和3年8月12日から令和3年12月8日まで。

新入会17名・再入会3名・転入4名以上24名について、定款第3章第6条に基づき、本理事会で

の承認をお願いします。

山本会長

新入会・再入会・転入申請24名について承認の採決を採ります。

・新入会・再入会・転入申請について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

庶務会員管理 鈴木理事

県のみ会員を含めて会費2年未納者リストを作成しました。

会費未納者についてJARTから令和3年度中に会員自宅に除籍通知が送付されます。未納会費再請求により最終納入期限は令和4年1月31日となります。

静岡県に2年未納者が14名います。東部3名、中部4名、西部6名、県外1名です。県のみ会員は2年未納者が西部で2名います。こちらはJARTからハガキが通知されません。

総務・後藤理事から会費納入の連絡をしてもらいます。

その他、JARTのみ2年未納者がいます。この方は、70歳に達する会員で静放技会費を免除されている方です。

現在の静岡県放射線技師会会員数、989名。東部284名、中部300名、西部401名、県外4名です。

会費は10月納入分まで未納者96名です。1年未納者リストを後日、各副会長へメールします。

引き続き会費納入の呼びかけをお願いします。

山本会長

今年度は例年に比べ、会費納入率が良くなっています。特に西部が良くなっています。

引き続き会費納入率100%目指していきましょう。

会計 大杉理事

昨年度、GMサーベイメータ購入資金として資産整備積立金を積み立てました。

購入機種を日立 GMサーベイメータ TGS-1146 アルミケース付きとし、3社から見積もりを取りました。

- ・コーヨーメディカル ¥387,530
- ・千代田テクノル ¥405,750
- ・協和医科機器 ¥420,200

購入価格が一番低いコーヨーメディカルに注文しました。

サーベイメータは1月中旬頃納入予定です。納入次第、資産設備積立金より支払います。

山本会長

GMサーベイメータは会員への貸し出し対象機器になります。

施設で必要な時は技師会のサーベイメータを活用してください。

編集 遠藤理事

経過報告です。

11月26日金曜日、Vol. 31 No.2. 2021通巻212号のJURNALを1082部発行しました。

次号Vol. 31 No.3. 2022通巻213号発行に向けて今後の予定です。

2月15日火曜日を原稿期限とし、2月22日火曜日に編集委員会初校。3月8日火曜日に二校。3月25日に発行を予定しています。

次号JARNALの原稿寄稿を随時依頼していきます。期日までに原稿の作成をお願いします。

会告は令和4年4月から7までに開催される事業について掲載が必要です。

次年度事業計画案の作成前につき会告の掲載は増減します。ご了承ください。

広報 佐野理事

新春公開講演会の後援申請を11月19日、静岡県と静岡新聞社へ提出しました。

講演許可を静岡県から11月30日、静岡新聞社から12月3日に承認を頂きました。

新春公開講演会のチラシを500部作成し、県に100部送付しました。

情報管理委員会の方からの報告です。

静岡県放射線技師会事務局のメールアドレスを変更しました。現在は移行期間として新しいアドレスと今までのアドレスを併用し業務を行っています。移行期間として、12月1日から1月31日の2ヶ月としています。ご承知おきください。

Zoomの設定変更に関してですが、設定を変更したい場合は企画・会議開催申請時に用途を含めて申請。常任理事会等で承認を得て変更作業を行う流れになります。

原則、情報管理委員長が設定に変更を行います。

先日、Zoomで「ブレイクアウトルーム」という機能があり使用できるよう設定をしました。

IV. 地区選出理事

東部組織理事 廣澤理事

令和3年9月上旬、東部地区会たよりVol. 2発行・発送。9月24日金曜日、東部地区会技師長等会議ということで近隣の技師長達とZoomを使用して会議を行いました。来年度地区会の事務局及び東部地区新役員の選出についてなど来年度の役員について話し合いをしました。

10月21日木曜日、東部地区第3回の幹事会を開催しました。深澤副会長より県技師会からの報告、東部地区会技師長等会議の報告、令和3年度第1回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会の報告、地区会たよりVol. 3についての報告等がありました。

11月6日土曜日、東部地区会第1回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会をWEBで開催しました。参加者は会員45名、非会員5名、講師1名の計51名です。胃がん検診X線撮影従事者講習会は静岡がんセンター胃外科副医長・古川先生に胃癌の外科治療についての講演。放射線セミナーはDRLs測定の実際というテーマで透視・CT・血管撮影の測定の実際と測定時のコツについて会員発表がありました。

12月上旬、東部地区会たよりVol. 3の発行・発送をしました。

今後の行事予定です。

令和4年1月23日日曜日、第2回放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会を開催します。

2月10日木曜日、第4回幹事会をWEBではなく、対面式で話し合いをしたいと思っていますので、商工会議所の会議室を確保しました。

2月中旬、地区会たよりVol. 4の発行・発送を予定しています。その際、3月上旬に開催される通常総会の資料・採決ハガキも添付し、総会はハガキによる決議を予定しています。

中部組織理事 宿島理事

10月1日、第2回幹事会を開催しました。

10月2日、第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会・放射線セミナーを開催しました。放射線セミナーはメーカー講演として最新型X線システムの紹介。また、2施設から使用経験について会員発表してもらいました。

今後の行事予定です。

1月、地区会ニュース新春号の発行。総会資料を合わせて発送します。

2月に幹事会を開催予定。

3月5日、第2回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会、並びに総会を開催予定です。会場を確保し、対面式を予定していますが、状況によりWEB開催になる事もあります。

西部組織理事 小林理事

9月18日、第1回西部地区会勉強会を開催しました。参加者137名。会員80名、非会員57名でした。

9月22日、第2回幹事会をWEBで開催しました。今年度の行事の確認、会員会費の報告、会員管理からの報告、次期役員について打ち合わせをしました。

社会活動ということで10月24日、『可美公園秋の体験プログラム2021』に参加しました。診療放射線技師の仕事紹介、コロナ禍で頑張る診療放射線技師、診療放射線技師へ応援メッセージコーナーがありました。このイベントには100名ほどの参加があり、応援メッセージについては

JARNALに掲載されています。

11月22日、第3回西部地区会幹事会、11月22日聖隷浜松病院で開催しました。3月の総会について、会費未納者の対応について話をしました。

12月1日、本日開催されている勉強会シミュレーションを行いました。

今後の予定ですが、本日勉強会を開催。1月に会報誌西部TIPSを発行予定。

第4回西部地区会幹事会を2月にWEBで予定しています。総会、次期役員引継ぎについて話をする予定です。

3月5日、西部地区会総会を開催予定。可能であればハイブリッド開催を予定し、会場はプレスタワーを確保しています。

採決については、昨年度同様にハガキで採決を採ります。

総会と同日に勉強会を開催。その際、可能であれば新旧役員の引継ぎを予定しています。その後、西部TIPSを発行予定です。

V. 常設委員会理事報告

学術 神谷理事

前回の理事会以降、委員会は開催されていません。

新春公開講演会、学術大会の公開講演、ランチョンセミナー等の内容を定めるためにフォームスを用いてアンケートを取り、それぞれの内容を決定しました。

詳細は協議事項で報告します。

企画調査 廣瀬理事

廣瀬理事欠席のため深澤副会長より報告。

報告事項はありません。

学術大会の大会テーマについて後ほど協議をお願いします。

VI. 監事（監査報告以外）

栗田監事

特にありません。

山本会長

静岡県のデジタルマンモグラフィー講習会が今年も認定試験ができないという事で、医師、技師それぞれを対象にした講習会を開催します。2月11日、14時から16時まで技師を対象として技術講習会を乳腺部会、実行委員会合同で開催します。

2月18日、19時から医師を対象とした読影講習会を開催します。症例検討と情報提供があり技師の参加も可能です。

本年度中止になったメデイメッセージですが、来年度開催を企画しています。東部で開催を予定しています。準備をお願いします。

本年度は浜松医科大学の小林先生が静岡市内の高校生に医療関係の講演をし、浜松医科大学と中継して高校生と研修医を含めた医師とディスカッションの場を設けました。

また、会場では内視鏡・採血・超音波等のシミュレーションができるブースを設けて高校生が実際に体験できるようにしました。高校側からは大変好評で来年もお願いしたいという言葉頂きました。

先日、西部地区で学校訪問して診療放射線技師の業務内容を知ってもらう講演をしたこともあります。このような内容も今後の技師会事業に取り入れていきたいと思えます。

日本放射線技師会でも国民にむけて正しい放射線の知識を提供しましょうという事で、様々な事業が展開されていきます。中・高生を中心に事業展開していくのも良いと思えます。

(3) 協議事項

1. 役員改選公示について

山本会長

来年度は役員改選の年になります。

役員改選について大倉選挙管理委員長から説明をお願いします。

選挙管理委員 大倉委員長

会長からお話がありました、来年度は役員改選の年になります。

選出規定第2条より選挙管理委員会の設置について理事会の承認が必要となります。もう一点、選出規定第7条3項より理事会選出理事の定数についても理事会の承認が必要となります。

以上、本理事会での承認をお願いします

山本会長

選挙管理委員会の設置及び選出理事の定数についてそれぞれ採決を採ります。

理事の定数は理事会選出理事8名、地区会選出理事8名、監事2名。

例年通りとなっています。

今後、告示研修が本格的に開催されるようになると常任理事や各部会委員長に応援を依頼する事が多くなると思いますが、定数について従来通りで良いでしょうか。

意見、質問等ないようでしたら採決に入ります。

・役員選出に伴う選挙管理委員会設置承認について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

・理事会選出理事定数

(理事会選出理事：8名、地区会選出理事8名、監事2名) 承認について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

大倉委員長

承認ありがとうございます。

1月7日にホームページに掲載予定のする告示文(案)の内容に間違いがないか確認をお願いします。

選挙の届け出について、立候補届、候補推薦届は県技師会ホームページよりダウンロードして対応をお願いします。

また、公益社団法人関係で必須の提出書類になります、公益社団法人理事の欠格事由に関する確認書が必要となります。

その他、兼職届、候補者経歴書等の準備もあります。ご協力お願いします。

選挙管理委員会からは以上です。

山本会長

役員改選について質問等ありますか。

無いようなので、次に上半期決算報告です。

2. 上半期決算報告

大杉理事

中間決算報告です。4月1日から9月31日分までになります。

貸借対照表です。現金預金が8,219,823円となっています。前年度より金額が少ないですが、各地区への20万円の支払い時期がコロナ禍の影響でずれているためです。内容的には前年度より多くなります。

次に、記念講演積立金に400,000円。それから資産設備積立金に363,942円。こちらは先ほど報告したGMサーベイメーターの購入資金となります。事務所常備取得準備資金は324,563円増加して6,784,000円。

その他固定資産の什器備品が235,183円増えています。今年度、事務所PC及び会議用ミーティングオウルを購入したためです。

その他固定資産合計が17,940,070円となります。流動負債が27,166円で、正味財産合計が33,680,668円となっています。

次に、正味財産増減計算書になります。

経常収益です。受取会費6,268,000円。受託収益が増加していますが昨年度デジタルマンモグラフィ講習会の受託費が少なかったためです。雑収益は昨年度、部会費の返金があった為124,974円の減少となっています。広告掲載収益ですが、今年度は抄録集分で増加しています。2019年度と比較すると広告収益は減少しています。経常収益は8,465,464円になります。

経常費用になります。

事業費の旅費交通費は各部会に渡した80,000円

分が増加しています。

消耗品費の減少は主に表彰記念品クオカードの代金です。昨年度51枚、今年度18枚購入している分の差額になります。

諸謝金はアンギオ部会とワークライフバランス検討委員会の講師謝礼になります。

支払い負担金600,000円は各地区会に委託している胃がん検診X線撮影従事者講習会の費用です。

管理費の給料手当の差額10万円は昨年退職した石川様の退職手当です。

会議費の増加は、昨年度と比較し事務所での会議等が増えたため増加しています。

旅費ですが、フレッシュアーズセミナーの講師旅費等です。

保険料は火災保険となりますが、こちらは昨年度福利厚生の方に保険料が含まれていました。金額的には同じとなっています。

諸謝金は第9回常任理事会の講師とフレッシュアーズセミナー講師謝金の差額です。

経常費用の合計、4,588,449円で当期経常増減額が3,877,015円となっています。昨年に比べ事業活動を行っていますので事業費と管理費が増えています。しかし、2019年度と比べ公一事業の支出が少なくなっています。ちなみに2019年度は公一事業費が110万円ほどで今年度は60万円と40万円程足りない状況です。後ほど報告しますが、今年度も記念講演積立金として40万円を積み立てる事で公益目的事業費率が50%以上になると思います。収支相償の方も保たれていくと思います。

流動資産の合計が昨年度より増加すると思われます。最終的に450万円ほどになると思います。

昨年度より公益事業活動を行っているので公益目的事業費を超える事は無いと思いますが、ここ3年で増加傾向にあるので検討が必要と思います。

3. 特定資金積立について

大杉理事

特定費用準備資金の積み立てについてです。こちらは理事の承認が必要となります。

昨年度、周年事業費積立金40万円積み立てを

行っています。今年度も同様に40万円を積立てを行いたいと思います。計画期間を令和3年から令和4年の2年間、積立限度額は80万円で算定しています。

昨年度、計画期間を1年間としていたので一旦取り崩し、今年度の40万円と合わせて新たに80万円の積み立てを行いたいと思います。

80万円は令和4年度に周年事業費として全額使用する事になります。

積立により、今年度の公益目的事業費が今年度も50%を超えenと思います。

以上、承認の方お願いします。

山本会長

会計理事からの提案ですが、今年度も周年記念事業費として40万円積み立てて、昨年度分と合わせて80万円ということになります。

意見、質問等は無いですか。

それでは承認をとります。

・記念講演積立金について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

4. 講習会等会費徴収方法について

山本会長

講習会等会費徴収について佐野理事お願いします。

佐野理事

各部会よりWEB講習会での会費徴収をしていきたいという依頼があります。現在どのような方法があるのか情報管理委員会として調査しています。現状の報告をします。

会費徴収にあたり、決済の手段としてはクレジットカード、電子マネー、コンビニ等があります。どのサービス会社と契約しても初期費用、月額費用及び手数料がかかるようです。

特定のアプリもしくはホームページで個人情報の管理も必要となります。また、サービス提供会

社とは別に決済代行会社との契約が必要なサービスもあります。

講習会・研修会の会費徴収業務を提供している会社はいくつかありますが、評価がよさそうなところで会費ペイ、WorksPayそして技師会ホームページを管理しているアシストデザインの3例を挙げさせてもらいました。徴収に必要な経費は会社によって異なります。

会費徴収業務において、会費ペイ及びWorksPayでは管理担当者に請求業務から振り込み日確認、入金データ等検証業務、未収金対応、技師会口座への送金等の作業が必要となります。アシストデザインと契約した場合はアシストデザインで対応します。

会費決済方法は会費ペイ・WorksPayはクレジットカード決済対応ですが、アシストデザインはクレジットカード不可。

アシストデザインで運用開始した場合、PayPayの個人間送金のシステムを構築。安価でセキュリティ度が高く個人情報も担保できます。

申し込みから会費徴収、技師会口座への送金まで運用面では簡便であり、WEB講習会の継続的な運営が行いやすいと思います。

本日アシストデザインより、カード決済等の決済方法の検討依頼について回答がありました。

バーコード決済に関してはPayPay、au pay、楽天payに加盟店手続き申請中。Line payはPayPayと近日中に合併するので申請はしませんがPayPayはバーコードで送金可能。d払いは確認中。

銀行口座への送金について

ゆうちょ銀行、富士信用金庫、楽天銀行を振り込み先の銀行として利用可能。

クレジットカード決済については静岡県技師会のホームページにクレジットカード決済機能を組み込むために、決済代行会社との契約が必要となります。

コンビニ決済は契約できる業者は無いので、決済代行会社との包括的な契約が必要。代行会社と包括的な契約を結んでしまえば主要な決済方法はほぼ網羅されますが、月額5,000円の経費が必要

と回答をいただきました。

以上、会費徴収について現在の状況になります。

山本会長

常任理事会でも検討した内容ですが、常任理事ではアシストデザインにお願いするのが良いのではないかと意見が出ています。

現在、講習会を開催しても会費を徴収しない事で部会運営に支障が出てきています。今までは技師会からの80,000円と参加費収入で運営していましたが、80,000円だけでは厳しいという意見をいただいています。

理事からの意見はありますか。

大杉理事

会計的には静放技の口座に一度入ってから、部会に送金するという事ですか。

佐野理事

そういう事になると思います。

会費入金の窓口は一つにしなければいけないと思います。

山本会長

当初、決済方法がPayPayだけであったものが、他の決済方法も可能という事でアシストデザインにお願いする方向で進めて良いと思いますが。

森田理事

今まで、参加費収入は静放技、各部会、どこで管理をしていましたか。

山本会長

各部会で管理しています。

各部会の講習会の回数、参加人数、講師費用等違うので技師会では把握できていません。

今後は一度静放技に一度入金されるので、会計の扱いも検討し直さなければいけないですね。

今まで各部会への80,000円の使い方は申請書等で開示されますが、参加収入のところはありませ

んでした。

深澤副会長

参加費徴収専用口座を設けるのはどうでしょう。

佐野理事

例えば静放技の口座を①と②で二つ設けて、①を従来の口座、②を会費徴収用の口座という事ですか。

高橋副会長

会計の監査に関わってくるので確認しないとイケないと思います。

口座をいくつも持てないと思いますが。

森田理事

会費徴収サービスを利用すればこれからの会費徴収は会場型、WEB問わず事前決済になりますね。

佐野理事

クレジット決済だと年間6,000円位。コンビニ決済を含めた包括的な契約にすると月5,000円、年間の60,000円の経費が必要となります。

ただし、カード決済にした場合、全てのカード会社で決済が可能かどうかは現時点では不明です。

高橋副会長

バーコード決済と、カード決済を用意できれば会員にとっては良いのではないのでしょうか。

佐野理事

バーコード、カード、一部ではありますが銀行を含めた3種類の決済方法が用意できると思います。

深澤副会長

カード決済の場合、各カード会社に年間6,000円が必要になるのでは。

それで、使用可・不可のカード会社が出てくるのではないのでしょうか。

佐野理事

そうかもしれないですね。

山本会長

バーコード、銀行決済は経費が掛かりません。カード決済は費用を確認してもう一度検討しましょう。

佐野理事

運用時期はいつからにしましょう。

山本会長

次年度から運用を開始したいですね。

会費徴収についてはアシストデザインに委託し、決済方法については最初バーコード、銀行の2種類で行く事で進めていきましょう。

神谷理事

カード決済の経費ですが、会社関係なく年間6,000円の経費であれば決済方法に追加した方が良いと思います。

山本会長

カード決済については調査して検討しましょう。コンビニ決済は年間60,000円ですね。

佐野理事

年間60,000円だと会費の設定にもよりますが、徴収金額よりも高額になってしまうと思います。

山本会長

会費徴収について、アシストデザインに委託し、決済方法についてはカード・バーコード・銀行の3種類で進めていきましょう。

会費徴収について採決を採ります。

・講習会等会費徴収方法について

アシストデザイン委託、カード・バーコード・銀行決済での運用

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

5. 債権回収事業について

山本会長

日本放射線技師会で2年間会費未納で除籍扱いになる会員が全国に毎年約300名います。会費の納入のお願いをしていますが、ほとんどが未納のままです。金額にして約840万円になります。

これをどうにかしなければいけないという事で、債権回収事業として代行業者に委託し、令和4年4月1日から回収を委託する事が決まりました。

会費は日放技・各県技師会合算請求となっているため、各都道府県技師会に債権回収についてのアンケートがきていて、債権回収を希望する場合は手続きが必要となります。

債権回収委託費用は成功報酬になります。回収ができれば数%の報酬を支払う事になっています。日放技・各技師会の負担割合は同じです。

債権回収は督促状発送、催告書の発送までで、取り立ては行いません。

会員への周知については債権回収についての文書が技師会誌、ホームページに掲載されています。静岡県でもホームページに掲載して周知をしていきたいと思います。

債権回収を委託するか協議をしていかなければいけません意見等ありますか。

堀理事

必要な経費は成功報酬だけですか。

山本会長

成功報酬のみという事になっています。

他、意見が無いようなので採決を採ります。

・債権回収事業を業者に委託する事について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

JARTに委託を希望する回答を提出します。

深澤副会長

先日の常任理事会でもあったように、会員への周知については、各地区会からも会員に呼びかけ

るとありました。

山本会長

各地区会からも会員への周知をお願いします。

佐野理事

ホームページへの掲載はいつ頃にしますか。

山本会長

周知するための資料、文書がそろい次第掲載します。

6. 厚生労働大臣表彰推薦者について

山本会長

日本放射線技師会が来年7月に75周年記念事業として記念式典を行います。周年事業記念式典の際に厚生労働大臣表彰という事で、各都道府県から1名推薦者を選出しています。今回も厚生労働省から候補者の推薦依頼がありました。

70周年時は長年、表彰委員長を務めている小池会員を推薦し表彰されました。

表彰推薦者を検討しなければいけません。

表彰対象者の条件があり、年齢、診療放射線技師関連団体役員として従事年数10年以上、または診療放射線に関する業務の従事年数20年以上、過去に叙勲等の表彰を受けたものでない事とあります。

前回の常任理事会において、超音波検査で活躍された杉山 高会員を推薦候補者として選出しました。

他に表彰対象者の条件に該当する会員はいますか。

いないようであれば技師会としては杉山様を推薦したいと思います。

この件について採決を採ります。

・厚生労働大臣表彰推薦者について

杉山 高 会員を推薦

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

承認されたので、杉山様を推薦します。

ただし、御本人が辞退するという事もあります。仮に辞退された場合は改めて選出します。

7. 令和4年度 学術大会テーマ

山本会長

令和4年度学術大会テーマについてです。

深澤副会長

企画調査、廣瀬理事が欠席のため私の方から報告します。

企画委員会より、大会テーマ案を6つ上げてあります。この中から、令和4年度学術大会のテーマを決定していただきたいという事です。

1. ウイズコロナで県民と歩む放射線技術。
2. 県民に伝えよう
～放射線技術の現在と未来を～
3. 県民と共に歩き、未来を築く放射線技術
4. さらなる高みへUp Date
5. 県民の未来を創造する
～未来を切り開く放射線技術～
6. 県民の生命をまもる医療技術

山本会長

皆さんどうでしょうか。出席者全員で採決をお願いします。

1. 0票
2. 4票
3. 6票
4. 3票
5. 2票
6. 1票

最多は3. の6票ですが、過半数に達していないので、2. と3. で決選投票とします。

2. 9票
3. 7票

以上の結果、令和4年度学術大会のテーマは

県民に伝えよう

～放射線技術の現在と未来を～

に決定しました。

8. 新春公開講演役割分担

山本会長

新春公開講演会の役割分担等について総務・後藤理事お願いします。

後藤理事

最初に役割分担からです。常任理事の皆様にはメールで配信してあります。

大会長、山本会長。司会、高橋副会長。受付、森田理事・遠藤理事。WEB管理、佐野理事・後藤理事。会場責任者、接待、畑副会長・深澤副会長。会場整理、画像記録、鈴木理事。学術管理、神谷理事にお願いします。

明日、会場でリハーサルを行います。状況によっては変更等あるかと思えます。メール、常任理事会等で改めて報告します。

明日のリハーサルで、会場の配置、WEB環境等を確認し体勢を整えて、本番を迎えたいと思います。

佐野理事

明日のリハーサルに、外部からの参加をお願いします。外部からWEB環境や音響の確認を一緒にできれば良いと思っています。

高橋副会長

12時に会場入りしてから、セッティングを始めます。13時には始められると思います。

佐野理事

ミーティングルームのパスコード等は会務メールで皆さんにお知らせします。

参加可能であれば、13時以降に直接ミーティングルームに入室してください。できるだけ多数の常任理事に入ってもらい確認出来たら良いと思

います。

神谷理事

事後報告になってしまいましたが、会告で掲載した新春公開講演会の公開講演と教育講演の座長を入れ替えました。公開講演を聖隷三方原病院の中村陽子会員。教育講演を浜松市リハビリテーション病院の永峯岳樹会員に変更しました。変更については会長の承認を得ています。ご了承ください。

公開講演については高橋先生に会場で講演していただきます。教育講演は録画になります。質疑応答はライブで対応していただけることになっています。

山本会長

新春公開講演についてですが、受付はいつからですか。

佐野理事

本日から受付開始の予定ですが、今のところホームページにアップされていません。

会場への入場が先着54名となっています。当日は役員、スタッフで15名程会場にいます。そこを含めずに54名で良いですか。

高橋副会長

会場で準備した席数54名分で良いと思います。

神谷理事

新春公開講演で私と座長2名、もう一名学術委員のスタッフを出席させて欲しいのですがどうでしょうか。

後藤理事

必要なスタッフなので出席は大丈夫です。

高橋副会長

新春講演会のJARNALへの寄稿もお願いする事ができますね。

山本会長

新春公開講演、よろしくお願いします。

9. 学術大会開催方法について

山本会長

次に、学術大会の開催方法です。

神谷理事

令和4年5月29日日曜日、浜松市プレスタワーで開催を予定しています。

開催方法として、午前中に総会と演題数により一部午前中に発表。昼食時にランチョンセミナーを予定しています。テーマは動態画像検査という事でコニカの一般撮影、キヤノンメディカルのCT装置を利用した呼吸器、整形領域での動態撮影について話が聞けると思っています。

仮の申請書を作成し、講師依頼をしています。

特別公演は、ラジエーションハウスの医療監修に携わった五月女先生に講演をお願いしました。

五月女先生より講演時間60分では足りないということで、75分で設定しています。

あとは、集まった演題数に応じてプログラム編成を検討していきます。

現時点で会場への入場は80名までとなっているので、会場とWEBの併用開催を予定しています。

入場者ですが発表者及び発表関係者1、2名、新旧役員で定員になってしまうのではないかと思います。一般的な参加者はWEBのみになってしまうと思います。

山本会長

サテライト会場があれば、役員、スタッフはそこで視聴。一般の参加者優先で会場に入ってもらえるのはどうでしょうか。

神谷理事

サテライト会場の用意が出来るか確認はしていません。

後藤理事

会場の確保ができて、WEB環境の確認が必要です。

高橋副会長

会場の環境等を確認してから検討が必要ですね。

山本会長

一般参加者が多いようならば是非会場に入って聞いてもらいたいですね。

神谷理事

公開講演に、一般参加者が多いのであれば検討しなければいけません、今後の感染状況を鑑みて柔軟な対応が必要と思います。

常任理事会で感染状況を確認しながら開催方法を決定していただきたいと思います。

ランチョンセミナーは開催する方向で準備を進めていますが、感染状況によっては中止もあり得る事を伝えてあります。

山本会長

学術大会の時には会費徴収システムは使えますか。

佐野理事

新年度、新役員から稼働できるように調整します。

神谷理事

参加費はどうしますか。

山本会長

例年、徴収していますね。

徴収システムが使えないので会場参加者のみ徴収という訳にもいかないですね。

公益事業比率の関係も出てくるので、会計の状況を見て検討していきます。

後藤理事

学術大会の後に、和田顧問の叙勲祝賀会を予定しています。

高橋副会長

賛助会員にも出席してもらいますか。

後藤理事

出席していただくように案内は出します。

ランチョンセミナーが無ければ、そこで祝賀会を開催する事も考えていました。

山本会長

総会当日は臨時理事会もあるので、役員の昼食も考えなければいけません。

総会・学術大会については、随時常任理事会でも検討していきます。

10. その他

高橋副会長

報告書の承認をお願いします。

乳腺部会より令和3年11月20日に開催された第34回乳腺画像部会研修会の報告書がきています。

WEBで開催。54名の参加者。会員35名、非会員12名、県外会員7名です。

収支報告です。予算40,000円に対して、実績40,471円。役員交通費が予算16,000円に対して20,840円。Wi-Fiレンタル料金5,631円、謝礼6,000円、役員日当8,000円という事で471円不足しています。

471円は技師会からという事で良いですか。

山本会長

予算に対しての差額471円で、技師会からの80,000円がまだ余剰金があるのでそのままで行きましょう。

・乳腺画像部会報告書について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

山本会長

皆様のご協力の下、議事は全て終了しました。
令和3年度、第3回理事会を終了します。

※議長が第3回理事会の修了を宣言したので、
令和3年12月18日16時35分理事会を閉会。

議事録作成 森田 光博

令和3年度 第4回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年2月19日(土)
2. 場所 技師会事務所+WEB会議
3. 出席者 (敬称略)

山本 英雄・深澤 英史・高橋 真
畑 利浩・後藤 修司・鈴木 紀晶
大杉 正典・遠藤 基生・佐野 祐二
森田 光博・廣澤 賢一・宿島 久志
小林 秀行・神谷 正貴・廣瀬 和秀
栗田 仁一(監事)・松本 恭徳(監事)
大倉 善郎(選管)

欠席者

堀 吉孝・和田 健(顧問)

(1) 山本会長挨拶

令和3年度第4回理事会を開催します。

コロナウイルスの感染拡大が終息せず、大変な状況での病院業務及び技師会の会務お疲れ様です。

本日は、事務所とWEBを利用しての理事会になります。

庶務一般・堀理事が欠席のため委任状が提出されています。

定款34条に基づき、議長は会長である私が務めさせていただきます。議事録担当は36条に基づき議長が指名するとあります。総務庶務・森田理事をお願いします。

(2) 報告事項

I. 山本会長

JART関連の報告から。

12月26日浜松市アクティシティ浜松で、放射線機器管理士分科会研修会が開催されました。静岡県でJARTの事業開催は久しぶりで、28名の参加がありました。久しぶりの会場型研修会という事で

対面での質疑応答、情報交換で講師、受講者共に充実した研修会でした。

1月22日、全国会長会議がWEBで開催されました。

JART上田会長の年間目標に、各県技師会の若手技師との情報交換を掲げています。2月1日、静岡県で急遽行われる事になり、静岡市立静岡病院 千葉会員と聖隷三方原病院 篠田会員に参加していただきました。JRAT上田会長、富田副会長、静放技 高橋副会長、私と6名で情報交換を行いました。技師会活動の事、日々の業務で困っている事などを話しました。その中で、篠田会員から妊活についての対応に苦慮する事があるという事例が上げられました。周囲へ公表していない場合があり休暇を取りにくい場合がある。制度として確立されていると助かるという事がありました。産休・育休、介護については制度として確立されていますが、妊活については制度自体がありません。上田会長もすぐに対応し、畦元議員にその旨を伝えてくれました。また、厚生労働省の妊活に関わる最新の資料を篠田会員へと提示してくれました。

JART75周年式典で厚生労働大臣表彰があります。各県1名の地方枠と中央枠があり、静岡県から杉山高会員を推薦し、審査が通りました。

杉山会員は役員として技師会に携わる事は近年はありませんでしたが、技師会事業に協力していただき、超音波検査の分野でご活躍されました。

中央枠に私の名前があがっています。今期で役員を退くので表彰の対象になるという事で選出されました。

東海4県です。2月6日に東海4県診療放射線技師学術大会が開催されました。

本県から静岡市立静岡病院 千葉和安会員がシンポジストとして参加し、CTについて話をしました。

大会はMedinarを使ってWEBで開催され、会員は無料。非会員は2,000円の会費を徴収しまし

た。参加者は152名と聞いています。

大会開催にかかった費用については、東海4県で折半する事になっていますが、徴収した会費で講師費用等の経費は賄えそうだと聞いています。詳細は後日報告します。

静岡県放射線技師会です。

会費未納者の債務回収委託申請書をJARTへ提出しました。債務回収についてJARTの会誌には既に掲載されています。静岡県でも債務回収を行うという趣旨の文章を作成しました。ホームページへのアップ、会員への配布を考えています。

定款では、会費2年未納で除籍になるが、会費は納めなくてはならないという規約があります。未納のまま退会した場合、再入会の際にトラブルのもとになります。

2月に予定していた告示研修ですが、感染拡大のため中止という判断をしました。本来であれば理事会で決定をしなければいけなかったのですが、急速な感染拡大という事で日も無かった事から、曾我教育委員長と相談し、中止という決定をしました。今後の告示研修開催予定ですが、6月1週に県立総合病院で予定しています。

研修時の医師講師派遣はJARTから医学放射線学会に連絡し、医学放射線学会を通して講師派遣してくれることになりました。従来は各県に任されて、困難な場合は医学放射線学会を通して講師が派遣されていました。今後は医学放射線学会から派遣される事になります。看護の講師は従来通り各県で依頼をします。

2月11日、静岡県マンモグラフィ講習会が乳腺部会と合同でWEB開催されました。約100名の参加がありました。

3月3日静岡県医療事故調査支援団体連絡協議会・研修会に参加予定です。

医師会を中心として、各種団体が加盟しており、医療事故があった際に支援をしていく団体です。

3月12日、静岡医療科学専門学校卒業証書授与式で祝辞を依頼されています。参加を予定して

います。

2019年に開催された、第12回CCRT学術大会の奨励賞表彰を5月総会で行います。

学術奨励賞として、静岡県立こども病院 佐野恭平会員を選出しました。

いままでコロナウイルス感染症の影響で表彰する機会を設ける事ができませんでした。

遠藤理事

債務回収のお知らせは次号ジャーナルに掲載しますか。

山本会長

次号ジャーナルに掲載をお願いします。

II. 副会長報告

東部 深澤副会長

1月28日に予定されていた静岡県原子力防災訓練は感染拡大のため中止となりました。

静岡県担当者より、2年続けての実働訓練中止となってしまったため、年度内に研修会を計画する予定であると連絡がきております。詳細は未だきていませんが参加する方向で考えています。

同日、原子力災害時連絡網訓練を行いました会長から11:00発信。東部12:45、中部12:00、西部12:55、管理士部会東部11:20、管理士部会中部15:44、管理士部会西部11:50で終了しました。

この件に関して、案内文の通知に不手際がありました。各地区会長に対応していただき無事に訓練を実施する事ができました。各地区会長のご支援ありがとうございました。

3月に開催予定の三合同会議で訓練について次の事を協議していきたいと思います。

1.浜岡原発災害時は東中の支援が重要となるが、原子力災害緊急時対策研修会を含め西部地区の参加者が少ないとの指摘を受けました。原子力防災訓練参加者を含め検討します。

2.連絡網訓練において、今回管理士部会・中部

で連絡が繋がらず、時間がかかってしまいました。有事の際はつながらない恐れもあり、その際の対応を検討していきたいと思います。

2月26日、ワークライフバランス委員会の勉強会がZoomを使用して開催されます。

中部 加副会長

来年度開催を予定している周年記念式典の会場ですが、ホテルアソシア静岡に問い合わせたところ、1月は予約で埋まっていて確保が難しい状況です。

同格のホテルの紹介を依頼し、静岡駅南側のグランヒルズ静岡を紹介されました。

会場の予約状況を確認したところ、1月14日に空きがあり仮予約しました。

1月21日は大安吉日という事で、結婚式等で会場の確保は難しいと思います。開催日も決定ではないので1月28日にする事も可能かと思えます。

13:00から4時間程度、80名～100名位、式典と会食を予定している事を伝えてあります。

日程に余裕があるので、他会場で良い条件のところがあるようならばご連絡ください。

山本会長

新春公開講演会、アール祭と同日開催したいですね。

他に同等規模の開催可能な会場が確保できるか検討しましょう。

西部 高橋副会長

部会報告になります。

管理士部会1月22日(土)第46回放射線技師のためのセミナー開催しました。

参加者62名。静放技会員52名、県外会員4名、非会員2名、メーカー4名です。

次に、乳腺画像部会2月11日(金)、先ほど会長からの報告にあった静岡県マンモグラフィー講習会の中で第35回乳腺画像部会研修会を開催してい

ます。

参加者95名。静放技会員48名、県内非会員20名、県外会員16名、県外非会員9名、県外検査技師1名、県内医師1名です。報告書が提出されていますので後ほど協議の程お願いします。

MRI部会3月12日(土)、14時からZoomで開催を予定しています。

アンギオ部会より報告がきています。

次回アンギオ部会の研修会を4月中に開催すべく準備をしていましたが、新型コロナウイルスのまん延により外出制限などがあり、会員発表や教育講演を引き受けてくださる方が見つかりませんでした。役員で演者を出して開催できないものかと模索しておりましたが、職場でコロナ感染者が発生していたり、外出制限がかかっていたりで中々話が進みませんでした。

つきましては、今年度の研修会は、すでに開催した1回のみとし、残った補助金につきましては県に返還するという事で役員同士で話し合い決定しました。

他部会がコロナ禍で研修会を予定している中で、アンギオ部会としても何とか開催できないものかと考え講師を探してみましたが、やはりコロナでどうなるかわからない状況ですと交渉も難しく、県内の病院でも多数クラスターが発生してしまっている現状を考えれば中止も妥当ではないかという考えに至りました。

以上、アンギオ部会からの報告です。

Ⅲ. 常任理事報告

総務 後藤理事

1月15日、新春公開講演会を皆様のご協力の下無事、開催する事ができました。

ありがとうございました。

県のみ会員で2年間会費未納者に会費納入を促す電話連絡をしました。今後も会員管理・鈴木理事と協力して進めていきます。

5月開催の定時総会に向けて準備を進めていま

す。

総務庶務 森田理事

報告事項等ありません。

庶務会員管理 鈴木理事

会員数の報告です。

総会員数980名。東部283名、中部296名、西部399名、県外2名。

年会費未納者リスト2021年12月納入分までの資料で、2年未納者5名、1年未納者42名、合計47名。納入率95.2%となっています。

日本放射線技師会より毎月送られて来る納入県会費1月分のリストはまだ来ていませんが、日本放射線技師会、新JARTISの個人会員情報を検索し2022年2月15日までの未納者数を確認致しました。

2年未納者1名。西部1名。1年未納者30名。東部10名、中部6名、西部14名。未納者数は合計31名となっています。

各地区の納入率は東部96.5%、中部98.0%、西部96.2%、合計96.8%です。

日本放射線技師会より令和3年度会員資格喪失者(除籍)は2月26日の理事会で承認され、4月1日が除籍退会日となります。

引き続き会費納入の呼びかけをお願いします。

山本会長

鈴木理事が一生懸命に取り組んでいるおかげで、会費納入率が非常に高くなっています。

ありがとうございます。

退職や勤務先の変更により手続きが上手くいかない事もあるようです。

これは各個人が意識して手続きをしてもらう事で解消できることもあると思います。未納者リストの中に覚えのある名前があれば、各役員も会費納入の呼びかけに協力していきましょう。

会費免除の制度を上手く利用できていないよう

なので、会員の皆様に周知していく事も必要です。産休・育休の会費免除。夫婦で加入していると免除などがあります。

会計 大杉理事

GMサーベイメーターが1月に納品されました。これから年一回校正が必要となります。

編集 遠藤理事

次号ジャーナルの発送作業を3月25日18:00より技師会事務所にて行います。中部地区在住の常任理事の皆様、発送作業への参加をよろしく願いします。参加できない方は編集理事までメールを下さい。

発送に合わせて同封したいものがありましたらお知らせ下さい。また、同封物につきましては必要部数を発送前日までに事務所に用意下さい。

総会議案集・学術大会予稿集、定時総会の書面表決ハガキについてです。

原稿依頼を受けた方は原稿の準備をお願いします。

それぞれが担当した原稿を編集理事でとりまとめて議案集の形にして印刷、製本します。作成された原稿は、編集で誤字脱字等の修正はしません。提出の際、間違いのないようにチェックをお願いします。

定時総会の書面表決ハガキについてです。

はがきは料金受取人払いを利用します。表面は郵便局へ申請し、有効期限の延長、承認番号・バーコードの発行など完了しています。

裏面の内容については協議事項で確認をお願いします。

山本会長

皆様、期日までに原稿の準備をしてください。

広報 佐野理事

令和3年度新春公開講演会の後援報告を2月21

日、静岡県と静岡新聞社へ送付予定。

情報管理委員会報告からの報告です。

記念誌編集用のメールアドレスを作成しました。
編集理事で使用してください。

Microsoft 365のプラン変更をしました。Microsoft 365 Apps for businessからMicrosoft 365 Business Standardになりました。今までTeamsは「Microsoft Teams Exploratory」という試供品を使用していたようで、試供期間が終了となるため、プランをアップグレードしました。

会費徴収システム導入について経過報告です。

クレジット決済について、VISA、Mastercard、JCB、AMEX、Dinersの5つに対応するという事で検討しています。

バーコード決済について、加盟店手続きを申請中です。

銀行口座について、郵貯銀行、楽天銀行（ネット銀行）が使用可能。富士信用金庫は、ネット上で即時確認ができないため、リストから除外を考慮しています。

会費徴収におけるクレジットカード決済利用について、様々な手続きが必要となります。現在、2022年6月以降の運用開始を目指しています。試し運用時期を4月と計画し進めています。

クレジットカード決済を使用するため、決済代行会社と契約が必要となります。

VISA、Mastercard、JCB、AMEX、Dinersが、個々にクレジット審査を行い、審査が通ったクレジットカードが使用可能になります。

審査を受けるため決済代行会社に次のデータを提出しなければなりません。

1. 独自ドメインのホームページURLの提出。
既存HPのURLを提出する事で解決します。
 2. 商品（セミナー等含む）・サービス料金表が掲載されたページのURL提出。
 3. 特定商取引法に基づく表記が掲載されたページのURL提出。
2. を作成するため、今後行われる有料セミ

ナーの年間予定、参加予定人数、個々のセミナーの料金を令和2・3年度の事業を参考にして資料を作成しました。

会費の中に決済手数料を含む形で計画を進めています。

例えば、会費500円で100名参加した場合、決済手数料が1件につき40円。出金手数料が1回160円掛かります。従って費用として4,160円となります。会費の値段に関わらず手数料は同じです。

徴収した金額から決済手数料、出金手数料を差し引いた額が技師会に入ってくるという流れになります。

3. の特定商取引法に基づく表記内容をアシストデザインと協議し進めています。

その中で、連絡先は静岡県放射線技師会事務局のアドレスとしています。

セミナー料金のキャンセル、返金等についても記載しなければいけないのですが、これは「代金支払い後の会員都合によるキャンセルはお申し受けてできません」を標記します。領収書は、「明細書をもって領収書の発行に代える」とし基本的には発行しないという事になりました。

山本会長

セミナー等の会費徴収について検討している最中です。

常任理事会でも検討していますが、今まで研究会等は1回1,000円の会費で開催していましたが、500円で考えています。

徴収した会費を各部会の口座に振り込むことはできないため、全て技師会の口座に振り込むという形を取ります。

今までは各部会で会費の運用等お願いをしていましたが、今後はそのような事ができません。部会費の取り扱いについてこの後予算案でも出てきますが、今まで部会活動の補助金として80,000円を各部会に渡していました。来年度は100,000円に増額します。部会活動の中で、会場費や講師費

用で100,000円では収まらない事が出てくると思っています。その時は申請書・報告書を常任理事会で審議し、技師会から補填します。

したがって、役員の日当、交通費等技師会の規約に沿って記載した企画申請書・報告書の提出をお願いします。各企業の補助があっても構いません。

この件については、高橋副会長から各部に説明して頂き検討していきます。

廣澤理事

地区会主催の事業でこのシステムは利用できますか。

技師会からの200,000円の補助金で運営していますが、各セミナー等で会費を徴収しています。

山本会長

会費徴収システムを利用すると会費は全て技師会の口座に入ります。

利用するか各地区で検討が必要かと思えます。

IV. 地区選出理事

東部組織理事 廣澤理事

1月23日、第2回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会をZoomによるWEBで開催しました。参加人数は会員49名、非会員7名の計56名でした。

内容は、放射線セミナー会員発表「DRLs測定の実践」。胃がん検診X線撮影従事者講習会はJCHO三島総合病院中村洋介会員に胃がんの外科治療という事で講演していただきました。

2月10日、第4回幹事会を開催しました。今まではWEB会議でしたが、最後という事で会場型で参加者14名で開催しました。内容として、静岡県放射線技師会報告、第1・2回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会の報告、第60回東部地区会通常総会、来年度東部地区会事業計画について、来年度東部地区会役員について

話し合いました。

2月14日、東部地区会たよりvol.4を発行・発送しました。

今後の行事予定になります。

3月5日、第60回東部地区会通常総会をはがきによる疑似決議という事で実施します。ハガキは地区会たよりと一緒に発送しました。

3月中に幹事病院交代に伴う引継ぎを行う予定です。

5月中旬に第1回幹事会開催。6月上旬、東部地区会たよりvol.1発行を予定しています。

中部組織理事 宿島理事

1月26日、第3回幹事会をZoomを使用して開催しました。出席者9名。

幹事会において、3月に開催される総会は書面表決とする決定をしました。

2月3日、地区会NEWS新春号発行。一緒に議案書を発送しました。

今後の予定ですが、2月末に第4回幹事会を開催します。

3月5日、第2回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影従事者講習会を開催します。

第2回放射線セミナーは「Philips社MRI (Ambition、Elition) の使用経験について」

島田市立総合医療センター山中一仁会員。

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会は静岡市立清水病院 今林教子会員、JA静岡厚生連静岡厚生病院 市川慎也会員に発表していただきます。

西部組織理事 小林理事

第2回西部地区会勉強会を12月18日WEBで開催しました。

「大腸CT検査を極めるために」・「変形胃(横胃)を工夫しながら撮影してみよう」という内容で開催しました。参加者は91名でした。

1月、西部TIPS vol.92発行。会員へ配布して

います。

2月15日、第4回西部地区会幹事会をWEBで開催しました。

今後の予定です。3月5日、第3回西部地区会勉強会と第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会を兼ねてWEBで開催する予定です。

内容は「バリウム検査における安全性情報」「脳血管障害における放射線技師の役割の重要性」「何が起きているか分かれば心カテはもっと楽しくなる」の3演題を予定しています。

勉強会終了後、第44回西部地区総会という事で幹事が集合し、議事に沿ってハガキ採決を行います。その後新旧役員のリ継ぎを行う予定です。

3月中に西部TIPS vol.93発行。会員へ配布します。

V. 常設委員会理事報告

学術 神谷理事

先ほど後藤理事から報告がありましたように、1月15日、静岡第一ホテルにて新春公開講演会が開催されました。後藤理事、佐野理事、高橋副会長、準備ありがとうございました。おかげさまで参加者は189名。WEB参加が163名で会場は26名の参加となっております。会員としては静岡県の技師会員71名。他都道府県の会員で10名。ですから108名が会員以外の登録になってはおりますが、この辺の詳細は私もわかりません。色々ありましたが、無事に終了したことを報告させていただきます。

企画調査 廣瀬理事

3月19日、山本会長に特別講演を依頼した静岡県放射線技師会研修会を開催します。

2月18日から申し込み開始になっている予定ですが、ホームページの方で受付ができない状態になっているので確認したいと思います。

VI. 監事（監査報告以外）事務職員

松本監事

特にありません

栗田監事

お疲れ様です。特にありません。

庶務一般 堀理事

欠席のため山本会長より報告

山本会長

会員動静について。

令和3年12月9日から令和4年1月12日

新入会申請3名

平川 哲也（中部）

渡辺 恵太郎（西部） 川手 政徳（西部）

再入会申請1名

高 慎治（中部）

以上4名につきまして、定款第3章第6条に基づき、本理事会での承認をお願いします。

山本会長

新入会3名、再入会1名について承認の採決を採ります。

・新入会・再入会について

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

（全会一致で承認）

（3）協議事項

I. 2022年度事業計画（案）承認の件

2022年度 事業計画書

公益社団法人

静岡県放射線技師会

はじめに

世界で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されてから2年がたち、いまだ終息の兆しが見えない中、昨年は緊急事態宣言下の中で初の無観客

でオリンピック・パラリンピックが開催されました。意気消沈している国民に多くの感動を与えてくれましたが、大会期間中には、第五波が日本を直撃し、医療がひっ迫し危機的な状況に陥りました。昼夜問わず、新型コロナウイルスと戦ってこられた病院職員の皆様には心から感謝申し上げます。

ワクチン接種、経口薬承認など明るい兆しも見え始めましたが、新年に入りオミクロン株の急激な拡大が始まり今後もCOVID-19との戦いは避けられない状況になっています。

今年度は、2年に一度の診療報酬改定が行われる年です。改定率は、診療報酬全体で▲0.94%（診療報酬本体+0.43 薬価等▲1.37%）となります。重点課題として、①新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築、②安心・安全で質の高い医療実現のための医師等の働き方改革等の推進が掲げられています。具体的には、感染症の発生に備えて平素から体制を整備すれば報酬が加算される。かかりつけ医の要件を厳しくし、紹介した医療機関との診療情報の共有も新たに加算対象となるほか、オンライン診療の報酬も拡充されるなど良質な医療を効率的に提供する体制の整備の観点が盛り込まれています。

このような厳しい社会情勢の中、静岡県放射線技師会としては、令和3年度に診療放射線技師法改正が施行され厚生労働省から指定された「告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）」を県内各地で開催を予定し、多くの会員が受講できるよう準備をしていきます。また、性腺防護の国際動向を踏まえた対応や正しい放射線の知識を国民に伝える事業への対応していく必要があります。

そして、従来の事業に関しては、昨年同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止策を意識し、オンラインによる事業を展開していき、どんな状況の変化にも対応できるよう新しい形式を引き続き模索していきます。

そして今年度は、本会が公益法人に移行し10年を迎える節目の年でもあります（法人格取得30年）。これまでの10年を振り返り、今後の技師会の将来像を考える年としていくために、会員参加の記念式典を開催し、記念誌の発行を企画していきます。皆様方のご理解、ご協力をお願いいたします。

本会は、診療放射線技師としての資質の向上と職業倫理の高揚に努め、安全で質の高い医療の提供を行い、県民の医療に対する期待に応えていくことを目指しています。

2022年度事業内容は、下記に示す通りです。公益目的事業の更なる推進に向けて関連の職種や県民に参加を広く呼び掛けていきます。

（事業内容）

1. セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業

（1）講演・学術大会

○第26回静岡県放射線技師学術大会

2022年5月29日

於 浜松プレスタワー17階 ハイブリット形式
大会テーマ

「県民に伝えよう

～放射線技術の現在と未来を～」

公開講演、及び日常業務の改善を含んだ会員研究発表会を開催し、会員・非会員が参加して診療放射線技師としての技術の修得と、技術的な意見交換を図る。

地方学術大会への参加

○第38回日本診療放射線技師学術大会

2022年9月16日～18日

於 神戸コンベンションセンター

ハイブリット形式

大会テーマ

「タスク・シフト／シェアに伴う業務拡大を推進しよう～革新への挑戦～」

本学術大会は、日常業務に直結した学術研究

発表の場として、また画像診断の読影補助に関する取り組みや、医療の原点である診療報酬改定に関する情報収集や専門部会活動などを通して、放射線技術の向上と診療放射線技師としての資質の向上を図る。

○第14回中部放射線医療技術学術大会

2022年11月5日～6日

於 ウィンク愛知（愛知県） 会場形式
大会テーマ

「実践知への探究

－放射線技術学のリテラシー－」

本学術大会は、診療放射線技師・学生・工学者などの最新の研究や、多岐にわたる分野の学術研究発表等により情報交換の場として開催し、高度な放射線技術学の研鑽を深めて医療現場に応用する。

○第62回東海四県放射線技師学術大会

2023年2月11日

於 アクトシティ浜松コンgresセンター

本学術大会は、専門分野の更なる追究や、最新の学術的特別講演を主にして日常業務の情報交換を行い、放射線技術の向上を図る。

(2) 研修・講習事業

○放射線技師研修会

2023年3月 日 会場未定

会員・非会員を対象にして、診療放射線技師としての質的向上に関する画像診断学の修得を図る。

○第11回新人教育セミナー（フレッシュャーズセミナー）

2022年7月 日 於 会場未定

新人診療放射線技師（会員・非会員）に対して、技師会定款・諸規程や技師会入会案内、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖講座、胸部単純撮影講座などを受講させ人材の育成を図る。

○デジタルマンモグラフィ講習会

2022年日程・会場未定

マンモグラフィ撮影認定技師を対象に、デジタルマンモグラフィの品質管理に関する講義、実習を行い、検査精度の向上を図る。

○放射線セミナーおよび胃がん検診従事者講習会（東部・中部・西部地区開催）

東部・中部・西部地区の会員・非会員、そして関連メーカーを対象に、放射線検査等に使用される医薬品の最新情報や胃がん検診に関する診断学、病理学など専門的な情報の習得を図る。

○業務拡大による告示研修（開催年10回）

2022年 6,7,9,11,2月

於 東部・中部・西部 各地

2021年、診療放射線技師法改正に伴い厚労省から指定された、「令和3年厚生労働省告示第273号研修（告示研修）」を県内すべての診療放射線技師を対象に実施する。

(3) 専門部会の活動

○超音波、MRI、アンギオ、乳腺画像、管理士部会の5部会活動

それぞれの部会が年2回、専門的かつ最新の情報を習得するための研修や、関係メーカーや医師からの診断学の講演、会員・非会員、そして他職種も参加しての情報交換を行い、医療機関において修得した技術の応用を図る。

(4) 出版物等による情報提供

○静岡県放射線技師会誌

「しずおかジャーナル（年3回）」の発行

講演内容や部会活動の報告、委員会活動報告、そして理事会報告を会員だけに限らず、賛助会員をはじめ関係団体、そして他県放射線技師会へ活動内容を広報する。

○静岡県放射線技師学術大会抄録集（年1回）の発行

静岡県放射線技師学術大会での研究論文を、会員・非会員、そして賛助会員へ情報発信し、その成果を共有することにより医療機関での技術学の研鑽に寄与する。

○ホームページによるセミナーや研修会等の情報公開

会員・非会員への企画情報手段として、従来の会告案内と併せてホームページ上での広報も充実する。

(4) 周年記念事業

○今後、大きな節目となる時期に過去の足跡を振り返り、その時代の高度な技術を県民に還元する内容等の講演会や記念誌発刊等を企画していく。

○公益法人移行10周年記念式典

2023年1月14日（静岡市）

○公益法人移行10周年記念誌発刊

2. 体験活動、講演、相談等の事業による放射線検査に関する知識の普及啓発事業

(1) 体験活動

○第41回静岡ふれあい広場での活動

2022年9月 日

於 青葉シンボルロード（静岡市）

中部地区市民を対象にした乳がん検診啓発活動、腹部超音波無料体験や骨密度測定無料体験、そして放射線被ばく相談等により市民の健康増進と健康不安の解消に務める。

○東部地区ふれあい広場での活動

2022年11月 日～ 日

於 キラメッセ沼津（沼津市）

メディメッセージに参加し、東部地区市民を対象にしたポータブル装置体験、3D画像体験、乳がん検診啓発活動、放射線被ばくに関する相談コーナーを設けて、市民の健康増進と健康不安の解消に務める。

○西部地区ふれあい広場での活動

2022年11月 日

於 可美総合公園（浜松市）

西部地区市民を対象にした乳がん検診啓発活動、骨密度測定無料体験や放射線被ばく相談等により、市民の健康増進と健康不安の解消

に務める。

(2) 一般公開講演

○新春公開講演会 教育・公開講演開催

2023年1月14日 於 静岡市

会員・非会員・一般および関連メーカーを対象にした、疾病予防対策や画像診断に関する講演等について、高名な専門医から日常生活での健康管理に役立つ最新情報の習得を図る。

○レントゲン週間事業（秋季公開講演会）

2022年11月 日 会場未定

県民対象にがん検診啓発活動の一環として第一線でご活躍の先生をお迎えして、最新の治療方法と予防対策等についての講演等を行い、がん検診受診率向上を目指す。

(3) インターネットの利用

○ホームページによる放射線検査の説明、相談

ホームページを利用して放射線に関する情報公開や放射線被ばく相談等により、県民の健康不安の解消に務める。

3. 研修、訓練等による放射線管理及び安全推進事業

(1) 研修・講習会

○原子力災害緊急時対策研修会

2022年11月 日

於 浜岡原子力発電所

会員・非会員を対象に、中部電力の協力による放射線汚染に対する被ばく測定の実地訓練や、GMサーベイやホールボディカウンター等の取り扱い方の周知徹底を図り、有事に備える。

(2) 防災訓練

○静岡県原子力防災実働訓練への参加

2023年2月 日付未定

スクリーニング会場

静岡県主催の地域住民参加型の原子力防災訓練に対して、放射線汚染測定スクリーニング

のため、診療放射線技師を県防災訓練指定地区等に派遣し、汚染測定の実地訓練を行う。

○原子力災害想定の情報伝達訓練

2023年2月 日付未定

会員・非会員を対象に、原子力災害を想定した机上情報伝達訓練を施行して、万が一に備える。

○GMサーベイメータの点検・校正

放射線汚染測定実地訓練のため、年1回点検及び校正を行う。

4. 会員に対する相互扶助事業

○表彰事業

2022年5月29日

総会時 20年永年勤続、35年永年勤続表彰、松本賞、感謝表彰

○アール祭

2023年1月14日

会員、賛助会員、非会員との情報交換の場（記念式典と兼ねる）

意見、質問等無ければ決を採ります

・2022年度事業計画（案）承認の件

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

（全会一致で承認）

II. 2022年度収支計画（案）承認の件

大杉理事

令和4年度予算案になります。令和2・3年度を参考に作成しました。

公一事業から。令和4年度に予定されている周年記念事業費と告示研修開催時の補助人員の費用が増加しています。先ほど佐野理事から報告があったように来年度より、研修会等の参加費を徴収する予定でいます。したがって収益が増加しています。参加費が各部会に入らないので、各部

会への補助金を80,000円から100,000円に増額しました。各部会において不足分を技師会で補填するので予算として各部会150,000円で計算しております。

本年度、部会費が交通費に含まれていましたが、来年度より支払負担金に変更をします。

経常収益です。受取負担金に勉強会等参加費250,000円追加し、経常収益計1650,000円になります。

経常費用になります。会議費が周年記念事業費用100,000円追加し393,000円。

旅費交通費が告知研修分を150,000円追加、部会費を来年度から支払負担金に変更のため400,000円減額し150,000円としてあります。

続いて消耗品費。周年事業分300,000円追加し450,000円。貸借料、周年事業分300,000円追加し470,000円。諸謝金、周年事業100,000円、告示研修分150,000円追加し合計350,000円としてあります。

支払負担金部会費を150,000円×5部会で750,000円追加し1,950,000円としてあります。

公2事業です。旅費交通費を昨年度の実績額に合わせ200,000円減額し400,000円としました。

公3事業は旅費交通費、昨年度の実績額に合わせて200,000円減額し200,000円。

相互扶助事業費に変更はありません。

一般会計です。経常収益から。

正会員受取会費は会員数に合わせ増額し、

7,640,000円としてあります。賛助会員受取会費も会員数に合わせ減額し650,000円としてあります。広告掲載収益も協賛企業数に合わせ減額し910,000円としました。

経常収益計が11,171,500円。経常費用計12,127,300円となり経常増減額△955,800円となります。特別費用準備資金の800,000円を周年事業費として使用しますので、その分を引くと△155,800円となります。

会計からは以上です。

山本会長

予算の各部会への150,000円について、各部会に渡す金額は100,000円ですが、補填分を含めて150,000円で計上しました。

小林理事

賛助会員会費が減額となっているのは何か理由がありますか。

増やすために関係各所に働きかけをした方が良いでしょうですか。

後藤理事

前年度から賛助会員の会員数が減っています。

コロナ禍で事務所が閉鎖し連絡が取れない事や、会社の方針で退会する企業がありました。

山本会長

賛助会員が増えるのは良い事です。会社規模は問いませんので、声掛けをしてもらえると助かります。

他、質問等無ければ採決を採ります。

・2022年度収支計画（案）承認の件

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

（全会一致で承認）

Ⅲ. 理事会選出理事候補者承認の件

山本会長

理事会選出理事候補者承認の件です。

大倉選挙管理委員長お願いします。

大倉選挙管理委員長

役員改選について、令和4年1月7日公示、立候補、推薦候補届提出を令和4年2月10日(木)午後5時締め切りとしました。

候補者、推薦者が揃い確認をしていました。その中で、中部地区の候補者の1名が内規を満たしていないという事がありました。

宿島理事

候補者が1名変更となりました。

静岡市立清水病院 常葉勇介会員が理事会選出立候補者です。

大倉選挙管理委員長

今後の予定ですが、4月下旬の公示に向けて準備していきます。

東部選出常任理事、西部選出常任理事の理事会推薦届け・理事6名の署名が必要となります。

理事会終了後、署名をよろしくお願いします。

山本会長

理事会選出理事候補者について規約があります。選出方法が地区会選出理事と理事会選出理事では違います。理事会選出理事はこの理事会の場で承認を得て正式な立候補者となります。

地区選出理事、監事の10名は地区会からの推薦ですからこの時点で正式な立候補者となります。

宿島理事

候補者名簿で2名赤字の候補者がいます。1名は先ほどの内規を満たしていないという事ですが、もう1名は何か問題がありますか。

後藤理事

常任理事会で候補者を選出するにあたって、施設の会員数が7名以上という規約があるのではないかという話が出ました。規約等を調べたところ、県技師会ではそのような規約はない事が分かりました。

各地区会で会員数による選出の条件規約が無いようであれば問題はありません。

宿島理事

施設に在籍する会員数の条件等はありません。

後藤理事

それならば問題ありません。

山本会長

理事会選出理事候補者8名について採決を採ります。

- ・理事会選出理事候補者承認の件

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

(全会一致で承認)

山本会長

今回は内規を満たさない立候補者が挙がりましたが、本来は、独立した機関である選挙管理委員会で立候補者の審査をして理事会で承認しなければいけません。

今回の立候補者は全員承認されました。4月に公示。5月の総会で承認を得て理事となります。

大倉選挙管理委員長、ありがとうございました。

IV. はがきによる書面決裁の件

山本会長

はがきによる書面決裁についてです。

今回の総会は、会場とWEBでハイブリッド開催を予定しています。会員の入場も可能です。

決裁ははがきによる事前決裁とします。

この件について承認を得たいと思います。

まずは書面決裁をする事の承認をとります。

- ・はがきによる書面決裁の件

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

(全会一致で承認)

山本会長

総会ははがきによる決裁が承認されました。続いてハガキの内容について協議します。

遠藤理事

総会は会場とWEBのハイブリッドではがきによる決裁が承認されたので、昨年同様決裁用のハガキを作成します。総会当日は、会場で意見・質問等を受け付けません。はがきに意見等を記入する欄を設けてあります。いただいた意見等は総会で回答していきます。

投函締め切り日については、議案集発送日が決まり次第決定します。

発送をゴールデンウィーク前にしたいのですが、印刷・製本が昨年同様間に合わない可能性が高いので、5月2日か6日になると思います。したがって締め切りは5月20日前後になると思います。

山本会長

2号議案の理事・監事候補者の承認については従来は各候補者に信任・不信任を付けますが、今回は不信任候補者の氏名を記入するようになっていきます。

他、質問等無いようなのではがきの内容について承認をとります。

- ・決裁ハガキの内容について

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

(全会一致で承認)

V. 総会式次第承認の件

山本会長

総会式次第承認について後藤理事お願いします。

後藤理事

第11回(公社)静岡県放射線技師会定時総会の式次第です。

昨年と同様の流れですが、第2号議案、理事・監事立候補者の承認が追加されています。

山本会長

総会で表彰が幾つかあります。

永年勤続表彰20年・35年。退任される役員へ感謝状と先ほど報告にあったCCRT表彰があります。

会場で質問があればその場で対応したいと思います。

・総会式次第承認について

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

(全会一致で承認)

山本会長

続いて総会、学術大会についてお願いします。

大会組織図をお願いします。

後藤理事

一部空欄もありますが組織図を作成しました。

山本会長

役割は、新旧の役員が一緒に担当する形の配置で良いと思います。特に常任理事は新旧理事と一緒に担当する配置をお願いします。

小林理事

総会の議長ですが、例年2名だったと思います。昨年はWEB開催という事で1名でした。今回、議長は何名で対応しますか。ハイブリッド開催なので例年通り2名に戻すのか1名で行くのかどうでしょうか。

廣澤理事

会場の関係で役員の人数を減らすという事ならば次期の部会長にお願いしようかと思っています。

それとも他に呼びかけても良いですか。

小林理事

前は中部からの選出だったと思います。

1名という事なら東部から。2名なら東部、中

部でお願いします。

廣澤理事

次期常任理事の方は会場に入りますか。

山本会長

次期常任候補者は会場で現常任理事と同じ役割で総会に参加となります。

宿島理事

次期常任理事候補者に議長を依頼するのは問題ないですか。

山本会長

規約上問題ありません。

加副会長

今回、参加費は徴収しますか。

高橋副会長

徴収しません。6月から徴収システムが本格稼働する予定です。

山本会長

総会当日、お昼の時間は新常任理事による臨時理事会が開催されます。その間は現在の常任理事で学術大会を運営します。

4月に組織図を完成させます。議長2名と新役員の名前を入れていきます。議長の選出をお願いします。

神谷理事、学術大会に関して何かありますか。

神谷理事

参加者に関して、会場が80名までということなので、入場できる方はあくまでも大会関係者、講師、座長、演者及び演者の関係者1名と限定をさせていただくという事でよろしいですか。

高橋副会長

原則はその通りです。

神谷理事

受付ですが、9時30分開始の定時総会の会場及びWebinar受付は9時から。総会は10時40分までの予定。学術大会の受付開始が10時20分と理解していますがよろしいですか。

佐野理事

その予定時刻で良いと思います。
定時総会のWebinarと学術大会のWebinarを2つ立ち上げます。参加者は事前登録制なので、受付が開始していれば入室は問題ないのだと思います。

廣澤理事

ログインアカウントが同じだと同時刻に違う大会を受付できないのでは。
20分間の重なっている時間帯は2つ同時に受付ができないと思います。

佐野理事

通常のZoom使用の際は、会議を開催しておいて、ホストの権限を共同ホストの一つに譲れば
同じアカウントで新たに違う会議を立ち上げて運営することができたはずです。
おそらくWebinarでも可能ではないかと認識しています。過去に一度、部会で同日に別会議の開催を開催したことがあると思います。

深澤副会長

その時の会議は時間が重ならないように時間を調整しました。ですから、実際に同時刻に2つの会議が開催できたか確認できていません。

佐野理事

定時総会は9時30分開始で60分程で終了すると

思っています。学術大会の受付は開始30分前からという事で10時20分からしております。例年、総会が1時間かかることが無いので重なる事もないと思っていました。当日は10分遅らせて10時30分に受付開始にするのも良いかと思います。

神谷理事

定時総会は10時30分までとして、Webinar受付開始を10時30分に変更するという事でよろしいですか。

佐野理事

時間が重ならない方が無難です。
パソコンは3台準備して、総会と学術大会でパソコンを変えて対応していきます。
総会と大会受付の時間が重ならない様に変更をお願いします。

神谷理事

それでは受付時間が20分間ということになります。学術大会は10時50分から第一部会員発表を行っていきます。その後のスケジュールは以前提示したものと変更はありません。
もう一点確認ですが、ランチョンセミナーについてはどのように準備していきましょうか。実施する方向で準備を進めていますが今の感染状況で、食事をしながらというのはどうなんでしょうか。

山本会長

ランチョンセミナーなので会話する事は無いと思います。

高橋副会長

会場も関係者のみなので20名程ではないでしょうか。大会役員は臨時理事会が開催されているので半分ほどになります。会場で距離をとる事が可能なスペースがあるはずなので黙食してもらえば問題ない人数だと思います。

公開講演を聞くために一般の方々が入場してくることがあるかもしれないですね。

小林理事

例年、市民公開講座は午後の部が始まるまで一般の方の入場は止めています。

神谷理事

今回の市民公開講座は一般の方も全員Webで参加するという認識でいます。案内についても市民公開講座は基本Webで参加という案内をするように意識しています。

高橋副会長

それならばランチョンセミナーの開催に問題はなさそうですね。

食事の数は、役員、前後の発表者、関係者、座長の分を用意する必要があります。

神谷理事

食事は役員、座長、講師を含む学術大会関係者で80食を準備する予定でいます。

メーカーには80という数字を出して依頼しています。

ランチョンセミナーの後、公開講演が90分。残る2つのセッション終了後閉会となります。

閉会后、叙勲報告会を予定しています。参加費は全員無料で会告を作成しました。

小林理事

会場の件ですが、2月上旬に下見をする予定でしたが、感染拡大の影響で延期となりました。

収容人数は会場のプレスタワーの方から80名までといわれているので、人数が増える事はありません。

下見では、実際にハイブリッド開催する時のセッティングの確認。臨時理事会を開催する会場を確保していますが、その場所を一般演題の時に

開放しサテライト会場として利用できるかも確認してきたいと思います。

高橋副会長

Wi-Fi環境はどうなっていますか。

小林理事

理事会用の会場にWi-Fi環境はありません。どのような形でネット環境を確保できるか確認していきます。

下見の報告は次回理事会で報告します。

高橋副会長

先日、神谷理事から情報をいただいたWEBミキサーの件ですが、常任理事会で購入の承認を得ています。可能であればWEBミキサーが納品されてから下見ができれば良いと思いますが、どうでしょうか。

佐野理事

WEBミキサーの発注をしました。納品時期は未定です。

小林理事

WEBミキサーを持って下見をした方が良いという事ですか。

高橋副会長

総会で実際に使用するのであれば、一度試しておいた方が良いでしょう。

下見の時に私が持っています。

神谷理事

会場にWi-Fi環境が無いのですか。

小林理事

浜松プレスタワー17階、静岡新聞ホールはありますが、臨時理事会に確保した15階会議場にはあ

りません。

神谷理事

本会場には有線LAN設備はありますか。

小林理事

LANが来ているとだけ聞いています。

神谷理事

昨日、研究会を開催したのですが、有線LANで使っていても無線LANと口が一緒になっていて、参加者により会場内の無線LAN使用数が増え、通信状況が厳しい状態になってしまいました。
会場のLAN環境の確認は必要だと思います。

佐野理事

ハブを使用してそこからケーブルを幾つか出していけば良いですか。

神谷理事

有線でも無線でも最終的に一本の口としてインターネットに流れてしまうと全然繋がらない状況になってしまいます。配信用に集中させるように、会場にいる参加者は無線に接続をしないようお願いした方が良いと思います。

小林理事

例えば、高周波Wi-Fiをレンタル、視聴用のWi-Fiを別途用意した方が良いが、そこまでする必要あるかという事ですね。

神谷理事

会場に来られる方はスクリーンで視聴する事ができるので、手元でネットに接続して視聴する必要が無いと思います。

後藤理事

新春公開講演会の時は、会場で接続して視聴し

ている方はいませんでした。

神谷理事

昨日の研修会は、会場の皆様はWi-Fiに接続しないで参加するよう呼び掛けて会を続けることができました。

小林理事

Wi-Fiについては大会当日参加者に注意事項としてお知らせするようにします。

神谷理事

よろしくお願いします。

佐野理事

今回、Webinarで開催する事になっていますが、前回のWebinarの設定は担当地区の廣澤理事に全て対応していただきました。今回は小林理事にお願いしても良いですか。

受付時の必須項目の設定等については前回の内容が引き継がれていると思います。

Webinarの方が普通のZoomより管理が楽です。
前回Webinarの契約をしたのは設定が必要なため、大会の2ヶ月程前でした。
今回も2ヶ月前から契約を考えています。

小林理事

2ヶ月前という事は3月末からですね。
その段階でまたWebinarのレクチャーをお願いします。

山本会長

学術大会については以上となります。
次に、理事会開催案内にWEBミキサー購入について記載がありますが、先日の常任理事会で購入を決定しています。
高橋副会長から企画報告書の承認についてお願いします。

高橋副会長

第35回乳腺部会研究会の報告書になります。

令和4年2月11日にWEBで開催されました。

参加者は95名。県内会員48名、非会員20名、県外会員16名、県外非会員9名、検査技師1名、医師1名です。参加費無料。

クラウドボックスで症例を提示し、症例検討会を実施しています。

山本会長

質問等無ければ承認の採決を採ります。

・第35回乳腺部会研究会の企画報告書について

反対：0名 保留：0名 賛成：15名

(全会一致で承認)

山本会長

以上で全ての議事は終了となります。

事業計画、予算案も承認されました。新役員選出もありますのでよろしくお願ひします。

定時総会、学術大会に向けていろいろな準備を進めていきたいと思ひます。

以上をもちまして令和3年度 第4回理事会を終了します。

※議長が第4回理事会の終了を宣言したので、令和4年2月19日午後4時30分理事会を閉会。

議事録作成 森田 光博

令和4年度 静岡県放射線技師会事業計画(案)

開催予定日	令和3年度静岡県放射線技師会事業計画	開催日	令和2年度静岡県放射線技師会事業経過
令和4年	医療被ばく相談【常設】 業務拡大による告示研修(10回開催予定)	令和3年	医療被ばく相談【常設】
4月 23日	第1回 理事会	4月 10日 24日	第53回 アンギオ部会 第1回 理事会
5月 29日 29日	第11回 (公社)静岡県放射線技師会定時総会(浜松市 プレスタワー) 第26回 静岡県放射線技師学術大会(浜松市 プレスタワー)	5月 30日	第10回 (公社)静岡県放射線技師会定時総会 第25回 静岡県放射線技師学術大会
6月 11日 18日	第83回 (公社)日本診療放射線技師会定時総会 第47回 放射線技師のためのセミナー	6月 5日 12日 26日	第83回 (公社)日本診療放射線技師会定時総会 第78回 超音波部会研修会 第44回 放射線技師のためのセミナー
7月 16日 29日 未定	日本放射線技師会75周年事業 ジャーナルVol.32 No.1発行 第12回 新人教育セミナー(フレッシュャーズセミナー)	7月 4日 29日 30日 31日	第11回 フレッシュャーズセミナー(アルフレッサ静岡支店会議室) 社会奉仕活動 出張授業(聖隷クリストファー高校・西部) ジャーナルVol.31 No.1発行 第5回 WLB検討検討委員会勉強会
8月 27日	第2回 理事会	8月 28日	第2回理事会
9月 16~18日 未定	第38回 日本診療放射線技師学術大会 (神戸コンベンションセンター WEB併用) 静岡ふれあい広場(静岡市)	9月 18日	第1回西部地区勉強会・放射線セミナー(西部)
10月 23日 未定 未定	可美公園まつり(西部) 第1回放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(中部) 第1回放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(西部)	10月 2日 24日 30日	第1回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部) 可美公園秋の体験プログラム2021(西部) 原子力緊急時災害対策研修会(浜岡原子力発電所) 第54回アンギオ部会研修会

11月 5～6日 25日 未定 未定 未定 未定 未定 未定	第14回 中部放射線医療技術学術大会(愛知県) ジャーナルVol.32 No.2発行 秋季公開講演会 第1回 胃がん検診従事者講習会(東部) 第1回 放射線セミナー(東部) 令和4年度原子力緊急時災害対策研修会 東部地区ふれあい広場(沼津市) 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(西部)	11月 3日 6日 20日 20～26日 26日	秋季公開講演会 第1回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部) 第34回 乳腺画像部会研修会 第13回 中部放射線医療技術学術大会(石川県) ジャーナルVol.31 No.1発行
12月 17日	第3回理事会	12月 8日 11日 18日	第12回 静岡県MRI技術研究会 第15回 医療安全セミナー 第2回 放射線セミナー・第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会(西部)
令和5年 1月 14日 未定 未定	公益法人移行10周年記念式典(静岡市) 公益法人移行10周年記念誌発行(静岡市) 新春公開講演会 アール祭 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部) 放射線技師のためのセミナー	令和4年 1月 15日 22日 23日 28日	新春公開講演 第46回 放射線技師のためのセミナー 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会(東部) 原子力災害想定情報伝達訓練
2月 5日 18日 未定 未定	第62回 東海四県放射線技師学術大会(静岡県) 第4回 理事会 静岡県原子力防災実動訓練 原子力災害想定の情報伝達訓練	2月 6日 11日 19日 26日	第62回 東海四県放射線技師学術大会(三重県) 第35回 乳腺画像部会・第2回静岡県マンモ 合同研修会 第4回 理事会 第6回 ワークライフバランス検討委員会 ワークショップ
3月 4日 4日 24日 未定 未定 未定 未定 未定	第45回 西部地区総会 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(西部) ジャーナルVol.32 No.3発行 東部地区通常総会 中部地区総会 第2回 放射線セミナー・胃がん検診X線従事者講習会(中部) 静岡県放射線技師研修会 デジタルマンモグラフィー講習会	3月 5日 12日 19日 25日	東部地区通常総会 中部地区総会 第2回 放射線セミナー(中部) 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(中部) 第44回 西部地区総会 第3回 放射線セミナー(西部) 第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会(西部) 第14回 MRI技術研究会 静岡県放射線技術研修会 ジャーナルVol.31 No.3発行

太字の事業は、日本放射線技師会主催事業・■は土曜日・■は日曜・祭日

行事予定カレンダー

(2022年4月～2022年7月)

4 月		5 月		6 月		7 月	
1	金	1	日	1	水	1	金
2	土	2	月	2	木	2	土
3	日	3	火 憲法記念日	3	金	3	日
4	月	4	水 みどりの日	4	土	4	月
5	火	5	木 こどもの日	5	日	5	火
6	水	6	金	6	月	6	水
7	木	7	土	7	火	7	木
8	金	8	日	8	水	8	金
9	土	9	月	9	木 第5回 常任理事会(事務所)	9	土
10	日	10	火	10	金	10	日
11	月	11	水	11	土 (公社)第83回 日本診療放射線技師会 定時総会	11	月
12	火	12	木 第3回 常任理事会(事務所)	12	日	12	火 編集委員会(二校)
13	水	13	金	13	月	13	水
14	木 第1回 常任理事会(事務所)	14	土	14	火	14	木 第7回 常任理事会(事務所)
15	金	15	日	15	水	15	金
16	土	16	月	16	木	16	土 JART 75周年記念式典
17	日	17	火	17	金	17	日
18	月	18	水	18	土 第47回放射線技師のためのセミナー	18	月 海の日
19	火	19	木	19	日	19	火
20	水	20	金	20	月	20	水
21	木	21	土	21	火	21	木
22	金	22	日	22	水	22	金
23	土 第1回 理事会	23	月	23	木 第6回 常任理事会 (Web会議)	23	土
24	日	24	火	24	金	24	日
25	月	25	水	25	土	25	月
26	火	26	木 第4回 常任理事会 (Web会議)	26	日	26	火
27	水	27	金	27	月	27	水
28	木 第2回 常任理事会 (Web会議)	28	土	28	火 編集委員会(初校)	28	木 第8回 常任理事会 (Web会議)
29	金 昭和の日	29	日 第11回(公社)静岡県放射線技師会 定時総会 第26回静岡県放射線技師学術大会	29	水	29	金 編集委員会(発送)
30	土	30	月	30	木	30	土
		31	火			31	日

*都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。

*日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

- *今号をもちまして編集委員長を退任いたします。原稿を執筆していただいた方、編集委員ならびに発送作業にご協力いただいた方々にお礼申し上げます。至らない点もあったかと思いますが、最後までお読みいただきありがとうございました。来年度は編集委員として、新しい編集委員長とともにジャーナルを発行していきたいと思ひます。 遠藤
- *これまで編集委員を務めてもうすぐ2年、あと少しで任期満了と思ひきや、職場の事情にて思わぬ事態が発生してしまいました。一体何が起きたのかは次回にてお伝えしようかと思ふ次第です。常業
- *あと2年間は編集委員を続けていこうと決めました。その間に70歳になります。技師会活動は編集委員一本で続けてきました。もしかしたら、2年後もまた健康であれば・・・ 三輪
- *編集委員になり早10年が経ちました。私としては他施設の技師さんとお話しできる良い機会になっています。とりあえず次期も編集委員としてお仕事させていただきます。遠藤理事、2年間理事のお仕事お疲れ様でした。もう2年間、編集委員としてよろしくお願ひします。 杉山
- *編集の仕事に携わってはや4年。最後の編集後記になりました。編集委員の皆さんのような素敵な文章を書く事が、こんなに難しいと痛感しました。いい経験になりました。今後は一読者として、編集委員の皆さんの後記を楽しみにしていますよ！4年間ありがとうございました。 渡邊
- *年明けに昨年植えた白菜を収穫しました。スーパーで売っているような立派なものではなく、ちょっと小ぶりなものでしたが味は悪くなかったような気が・・・
春にはタケノコの収穫が始まりますが、今年は表年か裏年か楽しみです。
ステイファーム！ 堀

会誌「しずおかジャーナル」Vol.31 No.3 2022 令和4年3月25日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会
発行人 : 山本英雄
編集者 : 遠藤基生
印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

事務所案内

執務時間：月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : info-shizuokahousya@shizuhogi.jp